年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	議事録作成支援システム導入事業

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的	会議録作成に係る時間をAI音声認識システムの活用で、業務の効率化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
事業	1	本庁一般管理費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－２－１　行政サービスの向上

R2年度事業の概要	議事録作成支援システム委託料 ・マイク4本、収音システム（セットアップ含） 476,700円 ・月額使用料（1ライセンス料含） 85,000円×12ヵ月×1.1＝1,122,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	会議録作成に係る時間を短縮することで、職員の働き方改革を推進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,559
R2予算額	1,559
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,559

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 2.健全な行政運営の推進 (8)議事録作成支援システム導入事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	総合案内業務委託事業

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的	総合案内における住民対応の均一化により住民サービスの向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
事業	1	本庁一般管理費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－２－１　行政サービスの向上

R2年度事業の概要	総合案内業務委託料　3,281千円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	総合案内における住民対応の均一化により住民サービスの向上を図るとともに、職員の事務従事に係る負担軽減を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,281
R2予算額	3,281
R元当初予算額	3,108
R元現計予算額	3,108
増減額	173

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		3,108
従事職員数【人工】		0.01
人件費　（人工×8,000千円）		80
総事業費：人件費含む　（千円）		3,188
活動指標名	配置日数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	単位	182　単位　日
単位当たりコスト　（円）		17,516

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 2.健全な行政運営の推進 (5)総合案内業務委託事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-1-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ふるさと応援基金

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的

ふるさと寄附制度は、宇陀市の発展を応援したいという寄付者の善意によるものであるため、寄附金は「ふるさと応援基金」に積立て、その寄付金を財源として事業に活用する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
事業	4	ふるさと応援寄附金管理費

根拠条例等	宇陀市ふるさと寄附条例
総合計画	基本計画　６－２－３　健全な財政運営

R2年度事業の概要

【歳入】寄附金　80,000千円

（単位:千円）

消耗品費	47
通信運搬費	12
手数料	289
業務代行・ポータルサイト委託料	38,675
合計	39,023

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

（単位:円）

年度	件数	寄附額	事業充当額	基金	
				寄附分	利子
H20～H24	72	30452603	-5,000,000	25,452,603	363,175
H25	12	20,480,000	-2,500,000	17,980,000	77,871
H26	16	537,709		537,709	115,272
H27	494	31,290,155		31,290,155	133,945
H28	249	33,515,155		33,515,155	167,627
H29	833	32,492,630	-11,036,148	21,456,482	218,666
H30	1,912	66,474,710	-9,754,011	56,720,699	68,545
累計	3,588	215,242,962		186,952,803	1,145,101
平成30年度末　基金現在高				188,097,904	

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	39,023
R2予算額	39,023
R元当初予算額	27,462
R元現計予算額	42,226
増減額	11,561

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	17,683	46,158
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	20,083	48,558
活動指標名	寄附金受入額	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	66,474　単位　千円	113,000　単位　千円
単位当たりコスト　（円）	302	430

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
2. 健全な行政運営の推進
(4)ふるさと応援基金事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	LINE自動応答サービス運用事業

所管課	秘書広報情報課	（総務部）

事業の目的	無料通話アプリ「LINE」のAIチャットボット機能を活用して、24時間365日、利用者からの「よくある質問」に自動応答するサービスを実施。住民サービスの向上と職員の業務効率化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	2	文書広報費
事業	1	文書広報費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－１－１　積極的な情報発信

R2年度事業の概要	■LINEチャットボット機能による「よくある質問、自動応答サービス」を実施。 システムは、公式LINEのほか、市ホームページからも利用することができ、日々、利用状況を確認しながら、随時情報の追加更新を行う。 【運用保守委託料】 LINE自動応答サービス　システム運用委託料 80,000円×1.10×12か月＝1,056千円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	（実績）2019年10月1日運用開始 利用件数　2260件／2020年2月1日現在 （目標）対前年比10%増 （課題） 引き続き、内容の拡充と利用増進を図り、住民サービスの向上に努める。 また、LINEアプリの機能活用によるさらなる情報発信に努める。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,056
R2予算額	1,056
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,056

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 1.市民と行政の協働のまちづくり (3)LINE自動応答サービス運用事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市ＰＲ番組放送委託事業

所管課	秘書広報情報課	（総務部）

事業の目的
本市の自然の豊かさ、くらしの情報、魅力や観光情報の番組を自主放送で制作し、その素材を活用してテレビ放送やSNS等による発信を行うことにより、宇陀市の魅力をPRし、市の知名度アップ、観光振興等につなげる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	2	文書広報費
事業	1	文書広報費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－１－２　市民の協働と参画の推進

R2年度事業の概要
奈良テレビ放送番組「ゆうドキッ！」内コーナー「いきいきまちだより」（毎週金曜日放送）で放送する。 県内各市は奈良テレビで制作するが、当市では自主放送により動画制作し、奈良テレビ番組で放映する。 ■動画　1～2回　（60秒/回）/月 ■静止画2回　（30秒/回）/月 ■ﾃﾞｰﾀ放送　月2回更新　■Youtube 1～2回/月更新 委託料（放送用加工料及び電波料）840千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
【目標】 本市の住み良さや豊かさ、観光情報等を積極的にPRすることにより交流人口の増加が期待できる。また、当市の魅力を市内外の方に認識していただく事により、定住先を探している方に選択する際の参考としていただく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	840
R2予算額	840
R元当初予算額	832
R元現計予算額	832
増減額	8

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	824	832
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,624	1,632
活動指標名	放映回数	
活動指標の算式	動画・静止画・データ放送・Youtube	
活動指標の実績(見込)	106 単位 回	96 単位 回
単位当たりコスト　（円）	15,321	17,000

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 1.市民と行政の協働のまちづくり (1)宇陀市ＰＲ番組放送委託事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈2-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	日本遺産申請事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的

地域の有形・無形文化財群を活用し、観光振興、産業振興及び郷土愛を醸成し、もって地域の活性化を図るため「日本遺産」の認定を目指す。
また「女人高野」をテーマとして、関係する地域が連携をとり、エリアの歴史文化遺産を活かしながら、経済効果が高まる滞在、周遊可能な魅力ある地域づくりをすることにより、地域住民のアイデンティティの再認識や交流人口及び関係人口の増加、定住化の促進を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	1	本庁企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要

日本遺産の登録に向けてPRや関係市村との連携を行う。

（単位：千円）

科目	金額
旅費	164
需用費	592
合　計	756

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

観光、歴史文化を中心とした4自治体（宇陀市・河内長野市・高野町・九度山町）が連携し、「集客と消費を高める観光」を確立し、このエリアの社会、経済の活性化を目指す。
また、「女人高野」をテーマとした取り組みは、観光等で活用できるテーマと考えているため、日本遺産認定の有無に関わらず、連携を進めたいと考えている。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	756
R2予算額	756
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	756

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
5. 観光戦略の推進
(11) 日本遺産申請事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自治体交流事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的

姉妹都市又は友好都市提携を締結し、相互の都市発展に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	1	本庁企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－３－１　広域行政の推進

R2年度事業の概要

関係都市（丹波市）との交流推進

（単位：千円）

科目	金額
旅費	48
需用費	5
役務費	7
使用料	25
合計	85

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

他自治体と連携を取りながら、新たな魅力を創造し、地域活性化を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	85
R2予算額	85
R元 当初予算額	138
R元 現計予算額	138
増減額	▲ 53

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		138
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	1,600	1,738
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
3. 広域行政の推進
(2) 自治体交流事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行対策費負担金

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	民間バス事業者が運行するバス路線のうち、赤字路線について運行経費の補助を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	1	本庁企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	
	大宇陀線　10,655千円 桜井菟田野線　1,163千円 桜井菟田野線（引上分）　1,430千円 古市場線　7,782千円 榛原東吉野線（引上分）　530千円 都祁榛原線　842千円 榛原ネオポリス線　17,804千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段を確保できる。 【H30年度利用者数】※H30.4～H31.3 大宇陀線　227,398人 桜井菟田野線　37,627人 古市場線　56,376人 榛原東吉野線　35,914人 都祁榛原線　60,615人 榛原ネオポリス線　143,979人 民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	40,206
R2予算額	40,206
R元当初予算額	39,568
R元現計予算額	39,568
増減額	638

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	30,509	39,568
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	32,909	41,968
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	561,909　単位　人	560,000　単位　人
単位当たりコスト　（円）	59	75

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奥宇陀わくわくバス運行事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的

宇陀市・曽爾村・御杖村の持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築（特に路線バス奥宇陀線の維持・確保）を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法に基づき、3市村が主体となり、奈良県、公共交通事業者、地域住民等と連携して協議会を組織し、宇陀地域における地域公共交通を確保・維持する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	1	本庁企画費

根拠条例等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要

市村連携コミュニティバス運行に係る協議会負担金
運行経費見込額　21,442千円
▲　県補助金見込額　7,970千円
差引　市村負担見込額　13,472千円

宇陀市負担割合　46.1%
宇陀市負担額　6,211千円
事務費負担　30千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成29年10月から、奈良交通（株）が運行していた奥宇陀線を市村連携コミュニティバスに移行し現在に至る。
将来にわたり持続可能な運行を図るため、貨客混載の社会実験を実施するなどの取り組みを実施している。宇陀市と宇陀郡を結ぶ重要な公共交通として今後も着実に運行していく。

H30年度利用実績：11,728人

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,241
R2予算額	6,241
R元当初予算額	5,941
R元現計予算額	5,941
増減額	300

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,942	5,941
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	8,342	8,341
活動指標名	乗車人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	11,728 単位 人	11,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	711	758

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。室生龍口、西谷地域と名張を結ぶコミュニティバスを運行する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	1	本庁企画費

根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行い、地域の公共交通を維持する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	バス路線の維持 平成30年度利用者 利用者数　5,383人 1日平均　22.1人 運行日数　244日 路線バスを維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	500
R2予算額	500
R元当初予算額	500
R元現計予算額	500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	500	500
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	900	900
活動指標名	乗車人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	5,383 単位 人	5,300 単位 人
単位当たりコスト　（円）	167	170

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	桜井宇陀広域連合事業の推進

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	桜井広域連合は、桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村で構成している団体で、広域行政を推進する。また、広域連携を必要とする事業の実施に係る連携調整を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	1	本庁企画費

根拠条例等	地方自治法等
総合計画	基本計画　６－３－１　広域行政の推進

R2年度事業の概要	【負担金】 桜井宇陀広域連合負担金　　4,951千円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	圏域内外の住民交流の活性化、相互発見などの機会の拡大に努めている。また、基本方針に基づき、ソフト事業施策を体系的に展開する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,951
R2予算額	4,951
R元当初予算額	4,951
R元現計予算額	4,951
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,951	4,951
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	5,751	5,751
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 3.広域行政の推進 (1)桜井宇陀広域連合事業の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	総合計画・地方創生総合戦略検証事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	第1期地方創生総合戦略の最終検証及び第2次宇陀市総合計画の基本計画（令和元年度）の検証を行うことで、宇陀市が抱える少子高齢化・人口減少をはじめとした様々な課題の解決を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	2	総合計画費

根拠条例等	宇陀市総合計画条例
総合計画	基本計画　６－２－１　行政サービスの向上

R2年度事業の概要	（継続）第1期地方創生総合戦略の最終検証及び第2次宇陀市総合計画の基本計画（令和元年度）の検証を行い、総合計画の将来像に向けて、また目指すまちの実現に向けて、新たな事業の展開や現事業の廃止、改善を図れるようにPDCA検証を行う。 審議会委員報酬　137千円 会議開催費　49千円 検証業務委託料　2,123千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	毎年、人口動向や事業の進捗状況を検証することで、市職員と市民の方々が、宇陀市の現況確認と情報共有を行う。 検証結果に基づき、6つの目指すまちの姿に向かって施策を押し進めて行くことにより、市民の満足度、安心度を向上させる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,309
R2予算額	2,309
R元当初予算額	1,156
R元現計予算額	1,156
増減額	1,153

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,736	906
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	11,736	4,906
活動指標名	施策の評価向上	
活動指標の算式	施策のA評価数	
活動指標の実績(見込)	40　単位	50　単位
単位当たりコスト　（円）	293,400	98,120

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 2.健全な行政運営の推進 (1)総合計画・地方創生総合戦略検証事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	奈良交通が撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間で市営有償バスを運行する。 〇運行便数：10便／日 〇使用料　・一区間利用の場合　大人180円 小人 90円 ・二区間以上の場合　大人360円 小人180円 ・定期券　大人7,200円 小人3,600円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。 【平成30年度】 年間利用者数　1,682人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	700
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,407
R2予算額	4,107
R元当初予算額	3,835
R元現計予算額	3,835
増減額	272

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,260	3,401
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	4,860	5,001
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1,682 単位 人	1,600 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,889	3,126

特定財源の状況
シャトルバス使用料　700千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-23〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	23	大宇陀南部線運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域で市営有償バスを運行する。 〇運行便数：6便／日 〇使用料 ・一区間利用の場合 大人130円　小人 50円 ・二区間以上の場合 大人260円　小人100円 ・定期券（1箇月）大人7,800円　小人3,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	奈良交通のバス撤退路線の代替手段として市営有償バスを運行することで、市民の移動手段が確保できる。令和元年度にバス車両を29人乗りから14人乗りに変更し、燃料費等の改善を図った。 【平成30年度】 年間利用者数　3,146人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	700
国　費	
県　費	
市　債	
その他	398
一般財源	3,588
R2予算額	4,686
R元当初予算額	4,609
R元現計予算額	4,609
増減額	77

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,604	4,440
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	6,204	6,040
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	3,146 単位 人	3,100 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,972	1,948

特定財源の状況
循環バス使用料　700千円 雑入（総務管理費雑入） 398千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-23〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	大宇陀南部線運行事業（新方式）

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的
本市における公共交通空白地を解消するために、地域の皆さんが自ら運行を担う公共交通空白地有償バスを新設することで移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	23	大宇陀南部線運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要
バス運行管理委託料　1,689千円 バス車両購入経費　3,454千円 合計　5,143千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
宇陀市地域公共交通網形成計画の基本方針である「地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通の育成」の一環で地域の皆さんとともに、地域に合った交通網の新設をすることで、持続可能な交通網の実現を目指す。 さらに、本事業の成果をもとに、他の地域での運用も検討予定。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	195
国　費	
県　費	1,472
市　債	2,200
その他	
一般財源	1,276
R2予算額	5,143
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	5,143

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
循環バス使用料	195千円
安心して暮らせる地域公共交通確保事業補助金	1,472千円
合併特例債	3,100千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-40〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公共交通空白地有償運送事業補助金（らくらくバス）

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	菟田野地域内の公共交通空白地域及び奈良交通路線バスが廃止された大宇陀地域の一部において交通手段の確保を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	40	菟田野地域事務所企画費

根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	宇陀市社会福祉協議会が事業主体となっている公共交通空白地運送事業（らくらくバス）に対し補助金を交付する。 運行便数：5便／日 使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	利用者の大半が高齢者であり、買い物や通院の手段として地域の人々には無くてはならない交通手段となっている。また奈良交通の廃止路線の代替として運行することで大宇陀地域と菟田野地域の市民の移動手段が確保できている。

平成30年度	
運行日数	244日
年間利用者数	932人
運行分数	5便/日

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,473
R2予算額	2,473
R元当初予算額	2,473
R元現計予算額	2,473
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,321	2,473
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	2,401	2,553
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	932 単位 人	957 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,576	2,668

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-82〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	デマンド型乗合タクシー配車システム導入事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費

根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	[配車システム導入費用] ・デマンドタクシー配車システム初期経費 624,360円 ・デマンドタクシー配車システム月額費用 336,380円×12ヵ月＝4,036,560円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	システムの導入により、当日予約を可能にすることで、利用促進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	312
市　債	
その他	
一般財源	4,349
R2予算額	4,661
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	4,661

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
安心して暮らせる地域公共交通確保事業補助金　312千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-82〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費

根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	路線バスや診療所バスが廃止された室生地域において、デマンド型乗合タクシーを運行する。 〇運行便数：6便／日 〇使用料 ・同一エリア 310円 ・複数エリア 520円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、デマンド型乗合タクシーを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上を図る。 【平成30年度】 運行日数　244日 年間利用者数　2,965人 運行便数　1,848便

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	2,420
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	10,153
R2予算額	12,573
R元当初予算額	11,818
R元現計予算額	11,818
増減額	755

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,814	9,500
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	6,414	11,100
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	2,965 単位 人	2,900 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,163	3,828

特定財源の状況
デマンド型乗合タクシー使用料 2,420千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (6)地域公共交通の確保

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈2-1-4-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市地域公共交通網形成計画推進事業

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的	これまで「宇陀市地域公共交通網形成計画」に基づき、基本理念で掲げた「市民総参加（宇陀力）による健康・観光・交通まちづくり」を実現するために取り組んできたが、今後さらなる利用促進を図るために、新たに「第２次宇陀市地域公共交通網形成計画」を策定することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	101	本庁企画費（地域公共交通事業）

根拠条例等	宇陀市地域公共交通活性化再生協議会規約
総合計画	基本計画　２－３－２　地域公共交通の充実

R2年度事業の概要	宇陀市公共交通活性化再生協議会に対する市負担金 （事業費）2,904千円＝（市負担金）2,904千円 【事業内容】 ①第2次宇陀市地域公共交通網形成計画の策定 ②バス路線沿線の住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施 ③路線バスの効率的運行に向けた検討会議の開催 ④学校モビリティ・マネジメントの実施（継続） ⑤地域住民・交通事業者・行政が一体となった持続可能な地域公共交通の検討（継続）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	①第2次宇陀市地域公共交通網形成計画の策定→公共交通ネットワークを現状にあったものに再構築する必要があるため、まちづくりとも連携した地域公共交通網形成計画の策定を行う。 ②バス路線沿線の住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施→バス路線沿線の沿線住民を対象にモビリティ・マネジメントを実施し、利用促進を図る。 ③市営有償バスの運行形態の見直し・改善→市営有償バスの効率的運行に向けた検討会議を開催し、今後の運行形態等について検討する。 ④学校モビリティ・マネジメントの実施（継続）→市内の小学生を対象に、バスの乗り方や利用時のマナー等をレクチャーする「バス教室」を実施。 ⑤地域主体の交通づくりの支援制度の検討→地域住民を対象としたワークショップを開催し、市内を運行する地域公共交通の現状等の情報提供、それぞれの地域での問題点や解決策（案）を模索するとともに、市としてどのような支援ができるか等の仕組みづくりについての検討を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,904
R2予算額	2,904
R元当初予算額	
R元現計予算額	4,969
増減額	2,904

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		4,969
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	4,000	8,969
活動指標名	利用人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	580,627 単位 人	575,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	7	16

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (7) 地域公共交通網形成計画推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-102〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業【大和高原しごとづくり事業】

所管課	企画課	（企画財政部）

事業の目的
本事業は、「宇陀市総合計画」で掲げている目指すまちの姿「活力あるまち」、施策の方向性「地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成」を推進するため、国の地域おこし協力隊制度を活用するとともに官民連携による起業家を育成し、経済循環を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
事業	102	本庁企画費（アントレプレナー育成循環事業）

根拠条例等	宇陀市仕事づくり推進隊設置要綱
総合計画	基本計画　３－２－１　雇用の創出

R2年度事業の概要
仕事づくり推進隊員を10名採用し、起業家育成プログラムを官民連携により実施、本市の地域資源を最大限に活用した起業家の育成を行う。 ●負担金 大和高原しごとづくり協議会負担金：21,167千円（採用委託料　1,000千円含む） 起業支援金：4,000千円（4名分） ●旅費　80千円 ●一般事務経費　10千円 ●人件費　23,213千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
人口減少社会を迎える中で、移住定住の促進に向けては、雇用創出が必須の課題である。平成28年12月に奈良県・宇陀市・ロート製薬㈱による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結したことから、官民連携による仕事づくりに向けた取り組みを進める。 本市の特徴として、大和高原地帯であり、古くから薬草の栽培、有機農業なども盛んな地域である。そのような地域性を活かした起業家の育成に向けて、起業支援メニューの充実、空き家、空き店舗等とも連携し、市内での創業件数の増加や起業家が市内で活躍するまちづくりを目指す。 令和2年2月1日現在で8名の隊員が活動している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	48,470
R2予算額	48,470
R元当初予算額	26,443
R元現計予算額	32,582
増減額	22,027

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	16,157	31,282
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	20,157	35,282
活動指標名	起業家の育成者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	6 単位 人	8 単位 人
単位当たりコスト　（円）	3,359,500	4,410,250

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 2.地域産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成 (1)アントレプレナー（起業家）育成循環事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-5-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	情報セキュリティ対策支援事業

所管課	秘書広報情報課	（総務部）

事業の目的
コンピュータウィルス感染事案等の反省から、自庁内での情報システムの自己把握からセキュリティに関する自己点検、システム導入時の見積書や契約書の精査等から導入の際の簡易的な支援等、情報システム・情報セキュリティリテラテシーのレベルを市全体で向上させ、ガバナンスの強化を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	電子計算費
事業	1	本庁電子計算費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－２－３　健全な財政運営

R2年度事業の概要
・セキュリティポリシー（セキュリティ対策基準）等、現行規程類の確認から改訂支援 ・自己点検チェックシートの作成等、自己点検の実施支援 ・セキュリティ研修 ・システム関連経費の検証

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
・庁内の情報システムの検証を行い、現行セキュリティポリシー（セキュリティ対策基準）の見直しを行う。 ・情報セキュリティに関する研修、システム関連経費の検証や庁内システムの自己点検等を行う支援業務を委託する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,518
R2予算額	1,518
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,518

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進 (7)情報セキュリティ対策等事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-7-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集会施設等コミュニティ施設整備事業補助金

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的

住民相互の助け合いのコミュニティづくりの拠点となるべき公民館等の集会施設の適正な管理等に対する支援を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
事業		

根拠条例等	指定管理者による宇陀市集会所コミュニティ施設整備事業に係る委託料交付要綱　他
総合計画	基本計画　６－４－２　市民活動の支援

R2年度事業の概要

自治会等のコミュニティ活動の拠点となる施設の新築、改修に対し事業費の一部を補助する。補助額は新築・改築は、1/2以内の額（単一自治会の場合、上限10,000千円）、増築・改修は事業費30万円以上で事業費の1/2以内の額（上限2,000千円）

（単位：千円）

集会所等整備委託料	2,710
集会所等コミュニティ施設整備事業補助金	765
合計	3,475

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

地域における住民の自主的な活動の拠点としての集会所等の改修等に対して支援を行うことで、市民の福祉の増進とふれあい豊かな地域社会の育成を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,475
R2予算額	3,475
R元 当初予算額	12,699
R元 現計予算額	12,699
増減額	▲ 9,224

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	12,340	12,429
従事職員数【人工】	0.25	0.25
人件費　（人工×8,000千円）	2,000	2,000
総事業費：人件費含む　（千円）	14,340	14,429
活動指標名	交付件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	9 単位 件	7 単位 件
単位当たりコスト　（円）	1,593,333	2,061,286

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
4. 地域力の再生・強化
(2)集会所等コミュニティ施設整備事業補助金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-7-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自治会掲示板設置事業補助金

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う掲示板設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
事業		

根拠条例等	宇陀市自治会掲示板設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　６－４－２　市民活動の支援

R2年度事業の概要	自治会が設置管理する掲示板について事業費の一部を補助する。 新設・建替：11基　　修繕：14基 1基あたり ●新設・建替の場合 事業費の　1/2（5万円を限度） ●既設掲示板の修繕 事業費の　1/2（2万円を限度）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	自治会活動において、行政等から回覧文書などの広報活動については自治会長を通じて自治会員に回覧している。 しかし、全員に回覧される場合は時間的なものもあるので、多数の市民が見ることができる掲示板は有効な広報手段であると考えるので補助金を交付する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	830
R2予算額	830
R元当初予算額	610
R元現計予算額	610
増減額	220

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	480	610
従事職員数【人工】	0.08	0.08
人件費　（人工×8,000千円）	640	640
総事業費：人件費含む　（千円）	1,120	1,250
活動指標名	実施数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	13 単位 基	17 単位 基
単位当たりコスト　（円）	86,154	73,529

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 4. 地域力の再生・強化 (1) 自治会掲示板設置事業補助金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-8-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全対策事業

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的

公共の場所における自転車等の駐車秩序を確立することにより、良好な生活環境と交通の円滑化を図るとともに交通安全活動組織、行政、警察と連携を図り、交通事故・違反のない安全なまちづくりを推進する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	8	交通安全対策費
事業	1	交通安全対策費

根拠条例等	宇陀市自転車等の放置防止に関する条例・交通安全対策費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－１－２　交通安全関連の整備

R2年度事業の概要

（単位：千円）

需用費	178
役務費	49
委託料（マイクロバス運転委託）	37
備品購入費	26
負担金、補助及び交付金	
宇陀市交通安全協会分会補助金	391
宇陀市交通対策協議会補助金	180
宇陀市交通安全母の会補助金	65
桜井宇陀東吉野交通対策協議会	584
公課費	15
合計	1,525

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

交通安全活動組織、行政、警察と連携を図り、交通事故・違反のない安全なまちづくりを推進する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	5
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,520
R2予算額	1,525
R元当初予算額	1,429
R元現計予算額	1,429
増減額	96

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,483	1,425
従事職員数【人工】	0.35	0.35
人件費　（人工×8,000千円）	2,800	2,800
総事業費：人件費含む　（千円）	4,283	4,225
活動指標名	活動日数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	127 単位 回	127 単位 回
単位当たりコスト　（円）	33,724	33,268

特定財源の状況

放置自転車等保管手数料　1千円
放置自転車等移動手数料　4千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
1. みんなが住み良いまちづくりの実現
(1)交通安全対策事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-10-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生活安全対策事業

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的

防犯活動組織、行政、警察が連携を図り、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。また、自治会が行う防犯カメラ設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	生活安全対策費
事業		

根拠条例等	宇陀市安全で住みよいまちづくりに関する条例、宇陀市防犯カメラ設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－１－３　防犯体制と消費者保護の強化

R2年度事業の概要

（単位:千円）

需用費	639
役務費	5
委託料（マイクロバス運転委託）	19
負担金、補助及び交付金	
桜井署管内少年補導委員会補助金	87
桜井・宇陀・東吉野地区防犯協議会負担金	584
桜井宇陀東吉野地区暴力団排除推進協議会負担金	181
防犯カメラ設置事業補助金	600
合計	2,115

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。

防犯カメラ設置事業補助件数

H29　1件

H30　1件

R元　4件

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,115
R2予算額	2,115
R元 当初予算額	2,132
R元 現計予算額	2,132
増減額	▲ 17

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,448	2,100
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	2,528	2,180
活動指標名	活動日数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	60 単位 回	60 単位 回
単位当たりコスト　（円）	42,133	36,333

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
1. みんなが住み良いまちづくりの実現
(2) 生活安全対策事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-10-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金

所管課	総務課	（総務部）

事業の目的

自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う防犯灯設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	生活安全対策費
事業		

根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－１－３　防犯体制と消費者保護の強化

R2年度事業の概要

補助対象経費	補助金額（1基あたり）	
	蛍光灯	LED
防犯灯の新設	10千円	14千円
既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円
照明器具の更新	3千円	7千円

大宇陀地域	60基	556千円
菟田野地域	1基	10千円
榛原地域	41基	330千円
室生地域	107基	758千円
合　計	209基	1,654千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

（基）

区分	H27	H28	H29	H30
防犯灯の新設	7	11	16	11
既設電柱に照明器具の新設	26	40	62	58
照明器具の更新	533	953	889	809
合計	566	1,004	967	878

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,654
R2予算額	1,654
R元当初予算額	4,486
R元現計予算額	4,486
増減額	▲ 2,832

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,142	4,486
従事職員数【人工】	0.08	0.08
人件費　（人工×8,000千円）	640	640
総事業費：人件費含む　（千円）	2,782	5,126
活動指標名	実施数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	878 単位 基	670 単位 基
単位当たりコスト　（円）	3,169	7,651

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
1. みんなが住み良いまちづくりの実現
(4)防犯灯整備事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主放送事業

所管課	秘書広報情報課	（総務部）

事業の目的

市の広報、現在の広報紙やホームページ以外に宇陀市からの情報伝達の媒体手段の一つとして、市民の皆さんにテレビによる情報を提供する。また、市民が情報発信のできるまちづくりに取り組み、まちの活性化と市民の連帯感を醸成する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	14	自主放送費
事業	1	自主放送費

根拠条例等	宇陀市自主放送スタジオ
総合計画	基本計画　２－３－４　地域情報化の推進

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科目	内容	金額
人件費	会計年度任用職員人件費	2,250
報酬	委員報酬	49
需用費	消耗品等	699
	修繕料	100
役務費	広告取扱手数料等	831
委託料	自主放送番組制作委託料	15,642
	警備業務委託料	132
使用料	自主放送用送出サーバ使用料等	4,116
負担金	施設積立金負担金	299
公課費	自動車重量税	9
合　計		24,127

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市ホットニュース、宇陀市政なう、まちの話題、特別番組、緊急放送、Ｌ字緊急放送、議会中継、静止画等にジャンルを分け放送を行う。

宇陀市ホットニュース、宇陀市政なう、まちの話題、特別番組については、月3回更新で放送し、少しでも新しい情報を提供していく。議会中継及び録画再放送により、市政への関心を高め参加意識の醸成につなげると共に、緊急放送システムの整備により、市民の安全安心生活の一翼を担う。基本的にはあらゆる人の生活リズムに合うように、どの曜日でも、どの時間帯でも見ることが出来るようにし、一人でも多くの市民が見られるように考慮する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,000
一般財源	23,127
R2予算額	24,127
R元 当初予算額	27,188
R元 現計予算額	27,188
増減額	▲ 3,061

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	22,121	27,188
従事職員数【人工】	3.00	3.00
人件費　（人工×8,000千円）	24,000	24,000
総事業費：人件費含む　（千円）	46,121	51,188
活動指標名	市民一人当たり費用	
活動指標の算式	歳出額／市民数	
活動指標の実績（見込）	30,900 単位 人	30,226 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,493	1,694

特定財源の状況

雑入（有料広告収入）1,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(10) 自主放送事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈2-1-17-1〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域受入協議会支援事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的
奈良県南部・東部地域において、移住、二地域居住及び定住に向けた活動を行う団体（地域受入協議会）を支援する。 ※地域受入協議会：宇陀市の住民及び職員等で構成され、南部・東部地域への移住、二地域居住及び定住を支援する団体をいう。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	1	まちづくり支援費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－２－２　定住につながる環境づくり

R2年度事業の概要
対象経費：地域受入協議会が行う宇陀市への移住、二地域居住及び定住の促進に向けた事業（施設整備を除く。）に要する経費 ・補助金（県1/2、市1/2）　500千円/1申請×1団体

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
宇陀市への移住、二地域居住及び定住を促進し、活力あるまちづくりに繋げる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	250
市　債	
その他	
一般財源	250
R2予算額	500
R元 当初予算額	1,000
R元 現計予算額	1,000
増減額	▲ 500

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	500	500
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	2,900	2,900
活動指標名	受入人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	50 単位 人	50 単位 人
単位当たりコスト　（円）	58,000	58,000

特定財源の状況
地域受入協議会支援事業費 補助金　250千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化 (2)地域受入協議会支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-17-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	一般コミュニティ助成事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	一般財団法人自治総合センターの宝くじの普及広報事業である一般コミュニティ助成事業を活用し、地域の発展を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	1	まちづくり支援費

根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業助成金交付要綱
総合計画	基本計画　６－４－２　市民活動の支援

R2年度事業の概要	宝くじの収入を財源として一般財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業を行う。 事業に当たっては、まちづくり協議会及び自治会に周知を行い、応募申請17団体（まちづくり協議会6件、自治会11件）に対して、令和2年3月31日付けにより、1団体（自治会）が採択された。 事業内容　コミュニティ活動に係る備品整備 採択件数　1団体（昨年実績　1件　2,400千円） 事業費　2,500千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	住民主体の地域づくり組織を形成することにより、住民の福祉の向上とふれあい豊かな地域活性化の推進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	2,500
一般財源	
R2予算額	2,500
R元当初予算額	2,400
R元現計予算額	2,400
増減額	100

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,500	2,400
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	4,900	4,800
活動指標名	助成団体数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1　単位　団体	1　単位　団体
単位当たりコスト　（円）	4,900,000	4,800,000

特定財源の状況
雑入（自治総合センターコミュニティ助成金）　2,500千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (4)コミュニティ活動助成事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-17-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク・空き家活用推進事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	市内にある空き家等の有効活用を通して、市外からの定住促進を図るため、市内の空き家の情報発信及び空き家の活用に対して補助を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）

根拠条例等	宇陀市空き家情報バンク設置要綱、宇陀市空き家対策・起業者支援事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－２－３　U・I・Jターンの促進

R2年度事業の概要	○空き家情報バンク 所有者から申込みのあった物件情報を、市と「空き家の仲介に関する協定」を交わした宅地建物取引業者が確認し、市に情報を集約し、市内外の利用希望者に発信する。需用費30千円、役務費7千円 ○空き家活用推進事業 空き家等を改修し、農家民宿や店舗等として活用するにあたり、補助金を支給する。 改修等補助等13,018千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	空き家の有効活用及び定住を促進し、地域の活性化を促すために、所有者に制度を周知するとともに、空き家は地域活力や人口増加の受け皿である意識を醸成する。 また、空き家の活用を検討している起業者等に対して、補助を行うことにより空き家活用を促進し地域の活性化を図る。 登録物件総数　200件 成約物件総数　114件 （令和2年1月末までの累計）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	13,000
その他	
一般財源	55
R2予算額	13,055
R元当初予算額	17,824
R元現計予算額	17,824
増減額	▲ 4,769

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	16,264	16,324
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	18,664	18,724
活動指標名	空き家情報バンク登録件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	10 単位 件	38 単位 件
単位当たりコスト　（円）	1,866,400	492,737

特定財源の状況
過疎対策事業債　13,000千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化 (4)空き家情報バンク・空き家活用推進事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈2-1-17-101〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励事業・子育て世代支援事業、移住定住促進PR事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的
市内に住宅を取得した要件を満たす方に奨励金（ウッピー商品券）を交付し、人口減少の歯止めと定住化及び活力あるまちづくりを推進する。 平成27年度からは、奨励金の上乗せにより子育て世代への支援を行っている。 また、鉄道駅等にサインボードを設置することで当市の魅力をPRし、県外の住民に関心を持たすことで当市への移住定住を促す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）

根拠条例等	宇陀市経済対策としての定住促進奨励金交付要綱
総合計画	基本計画　２－２－３　U・I・Jターンの促進

R2年度事業の概要
○事務経費　需用費 30千円、通信費 6千円、 手数料 54千円、旅費 82千円 ○定住促進奨励金 転入分　100千円×30件＝3,000千円 転居分　50千円×20件＝1,000千円 子育て加算分　200千円×20件＝4,000千円 ※18歳以下の子どもが1人の場合　50千円 2人の場合　100千円 3人以上の場合200千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
定住促進及び自治会への加入による活力あるまちづくりの推進と市内経済の活性化を図る。 平成24年度実績　転入28件(78人)　転居14件(50人) 平成25年度実績　転入19件(60人)　転居32件(111人) 平成26年度実績　転入22件(66人)　転居29件(99人) 平成27年度実績　転入29件(95人)　転居29件(76人) 平成28年度実績　転入20件(76人)　転居37件(112人) 平成29年度実績　転入29件(84人)　転居35件(139人) 平成30年度実績　転入18件(55人)　転居34件(120人) 子育て加算分　転入　9件　転居24件 看板設置等による移住相談件数　50件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,172
R2予算額	8,172
R元当初予算額	9,089
R元現計予算額	9,089
増減額	▲ 917

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,396	7,089
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	9,796	9,489
活動指標名	申請件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	52 単位 件	40 単位 件
単位当たりコスト　（円）	188,385	237,225

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化 (5)定住促進奨励事業・子育て世代支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-17-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的
新たな出会いや結婚の機会を創出することにより、未婚化・晩婚化の対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運の醸成を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）

根拠条例等	宇陀市結婚支援事業実施要綱
総合計画	基本計画　２－２－２　定住につながる環境づくり

R2年度事業の概要
○イベントを通じて成婚し、市に定住した場合の 結婚祝金　　50千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
独身男女の出会いイベントを市が誘導することにより、地域全体で若者の結婚を支援する機運を高め、宇陀の魅力をアピールしたイベントを通じて、カップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指す。 平成23年度から平成30年度までの成果 開催回数　15回 参加者数　414名 成婚　4組（うち、結婚祝金の対象3組） ※平成30年度参加者52名、成立カップル7組

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	50
R2予算額	50
R元 当初予算額	250
R元 現計予算額	250
増減額	▲ 200

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	200	250
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	3,400	3,450
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	52 単位 人	107 単位 人
単位当たりコスト　（円）	65,385	32,243

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化 (3)結婚支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-17-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	移住支援金交付事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的

移住支援事業は、東京圏への過度な一極集中の是非及び地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、移住者に対し支援金を支給する。
なお、移住支援事業に関連するマッチング支援事業は、地域の企業等における人材のミスマッチや人手不足の解消を目的として、地域の企業による幅広い求人情報の作成及びマッチングサイトを用いた情報の提供を行うことを支援するものである。
マッチングサイトは、就業の場合の移住支援金の対象となる就業先を周知するためにも用いられるものであり、移住支援事業とマッチング事業は一体として機能する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）

根拠条例等	奈良県移住・就業・起業支援事業実施要領
総合計画	基本計画　２－２－３　U・I・Jターンの促進

R2年度事業の概要

〇移住支援事業
奈良県が行う就業支援事業又は起業支援事業と連携し、東京圏から移住して就業し、又は起業しようとする者が転居・就業又は起業・定着に至った場合に、奈良県と宇陀市が協働して移住支援金を給付する。
〇就業支援事業
奈良県が、東京圏の求職者に対して訴求力の高いインターネットサイトを開設し、県内就業の支援を行う。
〇起業支援事業
奈良県が、県内において社会的事業等を新たに起業した者に対して起業支援金を給付するとともに、販路開拓や資金計画書の作成等の伴走支援を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

奈良県と連携し、県内企業等の人材不足の解消及び地域課題の解決並びに宇陀市への移住・定住の促進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	750
市　債	
その他	
一般財源	250
R2予算額	1,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	1,000
増減額	1,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

奈良県移住・就業・起業支援事業補助金　750千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
2. 移住定住の促進強化
(7)移住支援金交付事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-17-102〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会支援事業

所管課	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	地域住民が身近な課題解決に向け、それぞれの地域の個性を活かして自立的にまちづくりを推進するため「まちづくり協議会」の活動を支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
事業	102	まちづくり支援費（まちづくり協議会支援事業）

根拠条例等	「まちづくり基本理念条例」、「宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱」
総合計画	基本計画　６－１－２　市民の協働と参画の推進

R2年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業 需用費　26千円 役務費　5千円 地域づくりアドバイザー人件費　8,880千円 ○いきいき地域づくり補助金　基本分　12,700千円 ○いきいき地域づくり補助金　活動支援分　3,800千円 ○拠点整備・運転業務委託料　1,911千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市民主体のまちづくり組織を形成することにより、自らが考えることにより地域の実情に応じた活動しやすい組織づくりを醸成する。 いきいき地域づくり補助金（基本分）の活用により、地域課題に応じ事業が実施できる。 いきいき地域づくり補助金（活動支援分）については、独自に取り組む事業に対して追加分の補助金を支給する。 ※対象事業：市外住民との交流事業、コミュニティビジネス事業、高齢者生きがいづくり事業、世代間多世代交流事業、子ども支援事業等

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	27,322
R2予算額	27,322
R元当初予算額	25,859
R元現計予算額	25,859
増減額	1,463

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	25,415	25,859
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	37,415	37,859
活動指標名	まちづくり協議会数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	22　単位　団体	22　単位　団体
単位当たりコスト　（円）	1,700,682	1,720,864

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 1.市民と行政の協働のまちづくり (2)まちづくり協議会の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-2-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	徴収対策経費

所管課	徴収対策課	（企画財政部）

事業の目的

市税・国民健康保険税の納付期限内の納税指導及び滞納者の実態調査・財産調査等を行い、滞納整理を推進し、滞納税の圧縮と早期税収確保を円滑に実施する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	3	徴収対策費
事業	1	本庁徴収対策費

根拠条例等	地方税法、国税徴収法、宇陀市税条例、宇陀市国民健康保険税条例
総合計画	基本計画　６－２－３　健全な財政運営

R2年度事業の概要

（単位：千円）

一般必要経費	金額
会計年度任用職員人件費（市税徴収指導員）	1,816
旅費（滞納整理・調査等旅費）	30
需用費（消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料）	613
役務費（郵送料・預金照会手数料等）	1,296
委託料（弁護士委託料）	294
使用料及び賃借料（自動車借上料・高速料金）	521
備品購入費（自動車残価買取費用）	33
負担金、補助及び交付金	40
補償、補填及び賠償金（裁判費用）	8
公課費（重量税）	22
合　計	4,673

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

【市税徴収率（実績）】
H21年度88.01%→H22年度88.61%→H23年度90.23%→
H24年度91.08%→H25年度91.81%→H26年度92.74%→
H27年度94.11%→H28年度95.08%→H29年度95.64%→
H30年度95.74%→R元年度96.00%（見込）

→R2年度以降、96%台（目標）の徴収率を目指す。

【平成30年度滞納者分実績】
〇実態調査・財産調査を行い、滞納者の預貯金
生命保険などの滞納処分を実施。
・差押執行件数　38件
・差押金額　8,698千円
・換価充当額　673千円

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	220
一般財源	4,453
R2予算額	4,673
R元当初予算額	4,709
R元現計予算額	4,709
増減額	▲ 36

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,288	4,027
従事職員数【人工】	7.00	7.00
人件費　（人工×8,000千円）	56,000	56,000
総事業費：人件費含む　（千円）	61,288	60,027
活動指標名	市税徴収率	
活動指標の算式	市税収入済額／市税調定額	
活動指標の実績（見込）	95.7 単位 %	95.8 単位 %
単位当たりコスト　（円）	640,150	626,587

特定財源の状況

滞納処分費　220千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
2. 健全な行政運営の推進
(3) 市税等徴収対策事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業

所管課	市民課	（市民環境部）

事業の目的

個人番号カードの公的個人認証部分を活用して、日本全国のコンビニ等の店舗内に設置しているキオスク端末を利用し、住民票謄・抄本、戸籍謄・抄本、印鑑登録証明書、戸籍の附票、住民票記載事項証明書を取得できる事業で、住民サービスの向上と窓口混雑の解消に繋げる。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	3	戸籍住民基本台帳費
目	1	戸籍住民基本台帳費
事業	1	本庁戸籍住民基本台帳費

根拠条例等	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認定業務に係る法律
総合計画	基本計画　６－２－１　行政サービスの向上

R2年度事業の概要

（単位：千円）

内容	金額
旅費（システム更改等疎通確認）	86
コンビニ交付取扱手数料	117
コンビニ交付システム保守料（SEサポート）	1,914
コンビニ交付システムクラウド利用保守料	3,960
印鑑証明書旧姓併記対応改修委託料	489
コンビニ交付証明書交付サービス運営負担金	2,219
合　計	8,785

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成31年1月から開始したコンビニ交付サービスにより、証明書発行に占めるコンビニ交付の比率は下記のとおり推移している。
マイナンバーカード交付率上昇に伴い、住民の利便性向上が図れる。

≪証明書発行場所比率≫
H30＝1.49%　H31＝1.8%　R元＝2.4%

コンビニでの証明書発行枚数
H30　506枚（市民課480枚・税務課26枚）
R元　680枚（市民課640枚・税務課40枚）

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	333
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,452
R2予算額	8,785
R元 当初予算額	8,084
R元 現計予算額	8,084
増減額	701

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	9,615	8,084
従事職員数【人工】	0.15	0.15
人件費　（人工×8,000千円）	1,200	1,200
総事業費：人件費含む　（千円）	10,815	9,284
活動指標名	コンビニ交付証明書発行枚数	
活動指標の算式	コンビニ交付運営経費／コンビニでの証明書発行件数	
活動指標の実績（見込）	506 単位 枚	680 単位 枚
単位当たりコスト　（円）	21,374	13,653

特定財源の状況

コンビニ交付手数料　333千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
2. 健全な行政運営の推進
（2）マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-4-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市議会議員選挙費

所管課	選挙管理委員会	（総務部総務課内）

事業の目的

令和2年3月30日に市長が議会を解散したことを受けて市議会議員選挙を執行する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	4	選挙費
目	2	市議会議員選挙費
事業	1	市議会議員選挙費

根拠条例等	公職選挙法第３３条第２項
総合計画	

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科　目	金　額
報酬	2,170
職員手当等	8,289
報償費	18
需要費	3,441
役務費	5,324
委託料	4,849
使用料及び賃借料	550
負担金、補助及び交付金	15,453
合　計	40,094

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

選挙事務等に関して適正に執行すること。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	40,094
R2予算額	40,094
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	40,094

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位　人	単位　人
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-4-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市長選挙費

所管課	選挙管理委員会	（総務部総務課内）

事業の目的

令和2年5月15日の宇陀市議会臨時会において、市長に対する不信任が可決され、市長が失職したことを受けて市長選挙を執行する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	4	選挙費
目	3	市長選挙費
事業	1	市長選挙費

根拠条例等	公職選挙法第３４条
総合計画	

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科　目	金　額
報酬	2,129
職員手当等	8,384
報償費	18
需要費	2,461
役務費	4,442
委託料	3,989
使用料及び賃借料	550
負担金、補助及び交付金	2,688
合　計	24,661

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

選挙事務等に関して適正に執行すること。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	24,661
R2予算額	24,661
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	24,661

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位　人	単位　人
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心配ごと相談事業

所管課	厚生保護課	（健康福祉部）

事業の目的

市民の日常生活上での悩み等を気軽に相談できる場として、毎月定期的に開設し、問題解決に向け助言や支援を行う相談事業により、相談者の負担の軽減を図る。
また、民生児童委員の情報交換や経験値の底上げ、相談援助技量の向上など相互研修の場として活用する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	1	社会福祉総務費
事業	1	本庁社会福祉総務費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－２－４　地域福祉の環境づくり

R2年度事業の概要

・報償費：180千円　（民生委員謝礼）
・需用費：　5千円　（消耗品費）

開催日等

地域	開設場所	開設日
大宇陀	大宇陀地域事務所・人権交流センター（交互）	毎月15日（午前）
菟田野	人権交流センター	第1水曜（午前）
榛原	榛原総合センター	第4月曜（午前）
室生	室生振興センター	第2水曜（午前）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

市民の日常生活上での悩み等を、気軽に相談できる場として継続し、解決に向けて行政や専門機関へ繋ぐことで、問題解決に向け少しでも相談者の負担の軽減を図る事を目的とする。

相談件数の実績と推移

地区／年度	大宇陀	菟田野	榛原	室生	計
H24	5	1	7	7	20
H25	3	6	6	1	16
H26	11	5	3	20	39
H27	1	0	5	10	16
H28	5	5	4	4	18
H29	8	2	2	5	17
H30	3	2	4	3	12

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	185
R2予算額	185
R元 当初予算額	189
R元 現計予算額	189
増減額	▲ 4

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	189	189
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	989	989
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	12 単位 件	15 単位 件
単位当たりコスト　（円）	82,417	65,933

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり
(9)心配ごと相談事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心身障害者医療費助成事業（市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的

心身障害者（一定以上の等級を有する身体障害者及び知的障害者）に対し医療費の一部を助成し、もって心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市心身障害者医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　１－４－３　国民健康保険・福祉医療費助成の推進

R2年度事業の概要

支払った医療費（食事療養費や保険外医療費を除く）から、下記の金額を除いた額を助成する。
・通院の場合　医療機関毎に月500円
・入院の場合　医療機関毎に月1,000円
（月14日未満の入院の場合は500円）
※ただし、対象者が中学校卒業時までの場合は、
入院時の保険診療の自己負担額を全額助成する。
[市単予算]
・医療扶助費(高額含む)　4,440千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

		H29年度（実績）	H30年度（実績）	R元年度（見込）
対象者数＜年度末＞（人）	県単	353	358	360
	市単	31	39	40
	計	384	397	400
助成件数（件）	県単	8,745	8,519	8,618
	市単	535	605	785
	計	9,280	9,124	9,403
医療費助成額＜高額立替払分含＞（円）	県単	40,380,271	42,204,389	43,470,000
	市単	4,315,879	4,954,974	4,179,600
	計	44,696,150	47,159,363	47,649,600

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	465
一般財源	3,975
R2予算額	4,440
R元当初予算額	4,180
R元現計予算額	4,180
増減額	260

事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,955	4,180
従事職員数【人工】	0.31	0.31
人件費　（人工×8,000千円）	2,480	2,480
総事業費：人件費含む　（千円）	7,435	6,660
活動指標名	助成件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	605 単位 人	785 単位 人
単位当たりコスト　（円）	12,289	8,484

特定財源の状況

雑入（福祉医療費助成制度高額療養費）　465千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
（9）心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	療育教室「こあら教室」事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
障がいのある子どもが、身近な地域で専門的な療育や一人ひとりの障がいの状況に応じた保育を受けられるよう、教育・医療・福祉等の関係機関との連携、ネットワーク形成を進め、療育・保育体制の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱
総合計画	基本計画　１－２－２　障がい者の生活支援

R2年度事業の概要

専門的な療育を受けることのできる事業所はない中、平成22年11月、未就園児を対象とした教室を開設した。

その後、対象児の増加等により平成28年度から未就園児の教室数を増やすとともに就園児の受入も行い、臨床心理士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、小児科医といった専門職との連携を強化し、発達障害児支援の充実を図っている。

委託料　8,385千円（社会福祉協議会へ委託）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

療育専門の臨時保育士4名が指導を行っている。令和元年度においては未就園児32名、就園児31名が参加している。

平成29年度から、宇陀市社会福祉協議会への委託業務とし、平成30年6月から1歳6ヶ月健診において要経過観察児のケア（プチこあら）も行っている。

年度	未就園児	就園児	合計
平成25年度	11人	－	11人
平成26年度	13人	－	13人
平成27年度	13人	－	13人
平成28年度	10人	23人	33人
平成29年度	7人	28人	35人
平成30年度	23人	32人	55人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,385
R2予算額	8,385
R元 当初予算額	7,488
R元 現計予算額	7,488
増減額	897

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	6,528	7,488
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	8,928	9,888
活動指標名	延参加人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,637 単位 人	1,624 単位 人
単位当たりコスト　（円）	5,454	6,089

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり
(3)“こあら教室”の開設

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	福祉タクシー利用券助成事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
本市在住の重度心身障害者（児）の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、重度心身障害者・児に対し、福祉タクシーの利用料金の一部を助成することで、重度心身障害者・児の福祉の増進を図る。 また、福祉タクシーの利用にあたり、乗車地または降車地のいずれかを宇陀市内である場合に限定することにより、市内の公共交通としてのタクシー利用促進に寄与する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市福祉タクシー事業実施要綱
総合計画	基本計画　１－２－２　障がい者の生活支援

R2年度事業の概要
福祉タクシー利用費助成 登録予定者 80人×12枚×基本料金680円=652,800円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
福祉タクシーの利用料金の一部を助成することにより、重度心身障害者・児の生活活動範囲の拡大と社会参加の促進を図る。 [平成30年度利用実績] ・登録事業者　12社 （うち、一般タクシー9社、介護タクシー3社） ・登録利用者　68人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	653
R2予算額	653
R元当初予算額	653
R元現計予算額	653
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	378	653
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,178	1,453
活動指標名	利用者登録者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	68 単位 人	80 単位 人
単位当たりコスト　（円）	17,324	18,163

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 2.みんなの幸せを支える福祉環境づくり (6)福祉タクシー利用券助成事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	児童発達支援事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
平成17年に発達障害者支援法が施行され、これまで公的サービスの狭間にあった発達障害児・者に係る支援策が具体的に進められるようになった。発達障害についての認識が広まるとともに子どもの発達に関する相談が急増している。中には、育児に取り組む親自身に発達障害があり、育児困難に陥っている場合もある。 親子が適切な支援を受けるために、専門の支援員が、その問題点の所在を見極め、適切な福祉サービスを受けられるよう相談支援の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱
総合計画	基本計画　１－２－２　障がい者の生活支援

R2年度事業の概要
発達障害児の育てにくさを感じる親への早期支援体制を整える。 会計年度任用職員人件費　2,417千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
・窓口電話障害児相談業務（障害児通所事業等福祉サービス） ・教育・保健センター・障害福祉との連携業務 ・こあら教室運営サポート ・訪問業務 ・ケース会議の参加 ・ケース報告書作成管理 ・自立支援協議会

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,417
R2予算額	2,417
R元当初予算額	2,130
R元現計予算額	2,130
増減額	287

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,902	2,042
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,502	3,642
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	287 単位 件	348 単位 件
単位当たりコスト　（円）	12,202	10,466

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり (4)児童発達支援事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市障がい者計画・障がい福祉計画策定業務

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的	障害者基本法第11条に基づく障害者施策に関する基本的な計画「第3次宇陀市障がい者計画」及び障害者総合支援法第88条に基づく障がい福祉サービスの提供体制の円滑な実施に関する計画「第6期宇陀市障がい福祉計画・第2期宇陀市障がい児福祉計画」を策定する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	障害者基本法第11条　障害者総合支援法第88条
総合計画	基本計画　１－２－２　障がい者の生活支援

R2年度事業の概要	障がい者計画策定業務委託料　3,938千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	障がい者を取り巻く現状や課題、これまでの計画の見直しを踏まえ、障がい者施策の基本指針として、改めて総合的な視点から施策の体系化を図るとともに、障がい福祉の充実にむけ、各種施策の方向性を示すことを目的とし、「第3次宇陀市障がい者計画」（令和3年度～令和8年度の6年間）及び「第6期宇陀市障がい福祉計画・第2期宇陀市障がい児福祉計画」（令和3年度～令和5年度の3年間）を策定する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	3,938
一般財源	
R2予算額	3,938
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	3,938

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
福祉活動基金繰入金　3,938千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり (11)障がい者基本計画・障がい福祉計画策定事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	コミュニケーション条例啓発事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的	手話は言語であるという認識とともに、多様なコミュニケーション手段の選択の機会と環境の整備、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の普及及び利用の促進を図るという条例の趣旨に基づきガイドブックを作成する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	手話言語条例及び宇陀市障害者コミュニケーション条例
総合計画	基本計画　１－２－２　障がい者の生活支援

R2年度事業の概要	ガイドブックの印刷製本費　300千円 [仕様]　カラー刷り15ページ前後 [部数]　2,000部 [配布先]　市内小・中学校、事業所、医療機関、市の主要施設等に配布
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	手話言語条例及びコミュニケーション条例の趣旨に基づきガイドブックを作成する。 条例では標記できない部分を、絵図等を使い詳しく、分かりやすく標記することで、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の普及及び利用の促進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	300
一般財源	
R2予算額	300
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	300

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
福祉活動基金繰入金　300千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり (5)コミュニケーション条例啓発事業

年度　会計　　区分
〈2020〉 #N/A　〈3-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計・介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	桜井宇陀広域連合事業の推進

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
広域連合は事務処理の平準化を図るとともに、審査委員の確保や圏域住民に対する公平中立な事務処理を行いやすく、また、効率化による経費の節減も図れることから、介護保険認定審査会及び障害支援区分認定審査会を設置し、審査会の審査判定業務の円滑な推進を目的とする。

宇陀市一般会計・介護保険事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
	1	総務費
項	1	社会福祉費
	3	介護認定審査会費
目	2	障害者福祉費
	1	認定審査会費
事業	1	本庁障害者福祉費
	1	認定審査会費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－３－１　広域行政の推進

R2年度事業の概要
【桜井宇陀広域連合負担金】 一般会計　257千円 特別会計　15,754千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
【平成30年度実績】　延べ件数 介護認定審査会　4,845件 障害支援区分認定審査会　303件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	16,011
R2予算額	16,011
R元当初予算額	16,011
R元現計予算額	16,011
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	16,010	16,011
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	20,010	20,011
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 3. 広域行政の推進 (1)桜井宇陀広域連合事業の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業（市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的

後期高齢者医療制度対象者で重度の心身障害のある者（身体障害者手帳1・2級または療育手帳A1・2所持者）に対し医療費の一部を助成し、もって対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
県の助成金補助制度では所得制限があるが、宇陀市では市単独事業として所得制限を撤廃している。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
事業	1	本庁老人福祉費

根拠条例等	宇陀市重度心身障害老人等医療費助成要綱
総合計画	基本計画　１－４－３　国民健康保険・福祉医療費助成の推進

R2年度事業の概要

支払った医療費（食事療養費や保険外医療費を除く）から、下記の金額を除いた額を助成する。
・通院の場合　医療機関毎に月500円
・入院の場合　医療機関毎に月1,000円
（月14日未満の入院の場合は500円）
[市単予算]
・医療扶助費　2,721千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

		H29年度（実績）	H30年度（実績）	R元年度（見込）
対象者数＜年度末＞（人）	県単	371	365	370
	市単	20	26	20
	計	391	391	390
助成件数（件）	県単	10,454	10,536	10,500
	市単	575	594	600
	計	11,029	11,130	11,100
医療費助成額＜高額立替払分含＞（円）	県単	23,275,995	22,361,235	23,793,000
	市単	1,587,787	3,050,888	1,728,000
	計	24,863,782	25,412,123	25,521,000

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,721
R2予算額	2,721
R元当初予算額	1,728
R元現計予算額	1,728
増減額	993

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,051	1,728
従事職員数【人工】	0.28	0.28
人件費　（人工×8,000千円）	2,240	2,240
総事業費：人件費含む　（千円）	5,291	3,968
活動指標名	助成件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	594 単位 人	600 単位 人
単位当たりコスト　（円）	8,907	6,613

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
（9）心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ワンコインライフサポート事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
高齢者や障がい者など日常生活で困りごとを抱えた人が、住み慣れた地域で在宅生活を継続していくため、ちょっとした家事援助などを少ない負担（ワンコイン）でライフサポーターが家事援助をすることで、地域で安心して過ごせる仕組みづくりを構築する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
事業	1	本庁老人福祉費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－２－４　地域福祉の環境づくり

R2年度事業の概要
社会福祉協議会への委託事業　165千円 介護保険制度等で対応できないようなちょっとした困りごと（電球の交換や庭掃除など）をワンコイン（30分500円、1時間800円）で地域のサポーターが支援する。 また、困りごとのお手伝いをするだけでなく、活動を通じて高齢者の安否確認ができたり、住民同士が顔見知りになることで関係性が構築され、見守りや防犯、災害時の支援につながるなどの相応効果も目指す。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
利用者及びサポーターの登録を社会福祉協議会が行い実施していく。 地域のサポーターから生活支援を受けることにより、地域で安心して過ごせるように支援を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	165
R2予算額	165
R元当初予算額	100
R元現計予算額	100
増減額	65

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	116	100
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	916	900
活動指標名	延利用者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	41 単位 人	77 単位 人
単位当たりコスト　（円）	22,341	11,688

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 2.みんなの幸せを支える福祉環境づくり (10)高齢者等支援委託事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-3-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等見守り隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
事業	101	本庁老人福祉費（高齢者支援事業）

根拠条例等	高齢者等おしらせ隊実施要領、高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領
総合計画	基本計画　１－２－４　地域福祉の環境づくり

R2年度事業の概要
高齢者等見守り支援事業は、自治会・まちづくり協議会・民生児童委員・老人クラブなどの関係団体に民間事業所を加えた「高齢者等おしらせ隊」と地域ボランティアによる「高齢者等サポート隊」の2つを称して「高齢者等見守り隊」として活動している。地域の高齢者等の異変を察知し、通報・連絡体制など連携を図り、高齢者等の安心感の提供と孤独死等の防止を目的に社会福祉協議会に委託を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度（見込み）
高齢者等サポート隊（事業所）	18	18	18
高齢者等見守り隊〔団体（自治会数）〕	9（45）	9（45）	12（57）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	703
R2予算額	703
R元当初予算額	683
R元現計予算額	683
増減額	20

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	496	683
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	896	1,083
活動指標名	協力団体数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	9 単位 団体	12 単位 団体
単位当たりコスト　（円）	99,556	90,250

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり (10) 高齢者等支援委託事業

年度　会計　　区分
〈2020〉　〈1〉　〈3-1-7-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	人権啓発関係事業

所管課	人権推進課	（市民環境部）

事業の目的

法律、市条例、宇陀市人権施策基本計画に基づき、市の責務として人権啓発事業を実施し、一人ひとりの人権を尊重し合い、人権侵害を許さないまちづくりを目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	7	人権行政推進費
事業	1	人権行政推進費

根拠条例等	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「宇陀市部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消の推進に関する条例」等
総合計画	基本計画　４－１－１　人権尊重の社会づくり

R2年度事業の概要

（単位:千円）

・人権擁護に関する審議会、男女共同参画推進審議会	152
・各種集会講師謝礼等	626
・各種研修会・大会等旅費	268
・消耗品、役務費、委託料	1,157
・各種研修参加負担金	244
・関係機関団体負担金、分担金	700
合　計	3,147

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

基本的人権の尊重という目標をしっかり見据えた啓発を継続して、共生のまちづくりを目指すとともに、人権問題に関する市民の意識高揚と、啓発事業等への人権施策の一層効果的な推進を図る取り組みを推進する。
・毎月11日は「人権を確かめあう日」の啓発
・「差別をなくす強調月間」市民啓発、市民集会等の開催
・DV相談、人権相談の開催
・男女共同参画集会の開催
・人権問題啓発活動推進本部の運営
・年間を通した啓発活動（HP、広報、うだチャン等）の実施

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	2
国　費	
県　費	129
市　債	
その他	
一般財源	3,016
R2予算額	3,147
R元当初予算額	3,100
R元現計予算額	3,100
増減額	47

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,042	2,808
従事職員数【人工】	2.20	2.20
人件費　（人工×8,000千円）	17,600	17,600
総事業費：人件費含む　（千円）	20,642	20,408
活動指標名	差別をなくす市民集会参加者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	217 単位 人	308 単位 人
単位当たりコスト　（円）	95,124	66,260

特定財源の状況

行政財産使用料　2千円
人権啓発活動委託金　129千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
1.人権を大切にする共生のまちづくりの実現
(1)人権啓発関係事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-7-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	犯罪被害者等支援推進負担金等事業

所管課	人権推進課	（市民環境部）

事業の目的

犯罪被害者やその家族の支援を巡っては、「犯罪被害者等基本法」に地方自治体も支援を行う責任があると明記されている。法に基づき、市が国や奈良県及び関係機関等との適切な役割分担を踏まえて、地域の実情に応じた支援を総合的に推進することで、犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	7	人権行政推進費
事業	1	人権行政推進費

根拠条例等	「犯罪被害者等基本法」、「奈良県犯罪被害者等支援条例」、「宇陀市犯罪被害者等支援条例」
総合計画	基本計画　４－１－１　人権尊重の社会づくり

R2年度事業の概要

相談及び情報の提供、見舞金の支給、市民に対する啓発活動など、自治体による支援のバラつき（格差）を無くし、等しく支援を受けることができるよう被害者支援に向けた整備を進める。

（単位:千円）

・犯罪被害者等支援連携負担金	72
・犯罪被害者等見舞金	400
合計	472

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

犯罪の被害者やその家族が穏やかな日常を取り戻すことができるよう支援態勢を整備することは、市民にとって安全・安心な市づくりにつながる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	472
R2予算額	472
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	472

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
1.人権を大切にする共生のまちづくりの実現
(4)犯罪被害者等支援推進負担金等事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-8-40〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	菟田野人権交流センター大規模改修事業

所管課	人権交流センター	（市民環境部）

事業の目的

菟田野人権交流センターは、昭和54年に隣保館・老人福祉センター・地区体育館機能を有する複合施設として建設され、人権啓発の拠点施設として住民の福祉の向上及び住民相互の交流の場として長年利用されている。しかし、老朽化に伴う施設・設備の不具合等が顕著なため、大規模改修することにより利用頻度の高い当施設の維持管理を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	8	人権交流センター費
事業	40	菟田野地域事務所人権交流センター費

根拠条例等	宇陀市人権交流センター等設置及び運営に関する条例
総合計画	基本計画　４－１－１　人権尊重の社会づくり

R2年度事業の概要

（単位：千円）

節	金額	節	金額
旅費	124	使用料及び賃借料	250
需用費	362	工事請負費	468,200
役務費	436	備品購入費	7,519
委託料	15,543	公課費	9
		合　計	492,443

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

【これまでの成果】
令和元年度より事務所を大宇陀人権交流センターに移転し、貸館や各種講座等の事業は場所を変え継続している。工事に関しては、常に業者と打合せを定期的に開催するとともに、近隣住民に迷惑が掛からないよう、常に工事現場の管理も行う。
【スケジュール】
令和2年度中完了予定
【目標】
「人権と福祉」のまちづくりの拠点施設として、今後も広く市民に利用される事業展開や適正な施設の管理運営を行う。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	165,000
市　債	329,700
その他	
一般財源	▲ 2,257
R2予算額	492,443
R元当初予算額	72,570
R元現計予算額	72,570
増減額	419,873

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		65,490
従事職員数【人工】		4.00
人件費　（人工×8,000千円）		32,000
総事業費：人件費含む　（千円）		97,490
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

隣保館等施設整備費補助金
165,000千円
過疎対策事業債　329,700千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
1. 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
（3）菟田野人権交流センター大規模改修事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	指定介護予防支援事業

所管課	医療介護あんしんセンター（健康福祉部）

事業の目的

介護保険地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業における支援が必要な者（要支援1・2の認定を受けた者及び基本チェックリスト該当者）が、可能な限り居宅において自立した日常生活が送れるよう、総合事業によるサービスなどが総合的かつ効率的に提供されるよう支援する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	10	介護予防支援費
事業	1	指定介護予防支援事業費

根拠条例等	介護保険法（地域支援事業）
総合計画	基本計画　１－２－１　介護・福祉サービスの充実

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科目	内容	金額
人件費	会計年度任用職員人件費	12,178
旅費	普通旅費	40
需用費	消耗品、燃料費、印刷製本費	1,039
役務費	通信運搬費、手数料	519
委託料	システム保守点検	962
	介護予防支援委託	12,000
使用料	自動車・システムリース料	3,140
負担金	医療介護連携ICT負担金	120
公課費	自動車重量税	24
合　計		30,022

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

介護予防・日常生活支援総合事業における支援が必要な者（要支援1・2の認定を受けた者及び基本チェックリスト該当者）のケアプランを作成する。

介護予防・日常生活支援総合事業における支援が、必要な者（要支援1・2の認定を受けた者及び基本チェックリスト該当当者）の心身の状況に応じた適切な介護予防支援を提供することにより、高齢者の自立した生活の実現を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	30,022
一般財源	
R2予算額	30,022
R元当初予算額	29,650
R元現計予算額	29,650
増減額	372

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	25,767	29,650
従事職員数【人工】	4.00	4.00
人件費（人工×8,000千円）	32,000	32,000
総事業費：人件費含む（千円）	57,767	61,650
活動指標名	ケアマネジメント実績	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	6,374 単位 件	6,500 単位 件
単位当たりコスト（円）	9,063	9,485

特定財源の状況

雑入（地域包括支援センター雑入）　30,022千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり
(1)地域包括ケアシステム推進関係事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-11-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	医療介護あんしんセンター管理費

所管課	医療介護あんしんセンター（健康福祉部）

事業の目的	地域包括ケアシステムの構築を推進するため、奈良県宇陀川浄化センター館内の榛原保健センター内に医療介護あんしんセンターを設置し管理運営を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	11	医療介護あんしんセンター管理費
事業	1	医療介護あんしんセンター管理費

根拠条例等	地域包括支援センター設置条例
総合計画	基本計画　１－２－１　介護・福祉サービスの充実

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科目	内容	金額
需用費	消耗品費	71
	光熱水費	840
	修繕料	792
役務費	通信運搬費	3
委託料	保安点検委託料	139
	施設維持管理委託料	1,076
負担金	施設警備業務県負担金	1,867
合　計		4,788

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市榛原保健センターとして健診等の保健事業を継続実施するとともに、地域包括支援センターおよび在宅医療・介護連携支援など各種事業を展開する地域包括ケアを推進する拠点として活動できる。

市民および関係者の相談来所者数および事業の参加者数を増加させ、地域包括ケアシステムを推進させる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,788
R2予算額	4,788
R元当初予算額	5,978
R元現計予算額	5,978
増減額	▲ 1,190

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,177	5,978
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	9,177	9,978
活動指標名	来所者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	3,315 単位 人	3,400 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,768	2,935

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり
(1) 地域包括ケアシステム推進関係事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども医療費助成事業（市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的

子どもを養育している者に対し、当該子どもに係る医療費の一部を助成することで、子どもの健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
これまで通院助成は就学前児童に対して行っていたが、H28年8月診療分から県の助成金補助制度として助成の拡大を行っている。
県の助成金補助制度では所得制限があるが、宇陀市では所得制限を撤廃し市単独事業として助成している。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　１－４－３　国民健康保険・福祉医療費助成の推進

R2年度事業の概要

○対象者　通院・入院とも0歳から15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間の子ども
●通院の場合
・助成内容…支払った医療費（食事療養費や保険外医療費除く）から1医療機関あたり一部負担金を控除した額
・一部負担金…500円（小中学生は1,000円）
●入院の場合
・助成内容…支払った医療費の全額（ただし、食事療養費や保険外医療費を除く）
[市単予算]
・医療扶助費　1,029千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

		H29年度（実績）	H30年度（実績）	R元年度（見込）
対象者数＜年度末＞(人)	県単	2,569	2,487	2,400
	市単	60	73	100
	計	2,629	2,560	2,500
助成件数(件)	県単	24,445	25,620	25,594
	市単	653	620	691
	計	25,098	26,240	26,285
医療費助成額＜高額立替払分含＞(円)	県単	35,769,399	36,896,087	38,918,000
	市単	1,025,339	1,027,009	1,527,000
	計	36,794,738	37,923,096	40,445,000

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,029
R2予算額	1,029
R元当初予算額	1,527
R元現計予算額	1,527
増減額	▲ 498

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,027	1,527
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	1,427	1,927
活動指標名	助成件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	620 単位 人	691 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,302	2,789

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
（4）子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	未熟児養育医療費助成事業

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的	出生時、体重など身体の発育が未熟なまま出生し、指定養育医療機関へ入院して治療を行う必要があると医師が認めた乳児に対して、必要な医療の給付を行うことを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	母子健康法
総合計画	基本計画　１－４－３　国民健康保険・福祉医療費助成の推進

R2年度事業の概要	〈対象者〉 1歳未満で、身体の発育が未熟なまま出生し、出生時の体重が2,000グラム以下などの症状を有しており、医師が入院養育の必要を認めた乳児 〈給付方法〉 養育医療に係る費用を市が一旦、全額指定医療機関に支払い、後日、保護者の所得税額等に応じた負担額を保護者より徴収する。 ・未熟時養育医療費 114,000円×10件＝1,140,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	○平成27年度実績　5件　531,649円 ○平成28年度実績　11件　1,248,324円 ○平成29年度実績　11件　976,062円 ○平成30年度実績　11件　1,200,259円 ○令和元年度見込　10件　1,140,000円

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	550
県　費	275
市　債	
その他	40
一般財源	275
R2予算額	1,140
R元当初予算額	1,140
R元現計予算額	1,140
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,200	1,140
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	1,280	1,220
活動指標名	受給者	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	11 単位 人	10 単位 人
単位当たりコスト　（円）	116,364	122,000

特定財源の状況
未熟児養育医療費負担金 （国）　550千円 未熟児養育医療費負担金 （県）　275千円 児童福祉費雑入　40千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 （5）未熟児養育医療給付事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	家庭相談員・ファミリーサポートセンター事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

社会問題となっている児童虐待などの未然防止と早期発見に努め、相談・支援体制の充実を図る。
宇陀市ファミリーサポートセンターが、子どもを預けたい人に子育てサポーターをコーディネートし、子育て中の保護者を応援する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市家庭児童相談室設置運営要綱、宇陀市要保護児童対策地域協議会要綱他
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

・家庭児童相談員の設置　家庭児童福祉に関する相談・指導業務を充実強化し、児童虐待の未然防止を図り、関係機関との連携や戸別訪問を重視するために相談員を配置し啓発活動を行う。
・ファミリーサポートセンターの継続

【単位:千円】

項目	金　額	内　訳
人件費	2,588	会計年度任用職員人件費
報償費	520	報奨金　講師謝金
旅費	10	家庭相談員費用支弁
需用費	275	ファミサポ･家児相経費
役務費	270	ファミサポ･家児相経費
委託料	147	ファミサポ経費
備品購入費	120	ファミサポ経費
合　計	3,930	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

・家庭児童相談員への相談件数
平成30年度　114件（内訳）虐待相談　86件
その他相談　28件
・現状
虐待件数が増加しており、中でもネグレクトや心理的虐待に係る件数が増加・複雑化しているため、より専門的な対応が求められている。令和元年度より、多職種の人材を配置し、個別ケース会議開催や、各所属所との現況確認、支援の打合せ回数の増に対応しており、令和2年度においてもこの体制を継続する。
・経過観察が必要な家庭の個別訪問と関係機関（幼保、小・中学校）などとの連携（訪問）活動の需要が高まっている。
・訪問型の具体的な子育ての仕方を指導することにより、子育て中の家庭支援、並びに虐待の未然防止を図る。
・令和2年度は虐待防止啓発に向けての講演会を実施する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	1,506
県　費	846
市　債	
その他	1
一般財源	1,577
R2予算額	3,930
R元当初予算額	8,108
R元現計予算額	8,108
増減額	▲ 4,178

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,695	6,985
従事職員数【人工】	0.40	1.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	11,200
総事業費：人件費含む　（千円）	5,895	18,185
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	114 単位 件	120 単位 件
単位当たりコスト　（円）	51,711	151,542

特定財源の状況

児童虐待防止対策支援事業補助金　660千円
子ども・子育て支援交付金
（国）　846千円
（県）　846千円
児童福祉費雑入　1千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
3.結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(5)家庭相談員・ファミリーサポートセンター事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈3-2-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こんにちは赤ちゃん事業【乳児家庭全戸訪問事業】

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

すべての乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供すると共に、子育ての孤立化や児童虐待の未然防止、支援の必要な家庭に対するは適切なサービスの提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	こんにちは赤ちゃん事業実施要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

・対象：生後4ヶ月までの乳児のいる世帯
・内容：委託する助産師及び保健師が対象者を訪問し、相談業務を行う
・事業費
　委託料　5,000円×70人＝350,000円　助産師4名へ委託
　役務費　助産師活動補償保険　41,730円
・対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに原則1回訪問
・必要に応じて個別ケース毎に会議を行い、支援内容を検討する。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

訪問実績

	助産師	保健師	計
平成26年度	93件		93件
平成27年度	103件	33件	136件
平成28年度	91件	53件	144件
平成29年度	81件	41件	122件
平成30年度	78件	31件	109件

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	116
県　費	116
市　債	
その他	
一般財源	160
R2予算額	392
R元当初予算額	489
R元現計予算額	489
増減額	▲ 97

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	393	489
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,193	1,289
活動指標名	訪問乳児数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	109 単位 人	130 単位 人
単位当たりコスト　（円）	10,945	9,915

特定財源の状況

子ども・子育て支援交付金
（国）　116千円
子ども・子育て支援交付金
（県）　116千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(6) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ベビーシートレンタル事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	乳児を養育している子育て世帯を対象に、ベビーシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	101	本庁児童福祉総務費（子育て応援事業）

根拠条例等	道路交通法第７１条の３第４項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

・対　　象：宇陀市在住の乳児を養育する者
・貸与期間：生後6ヵ月以内
・事業内容：レンタル業者と委託契約を結び、申請者には直接業者からベビーシートが貸与される。
・事業費　：委託料　189,200円　@9,460円×20件
　　郵送料　　1,680円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

■実績

	貸与件数
平成22年度	44件
平成23年度	33件
平成24年度	38件
平成25年度	34件
平成26年度	33件
平成27年度	42件
平成28年度	26件
平成29年度	26件
平成30年度	28件

（※双子の場合、申請件数は1で貸与件数は2となる。）

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	192
R2予算額	192
R元当初予算額	350
R元現計予算額	350
増減額	▲ 158

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	260	242
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,060	1,042
活動指標名	貸与件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	28 単位 件	20 単位 件
単位当たりコスト　（円）	37,857	52,100

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(3)便利な田舎宇陀のレシピ

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い金支給事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	新生児の誕生を祝うとともに、健やかな成長を願い出産祝い金を支給することで、子育て世代の経済的負担の軽減と定住促進を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	101	本庁児童福祉総務費（子育て応援事業）

根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要	・対象：宇陀市に住所を有するもので、出産しかつ宇陀市に住所を定めた者 ・内容：出産祝い金として、地域経済の振興に期待できるウッピー商品券（10,000円）を配布すると共に、子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進に寄与する。 ・事業費： 扶助費　10,000円×100人＝1,000,000円 郵送料　84円×100人＝8,400円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

	贈呈件数
平成22年度	160件
平成23年度	180件
平成24年度	150件
平成25年度	180件
平成26年度	150件
平成27年度	145件
平成28年度	147件
平成29年度	116件
平成30年度	118件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,008
R2予算額	1,008
R元当初予算額	1,311
R元現計予算額	1,311
増減額	▲ 303

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,190	1,010
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,990	1,810
活動指標名	出生者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	118 単位 人	100 単位 人
単位当たりコスト　（円）	16,864	18,100

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (3)便利な田舎宇陀のレシピ

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ファーストバースデー祝い品事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

誕生後、初めての誕生日を迎える幼児が健やかに成長することを願い、誕生祝い品として絵本を贈呈し、本に親しむ習慣を育むことを目的とし、かつ子育て世代の定着化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	101	本庁児童福祉総務費（子育て応援事業）

根拠条例等	宇陀市ファーストバースデー祝品贈呈事業実施要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

・対象：宇陀市に住所を有し、当該事業年度において1歳に達する
　　子どもの保護者
・内容：満1歳の誕生日を迎える幼児1人に3,000円相当の祝い品
　　（絵本・バースデーカード・絵本バック）を贈呈
・事業費

絵本	2,700円×105人＝283,500円
バースデーカード	220円×105人＝ 23,100円
絵本バック	320円×105枚+5000円＝ 38,600円
案内通知	140円×105人＝ 14,700円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

保護者が子どもに絵本の読み聞かせを行うことで、親子の関係が穏やかになり、それにより子どもの心が安定し、豊かな心が育ち、また幼児期から本に親しむことで読書好きの子どもに育つことを目標とする。

	贈呈件数
平成26年度	163件
平成27年度	153件
平成28年度	135件
平成29年度	144件
平成30年度	121件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	361
R2予算額	361
R元当初予算額	441
R元現計予算額	441
増減額	▲ 80

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	438	441
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,238	1,241
活動指標名	対象児童	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	121 単位 人	118 単位 人
単位当たりコスト　（円）	10,231	10,517

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(3)便利な田舎宇陀のレシピ

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈3-2-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぴかぴか１年生応援事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	子育て世帯への教育支援として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、小学校及び中学校を迎える入学準備金として入学補助を行う。子育て家庭の子どもの生活の安定や福祉の増進を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	101	本庁児童福祉総務費（子育て応援事業）

根拠条例等	宇陀市ぴかぴか１年生応援給付金支給要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

・対象：宇陀市在住で小学1年生、中学1年生を養育する児童・生徒の保護者
・内容：小学校1年生又は中学校1年生の児童・生徒がいる家庭の経済的負担の軽減を図るため、児童一人あたり10,000円（ウッピー商品券）を支給
・事業費
　祝い品　10,000円×175人＝1,750,000円（小学１年）
　　10,000円×220人＝2,200,000円（中学１年）
　郵送料　84円×395人＝　33,180円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

・子育てや教育にかかる費用を補助することにより子育て世代の経済的援助を図る。
・少子化対策の推進を図る。
・地元業者の地域活性を図る。

	小学生	中学生	特別支援	合計
平成27年度	220人	248人		468人
平成28年度	179人	261人	4人	444人
平成29年度	167人	221人	5人	393人
平成30年度	175人	220人	3人	398人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,983
R2予算額	3,983
R元当初予算額	3,831
R元現計予算額	3,831
増減額	152

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,980	3,831
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	5,580	5,431
活動指標名	支給児童数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	398 単位 人	380 単位 人
単位当たりコスト　（円）	14,020	14,292

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(3)便利な田舎宇陀のレシピ

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	トリプルチルドレン応援事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

多子家庭の経済的負担の軽減を図るため、トリプルチルドレン応援給付金を支給することにより、家庭における子育て環境及び教育環境を充実させることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	101	本庁児童福祉総務費（子育て応援事業）

根拠条例等	宇陀市トリプルチルドレン応援給付金支給要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

・対象：宇陀市在住で18才までの児童を3人以上養育する保護者
・内容：多子世帯の経済的負担の軽減を図る。
　第3子　　50,000円（ウッピー商品券）
　第4子以降　100,000円（ウッピー商品券）
・事業費
　商品券　50,000円×20人＝1,000,000円（第3子）
　　100,000円×　8人＝　800,000円（第4子以降）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

支給実績

	第3子	第4子以降	合計
平成27年度	38人	9人	47人
平成28年度	28人	13人	41人
平成29年度	23人	9人	32人
平成30年度	20人	10人	30人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,800
R2予算額	1,800
R元当初予算額	2,350
R元現計予算額	2,350
増減額	▲ 550

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,000	2,350
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	2,800	3,150
活動指標名	支給人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	30 単位 人	38 単位 人
単位当たりコスト　（円）	93,333	82,895

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(3)便利な田舎宇陀のレシピ

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	うだこども元気づくりプロジェクト事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的	健幸都市「ウェルネスシティ宇陀市」の目標として「こどもの体力向上」を掲げている。人間形成の土台となる幼児教育に重点を置き、運動による脳への刺激により、心身共に成長させ、幼児の体力向上に努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	101	本庁児童福祉総務費（子育て応援事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要	市内の幼稚園、保育所、こども園の教育・保育カリキュラムの中に専門的分野での体育指導を行い、より効果的な運動遊びを取り入れて幼児の体力向上を図る。運動は知育の発達と深い関係があることから、幼児期に体を動かす機会を多く与え、神経、脳、精神を刺激し、心身共により成長させ、幼児の発達を見据え、定期的に体育指導を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	体育専門指導員を講師として、市内幼稚園、こども園、保育所に派遣し、こども及び保育者に対する具体的な直接指導（かけっこ・体ほぐし・ボール遊び・マット運動・鉄棒・跳び箱・組み立て体操・バルーン、その他運動遊び全般）を行い、こどもの体力の向上を図ることを目的とする。

【幼児の運動能力等実態調査結果】
25m走　テニスボール投げ　立ち幅跳び　両足連続飛越

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
宇陀市平均	3.23	3.21	3.29
奈良県平均	3.04	3.05	2.99

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	30
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	30
R2予算額	60
R元当初予算額	186
R元現計予算額	186
増減額	▲ 126

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	185	186
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	985	986
活動指標名	対象児童	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,150 単位 人	1,150 単位 人
単位当たりコスト　（円）	857	857

特定財源の状況
子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金　30千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (4) うだこども元気づくりプロジェクト事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-3-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こども園・保育園一時保育事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

こども園において、多様化する保育需要に対応するため断続的または緊急若しくは一時的に保育を必要とする児童に対し、一時的な保育を実施することにより、本市における子育て家庭に対する育児の支援を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
事業		

根拠条例等	児童福祉法第２１条の９、宇陀市一時保育の実施に関する条例
総合計画	基本計画　１－３－１　仕事と子育ての両立支援の充実

R2年度事業の概要

市内に住所を有する者で、保育実施の対象とならない就学前の児童の家庭において、一時的に保育が必要な場合に行う。
・保育時間・・・8：30～12：30／12：30～16：30
・定　　員・・・1日あたり概ね10名
・要 件 等・・・（育児におけるリフレッシュ・参観等）
→週3日を限度に実施
（病気・通院・介護等緊急と判断した場合）
→1ヶ月を限度に実施

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

保護者の希望に沿った一時預かり事業を実施することにより、子育て家庭への支援ができる。

【単位：千円】

施設名	事業費
大宇陀こども園	228
菟田野こども園	143
榛原北保育園	237
室生こども園	128
会計年度任用職員人件費	9,024
合計	9,760

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	2,095
国　費	2,132
県　費	2,132
市　債	
その他	
一般財源	3,401
R2予算額	9,760
R元当初予算額	7,889
R元現計予算額	7,889
増減額	1,871

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,703	7,889
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	8,503	8,689
活動指標名	一時保育事業利用人数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	262 単位 人	375 単位 人
単位当たりコスト　（円）	32,454	23,171

特定財源の状況

一時保育使用料　2,095千円
子ども子育て支援交付金
（国）　2,132千円
子ども子育て支援交付金
（県）　2,132千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(2)一時保育事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子育て支援センター「すくすく」事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

乳児又は、幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
事業	3	本庁子育て支援センター費

根拠条例等	児童福祉法第２１条の９、宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

【単位：千円】

科　目	金　額	内　訳
報償費	164	講師謝金・記念品
旅費	11	普通旅費
需用費	1,561	
役務費	341	
委託料	1,459	保守点検等各種委託料
使用料及び賃借料	59	
備品購入費	30	
負担金補助及び交付金	26	各種研修参加負担金
合　計	3,651	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●子育て支援センターまたは市内の公共施設を利用して地域に出向き、ふれあい遊び・リズム遊び・制作活動・絵本の読み聞かせ等を行い、楽しく親子で交流する機会を作る。（活動に必要な教材を作成）
●年間登録制の親子教室（0歳児・1歳児・2歳児）を通して、同学年の交流をしながら子育てに必要な情報提供や保健師、栄養士、歯科衛生士、家庭児童相談員、お話会等からの指導、相談支援により、育児不安の緩和を図る。
●年間14～15回程度の子育て講座（親子体操・リトミック・ベビーマッサージ・親子ヨガ等）を開き、子育てに関する知識（虐待防止を含む）やリラックスできる時間を提供する。
●年1回ずつ、「親子コンサート」「すくすくフェスティバル」（運動会イベント）を実施する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	2,807
県　費	2,807
市　債	
その他	97
一般財源	▲ 2,060
R2予算額	3,651
R元当初予算額	3,817
R元現計予算額	3,817
増減額	▲ 166

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,538	3,817
従事職員数【人工】	5.00	5.00
人件費　（人工×8,000千円）	40,000	40,000
総事業費：人件費含む　（千円）	43,538	43,817
活動指標名	支援センター事業参加者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	9,345 単位 人	9,500 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,659	4,612

特定財源の状況

子ども・子育て支援交付金
（国）　2,807千円
子ども・子育て支援交付金
（県）　2,807千円
子育て支援センター事業雑入
97千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(7)子育て支援センター「すくすく」の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-3-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	菟田野こども園建設事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

建築後40年以上が経過した菟田野保育所について、新制度である「菟田野こども園」の新築工事を行うことで、就学前の教育・保育の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
事業	4	菟田野こども園建設事業費

根拠条例等	宇陀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

【単位：千円】

科　目	金　額	内　訳
報償費	50	竣工式記念品
需用費	971	
役務費	389	手数料
委託料	432	引越作業委託料
使用料及び賃借料	375	隣地駐車場借地料
工事請負費	351,162	
備品購入費	13,794	
合　計	367,173	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

（1）工事名
（仮称）菟田野こども園新築工事
（2）工事場所
宇陀市菟田野古市場地内【菟田野小学校敷地内】
（3）工事内容
園舎建築（延床面積：997.5㎡）屋外整備
（4）工期
令和元年5月13日から令和2年7月30日まで

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	360,800
その他	
一般財源	6,373
R2予算額	367,173
R元 当初予算額	214,751
R元 現計予算額	214,751
増減額	152,422

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,329	214,751
従事職員数【人工】	0.70	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	5,600	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	6,929	222,751
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

過疎対策事業債　360,800千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(10) 菟田野こども園建設事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-3-25〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	病後児保育事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

保護者が就労している場合等において、子どもの病気が回復期にあるときに、自宅での保育が困難な場合に大宇陀こども園内病後児保育室において保育を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
事業	25	大宇陀こども園病後児保育事業

根拠条例等	宇陀市病後児保育の実施に関する条例
総合計画	基本計画　１－３－１　仕事と子育ての両立支援の充実

R2年度事業の概要

対象児童：生後6ヶ月から小学3年生
利用時間：午前8時30分～午後4時30分まで
利用料：2,000円／1日　給食費（おやつ含む）300円

【単位:千円】

科　目	金　額	内　訳
人件費	3,000	会計年度任用職員人件費
需用費	46	消耗品、賄材料費
役務費	2	
使用料及び賃借料	4	布団借上料
合　計	3,052	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

子どもが病気になり回復期の児童を保育することにより、保護者が安心して子育てができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	40
国　費	786
県　費	786
市　債	
その他	2
一般財源	1,438
R2予算額	3,052
R元当初予算額	2,705
R元現計予算額	2,705
増減額	347

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,694	2,653
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	2,774	2,733
活動指標名	利用人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	3 単位 人	10 単位 人
単位当たりコスト　（円）	924,667	273,300

特定財源の状況

病後児保育使用料　40千円
子ども・子育て支援交付金（国）　786千円
子ども・子育て支援交付金（県）　786千円
雑入（児童福祉費雑入）　2千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(1)病後児保育事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-5-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	放課後児童健全育成事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

小学校に就学している児童の保護者が労働等により昼間家庭にいない者に、政令で定める基準に従い、授業の終了後に小学校等の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	5	放課後児童健全育成事業費
事業	1	本庁放課後児童健全育成事業費

根拠条例等	宇陀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

■開設期間　月～金曜日、毎月第2土曜日
■休室日　日曜、祝日、8/13～8/15　12/29～1/3
第2土曜日以外の土曜日

【単位:千円】

科　目	金　額	内　訳
需用費	275	
役務費	21	
委託料	45,463	運営委託料
合　計	45,759	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

平成25年5月1日より、学童保育室の運営を「NPO法人学童クラブうだ」に業務委託し、放課後に適切な遊びを与え、楽しい集団生活を体験させ、学校生活と家庭生活の結び目としての役割が果たせた。
平成28年度において榛原東小学校学童保育室及び大宇陀小学校学童保育室の定員拡充を図ると共に施設を整備している。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	13,458
県　費	13,458
市　債	
その他	
一般財源	18,843
R2予算額	45,759
R元当初予算額	46,058
R元現計予算額	46,058
増減額	▲ 299

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	43,387	43,258
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	44,987	44,858
活動指標名	年間平均登録人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	218 単位 人	230 単位 人
単位当たりコスト　（円）	206,362	195,035

特定財源の状況

子ども・子育て支援交付金
（国）　13,458千円
子ども・子育て支援交付金
（県）　13,458千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
3.結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(8)放課後児童健全育成事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業（市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的

ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もってひとり親家庭等の親子等の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。
助成対象は、宇陀市内に在住しているひとり親家庭の父または母と18歳未満（18歳に達する日以後最初の3月31日に達するまで）の児童や父母のない18歳未満の児童
県の助成金補助制度では所得制限があるが、宇陀市では市単独事業として所得制限を撤廃している。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	6	ひとり親家庭等福祉費
事業	1	本庁ひとり親家庭等福祉費

根拠条例等	宇陀市ひとり親家庭等医療費助成条例　同条例施行規則
総合計画	基本計画　１－４－３　国民健康保険・福祉医療費助成の推進

R2年度事業の概要

支払った医療費（食事療養費や保険外医療費を除く）から、下記の金額を除いた額を助成する。
・通院の場合…医療機関毎に月500円
・入院の場合…医療機関毎に月1,000円
（月14日未満の入院の場合は500円）
※ただし、対象者が中学校卒業時までの場合は、入院時の保険診療の自己負担額を全額助成する。
[市単予算]
・医療扶助費(高額含む)　2,617千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

		H29年度（実績）	H30年度（実績）	R元年度（見込）
対象者数＜年度末＞(人)	県単	607	580	550
	市単	111	113	100
	計	718	693	650
助成件数(件)	県単	5,065	5,478	5,178
	市単	986	1,063	839
	計	6,051	6,541	6,017
医療費助成額＜高額立替払分含＞(円)	県単	11,983,828	12,918,118	13,392,000
	市単	2,625,440	2,243,890	3,484,800
	計	14,609,268	15,162,008	16,876,800

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	459
一般財源	2,158
R2予算額	2,617
R元当初予算額	3,485
R元現計予算額	3,485
増減額	▲ 868

事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,244	3,485
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,844	5,085
活動指標名	助成件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	1,063 単位 人	839 単位 人
単位当たりコスト　（円）	3,616	6,061

特定財源の状況

雑入（福祉医療費助成制度高額療養費）　459千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
（4）子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生活保護適正実施推進事業

所管課	厚生保護課	（健康福祉部）

事業の目的

生活保護の適正な運営を確保するため、診療報酬明細書の点検強化等による医療扶助の適正化、収入資産調査の充実強化による生活扶助の適正化、生活保護関係職員の資質の向上のための研修の実施等、各種適正化の取組みを推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	3	生活保護費
目	1	生活保護総務費
事業	1	生活保護総務費

根拠条例等	セーフティネット支援対策等事業補助金要項（生活保護適正実施推進事業）
総合計画	基本計画　１－２－３　困難を抱えた家庭への自立支援

R2年度事業の概要

医療扶助の適正化のためのレセプト点検等
生活保護システムの更新　（単位：千円）

節	内容	金額	計	備考
委託料	【電算委託料】		6,486	
	・基準改定に伴う保守	609		
	・ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰ連携ﾕﾆｯﾄ保守	231		
	・ｸﾗｳﾄﾞｻｰﾋﾞｽ初期導入	4,986		
	・制度改正に伴うｼｽﾃﾑ改修	660		国庫補助1/2
	【レセプト点検委託料】		810	
	・ﾚｾﾌﾟﾄ点検業務	328		国庫補助3/4
	・医療費適正化促進	482		国庫補助3/4
使用料	・ﾚｾﾌﾟﾄ管理ｼｽﾃﾑ使用料	528	2,315	
	・基幹系PCｾｷｭﾘﾃｨｿﾌﾄ	66		
	・ｸﾗｳﾄﾞｻｰﾋﾞｽ利用料	1,721		
	計		9,611	607

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

生活保護行政の適切な運営の確保に資するため、扶養義務調査の推進、生活保護しおりの作成、生活保護制度の周知徹底等、さらに、生活保護システムを更新し機能を強化したことで、マイナンバー制度対策も含め複雑多様化する業務に対して、より適正に効果的な対応が可能になる。また、レセプト情報管理システムによって医療費抑制のための手立て（重複受診・向精神薬重複処方についての指導、医療費通知による受診チェック等）を適宜講じることが可能になるなど、適正な推進を図っていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	937
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,674
R2予算額	9,611
R元 当初予算額	3,139
R元 現計予算額	4,371
増減額	6,472

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,807	4,371
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）	3,807	4,371
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

生活保護適正実施推進事業費
補助金　937千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり
(8)生活保護適正実施推進事業

年度　会計　　区分
〈2020〉　〈1〉　〈3-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	健康管理支援事業

所管課	厚生保護課	（健康福祉部）

事業の目的
健康管理支援事業は、生活保護の適正な運営を確保するため、診療報酬明細書の点検強化等による医療扶助の適正化を推進している生活保護適正実施推進事業の中の事業であり、被保護者の健康管理を支援する。令和3年1月からの法定化に伴い、導入準備事業として実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	3	生活保護費
目	1	生活保護総務費
事業	1	生活保護総務費

根拠条例等	セーフティネット支援対策等事業補助金要綱（生活保護適正実施推進事業）
総合計画	基本計画　１－２－３　困難を抱えた家庭への自立支援

R2年度事業の概要
健康管理事業を行う業者への委託料 2,500,000×1.1＝2,750,000円 【国庫補助　10/10】

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
被保護者には、糖尿病・肝炎など重症化すると完治が難しいと考えられる疾病の割合が多く、精神疾患関連では統合失調症など長期治療が必要とされる疾患の割合が多い。この為に、被保護者の健康管理を支援する取り組みを実施する事となった。 医療費の状況をデータ分析し、福祉事務所における、健康診査結果に基づく保健指導や、被保護者の健康や受診に関する相談等に対し、助言・指導が行える支援体制作りをしていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,750
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	2,750
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	2,750

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
生活保護適正実施推進事業費補助金　2,750千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 2.みんなの幸せを支える福祉環境づくり (8)生活保護適正実施推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生活困窮者自立支援事業

所管課	厚生保護課	（健康福祉部）

事業の目的

現在、働くことが可能な年齢層で生活保護者が増加し、アルバイトや一時雇用の労働者、年収200万円以下の世帯など、生活困窮に至るリスクの高い層が増えていること。また、生活保護受給世帯のうち25%の世帯主が子どもの時にも生活保護を受けていたという「貧困の連鎖」の対策であり、最後のセーフティネットである生活保護に至る前の段階での支援、いわゆる「第2のセーフティネット」の充実・強化を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	3	生活保護費
目	1	生活保護総務費
事業	1	生活保護総務費

根拠条例等	生活困窮者自立支援法
総合計画	基本計画　１－２－３　困難を抱えた家庭への自立支援

R2年度事業の概要

単位：千円

事業名		予算額
被保護者就労支援事業	国庫負担：　3/4	3,368
自立相談支援窓口	国庫負担：　3/4	60
住居確保給付金	国庫負担：　3/4	240
家計改善支援事業	国庫補助：　2/3	3,004
就労準備支援事業	国庫補助：　2/3	1,007
子どもの学習支援事業	国庫補助：　1/2	300
合　計		7,979

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

相談員は、自立支援計画に基づき市役所関係各課および関係各機関との連絡調整・連携により、相談者の抱えている課題を評価・分析し、ニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行い、共に出口を探せる仕組みに繋いでいく。

【生活困窮者自立支援事業】

・自立相談支援窓口

生活困窮者の課題を分析し、自立に向けたプランを作成、ハローワーク等の関係各機関と連絡調整支援を行う。

・住居確保給付事業

離職により住宅を失った、または失う恐れのある生活困窮者に　有期で家賃相当額を支給する。

・家計改善支援事業

・奈良県広域就労準備支援事業

・(新)子どもの学習支援事業

小学生を対象に、学習支援ボランティアが授業の復讐や宿題の手助け、悩みの相談などを受ける。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	5,971
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,008
R2予算額	7,979
R元 当初予算額	6,976
R元 現計予算額	6,976
増減額	1,003

事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,134	6,976
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	19,134	18,976
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	26 単位 件	28 単位 件
単位当たりコスト　（円）	735,923	677,714

特定財源の状況

自立相談支援事業負担金
3,148千円
自立相談支援事業補助金
2,823千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
2. みんなの幸せを支える福祉環境づくり
(7)生活困窮者自立支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	食生活改善推進員活動支援事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	食生活を中心に市民の健康づくりを推進するボランティアとして食生活改善推進員活動を支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費
事業	1	本庁保健衛生総務費

根拠条例等	健康増進事業
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要	食生活を中心に市民の健康づくりを推進するボランティアとして食生活改善推進協議会を結成。その活動方針について助言するとともに活動補助金を交付する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	元年度食生活推進員102人 ・市内各地域での食育推進活動 ・ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画推進活動（食育推進） ・市イベントでの協力 ・日本食生活協会の食育事業の実施 （親子料理、生涯骨太クッキング、男性の為の料理教室、高齢者の良い食事の普及活動等） ・奈良県及び中和保健所と連携し生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業の実施。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	350
R2予算額	350
R元 当初予算額	350
R元 現計予算額	350
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	350	350
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	1,950	1,950
活動指標名	会員数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	107 単位 人	102 単位 人
単位当たりコスト　（円）	18,224	19,118

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (2)食生活改善推進員活動支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	医療介護連携ＩＣＴ負担金

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	市民が住み慣れた地域で、安心安全の医療介護サービスを受けることを推進するための地域ケアシステム構築の一部であり、中核病院や医科・歯科診療所、訪問看護、薬局、介護事業所などにおいてネットワークを結び、情報を共有し医療・介護サービスの向上・効率化を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費
事業	1	本庁保健衛生総務費

根拠条例等	健康増進事業
総合計画	基本計画　１－４－２　地域医療と福祉の連携の推進

R2年度事業の概要	一般社団法人宇陀地域医療・介護連携ネットワーク運営協議会を設立し、稼働していく。システムの運用費用については、参加施設が負担することになるが、当事業は市民のための事業で公益性があり、今後地域包括ケアを進めていくために必要な事業であるため、行政も維持費を負担する。 負担金　500,000円×12か月=6,000,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	市民が住み慣れた地域で、安心して医療介護サービスを受けることを推進するための一部であり、医療介護サービスの向上・効率化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,000
R2予算額	6,000
R元当初予算額	4,800
R元現計予算額	4,800
増減額	1,200

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,400	4,800
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	4,800	7,200
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	2,466 単位 人	3,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,946	2,400

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 4.地域医療体制の充実 (8)医療介護連携ＩＣＴ負担金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定期予防接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	予防接種の実施によって感染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
事業	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法
総合計画	基本計画　１－１－２　保健事業の充実

R2年度事業の概要

定期予防接種を医療機関で接種する。なお、生後6週から生後32週までの乳児を対象にロタウィルスワクチンの定期接種化を行う。

[令和2年度予算額]

需用費　224千円
役務費　175千円
委託料　39,556千円
負担金　16千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

令和2年度接種者数

（単位：人）

種　別	接種者数
ＢＣＧ	108
ヒブワクチン	461
小児肺炎球菌	460
ポリオ（不活化）	1
四種混合（ＤＰＴ-IPV）	485

種　別	接種者数
ＭＲ	284
水痘	228
日本脳炎（幼児）	429
日本脳炎（学童）	375
二種混合（ＤＴ）	161
B型肝炎	306

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	39,971
R2予算額	39,971
R元当初予算額	37,256
R元現計予算額	37,256
増減額	2,715

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	29,443	37,256
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	41,443	49,256
活動指標名	接種者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	3,298 単位 人	3,631 単位 人
単位当たりコスト　（円）	12,566	13,565

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
(4)乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者予防接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

65歳以上の高齢者及び60～65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。
また、肺炎を予防することを目的に高齢者肺炎球菌ワクチンを接種する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
事業	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法　宇陀市インフルエンザ予防接種実施要項
総合計画	基本計画　１－１－２　保健事業の充実

R2年度事業の概要

医療機関において各自予約の上、接種を受ける。
①インフルエンザ対象者：接種当日満65歳以上の方
60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方→接種回数：1回　自己負担金1,500円以外の費用を補助する。
②高齢者肺炎球菌予防接種対象者：接種当日65歳以上の方
60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方→接種補助回数：1回　自己負担金2,000円以外の費用を補助する。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

高齢者インフルエンザ接種者数（人）

H25年度	6,071
H26年度	6,366
H27年度	6,263
H28年度	6,465
H29年度	6,246
H30年度	6,191

高齢者肺炎球菌予防接種者数

H26年度	1,490
H27年度	1,234
H28年度	1,389
H29年度	1,455
H30年度	1,339

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	980
一般財源	31,551
R2予算額	32,531
R元 当初予算額	32,494
R元 現計予算額	32,494
増減額	37

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	35,383	32,494
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	38,583	35,694
活動指標名	接種者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	7,530 単位 人	6,870 単位 人
単位当たりコスト　（円）	5,124	5,196

特定財源の状況

雑入（予防接種自己負担金）
980千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
(4)乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	緊急風しん抗体検査事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

平成30年の風しんの流行の拡大を受けて、抗体保有率が80%と低い39歳～56歳の男性を対象に、風しんの抗体検査とワクチン接種を組み合わせて対応する。この世代の全年齢層の抗体保有率を85%以上とすることを目指し、令和元年度より3年間重点的・集中的に対策を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
事業	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要

風しんの定期接種が一度もなかった39歳～56歳の男性を予防接種法に基づく定期接種の対象とし、ワクチンの効率的な活用のために、まずは抗体検査を全国無料で実施する。そのうち、十分な抗体がない人に対し予防接種を実施する。

39歳～56歳の男性約2,300人（令和元年度未受診者）

内訳　需用費　413千円
　　役務費　322千円
　　委託料・風しん抗体検査　4,480千円
　　・風しん・麻しん予防接種1,642千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

抗体保有率が低い39歳～56歳の男性を対象に、風しんの抗体検査とワクチン接種を組み合わせて実施することで、風しんの発生及びまん延を予防することができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,607
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,250
R2予算額	6,857
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	6,857

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		12,363
従事職員数【人工】		0.30
人件費　（人工×8,000千円）		2,400
総事業費：人件費含む　（千円）		14,763
活動指標名	抗体検査受診者	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	単位	800　単位　人
単位当たりコスト　（円）		18,454

特定財源の状況

感染症予防事業費等補助金
2,607千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(9)母子保健事業の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	成人・女性等がん検診事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物（がん）・2位心疾患、3位肺炎となっており、がんの早期発見のために検診は最も重要である。市民にがん検診の機会を提供するとともに、個別の受診勧奨・再勧奨、がんに関する正しい知識の普及啓発等を行うことにより、がん検診の受診率向上を図り、がんによる死亡率を減少させることを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	1	本庁健康づくり費

根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要

大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する集団検診（セット健診）と、市内医療機関で実施する個別検診の体制で実施する。

子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する集団検診（女性のがん検診）と、医療機関個別検診の体制で実施する。

「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した、がん検診の個別の受診勧奨・再勧奨等の事業を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年十数名のがん確定診断者がおり、早期治療に繋げている。

【各検診受診者数】　（単位　人）

内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
大腸がん検診	2,571	2,582	2,584	2,598
胃がん検診	1,591	1,609	1,665	1,682
肺がん検診	1,848	1,954	2,067	2,088
前立腺がん検診	938	940	865	951
子宮がん検診	837	1,101	1,308	1,051
乳がん検診	895	1,101	1,214	1,074
合計	8,680	9,287	9,703	9,444

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	3,595
一般財源	31,822
R2予算額	35,417
R元 当初予算額	34,201
R元 現計予算額	34,201
増減額	1,216

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	29,715	34,201
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む（千円）	41,715	46,201
活動指標名	受診者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	9,444 単位 人	9,530 単位 人
単位当たりコスト（円）	4,417	4,848

特定財源の状況

雑入（がん検診自己負担金）
3,595千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
(3)がん予防対策等の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	死亡原因の第1位である‘がん‘を早期発見し早期治療につなげるため、個別の受診勧奨・再勧奨、無料クーポン券の配布、がんに関する正しい知識の普及啓発、精密検査未受診者に対する再勧奨の徹底等を行うことにより、がんによる死亡者数を減少させることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	1	本庁健康づくり費

根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進　特別予算
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要	「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、69歳までのがん検診全対象者へ個別勧奨及び一部対象者への再勧奨を実施。令和元年度より、子宮がん検診は年度末年齢21歳、乳がん検診は年度末年齢41歳のみに無料クーポン券等を配布（国庫補助金の事業対象者）。また精密検査未受診者に対する受診勧奨を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	乳がん・子宮がんの節目年齢のクーポン事業、がん検診受診勧奨事業を実施。 無料クーポン受診者（30年度） 子宮がん検診　91人（21.3%） 乳がん検診　161人（26.1%）

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	552
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	761
R2予算額	1,313
R元当初予算額	1,357
R元現計予算額	1,357
増減額	▲ 44

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,408	1,357
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	6,408	5,357
活動指標名	無料クーポン受診者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	252 単位 人	83 単位 人
単位当たりコスト　（円）	25,429	64,542

特定財源の状況
新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金 552千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (3)がん予防対策等の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	妊婦健康診査・母子健康手帳交付事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

妊娠経過と出生後の児の成長、予防接種歴を記録する母子健康手帳を妊娠が分った時点で交付する。交付時の保健指導は、妊娠・出産に対する不安や悩みの把握・相談とともに今後の関わりや支援のきっかけの機会となる。
妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診を徹底するため費用を助成する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要

母子健康手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴り(39枚分の補助券、1枚2,500円)を発行し、健診時に検診費用として医療機関へ支払う。
母子健康手帳・妊婦健康診査補助券は、健康増進課・中央保健センターで交付。
低所得者を対象に妊婦判定料全額補助事業を実施(市町村民税非課税世帯＜生保含む＞)。

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。

妊婦健康診査・母子手帳交付

年度	母子健康手帳交付数	妊婦健康診査	妊娠判定
平成25年度	178件	169件	5件
平成26年度	162件	158件	4件
平成27年度	153件	159件	1件
平成28年度	155件	186件	2件
平成29年度	109件	182件	3件
平成30年度	119件	178件	3件

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	17
市　債	
その他	
一般財源	11,232
R2予算額	11,249
R元当初予算額	14,226
R元現計予算額	14,226
増減額	▲ 2,977

事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	10,458	14,226
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	12,858	16,626
活動指標名	妊婦健康診査補助券交付数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	178 単位 人	140 単位 人
単位当たりコスト　（円）	72,236	118,757

特定財源の状況

妊娠判定受診料補助事業補助金
17千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
3.結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(9)母子保健事業の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児健康診査

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

乳幼児の発育状況や育児の状況を把握することにより、必要な助言・指導を行い、児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に下記の健康診査を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要

発達の節目の時期に合わせて、乳児健康診査（4～5カ月児、10～11カ月児）、1歳6カ月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査を実施する。

H30年度実施状況

	対象	健診回数	受診数(人)
乳児健康診査	4～5カ月児	12	104
	10～11カ月児	12	115
健康診査	1歳6カ月児	7	161
	2歳児歯科	7	153
	3歳児	8	156

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

児の発育状況や育児の状況を把握し、児の健康の保持・増進を図るとともに、虐待問題の早期発見のためにも重要な機会となる。そのため、健診未受診者の全数把握に努め、健診受診率100%を目指す。

健診の結果、経過観察等必要な児については、個別面接による継続支援や、心理発達相談員による発達相談などにつなげ発育、発達支援をする。また必要な児には関係機関（子育て支援センター、介護福祉課、教育委員会、幼稚園、保育所など）と連携した育児支援を行っている。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,220
R2予算額	1,220
R元 当初予算額	2,079
R元 現計予算額	2,079
増減額	▲ 859

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,162	2,079
従事職員数【人工】	2.20	2.20
人件費　（人工×8,000千円）	17,600	17,600
総事業費：人件費含む　（千円）	19,762	19,679
活動指標名	受診者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	689 単位 人	700 単位 人
単位当たりコスト　（円）	28,682	28,113

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
(9)母子保健事業の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	育児教室・相談事業（育児支援・発達支援）

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的
【訪問支援】新生児、産婦、乳幼児の家庭訪問を通して個別の状況把握をし、きめ細かい指導を実施する。 【育児教室】乳児の保護者を対象に、講義・実習・交流により、知識の普及や保護者同士の交流のきっかけづくりをする。 【発達相談】心理発達相談員による発達相談及び児への関わり方の相談、助言の場とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	母子保健法
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要
【訪問支援】 乳児（新生児・未熟児）・産婦訪問指導を実施（こども未来課の「こんにちは赤ちゃん事業」と連携）。 その他、健診を受診しない児や経過観察が必要な児も訪問等により指導する。 【育児教室】 教室形式での育児支援として、ひよこクラス（育児教室）を4クール開催（1クール3回）。 【発達相談】 年22回、各保健センターで発達相談を実施。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
30年度実績 【訪問支援】 訪問延件数　295件 【育児教室（ひよこクラス）】 3回/1教室×4教室　実施 参加実人数　47組　参加延人数　保護者　110人 【発達相談】 18回実施　実人数25人　延30人実施

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	36
一般財源	632
R2予算額	668
R元当初予算額	777
R元現計予算額	777
増減額	▲ 109

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	448	777
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	4,448	4,777
活動指標名	育児教室参加者	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	110 単位 人	110 単位 人
単位当たりコスト　（円）	40,436	43,427

特定財源の状況
雑入（育児教室託児自己負担金） 36千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9)母子保健事業の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	産婦人科一時救急体制整備負担金

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	平成19年8月に起きた妊婦搬送事案を受け、産婦人科の一次救急体制の整備が最も重要な課題であるとされ、体制確保のために必要な経費を県と市町村で負担する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	周産期医療対策事業実施要綱（奈良県）
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要	奈良県を実施主体とし、妊婦の救急時の受け入れを確保する。病院群輪番制及び在宅当番医制による毎休日・夜間の救急体制を確保する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成20年2月から病院群輪番体制及び在宅当番医制により毎休日・夜間に救急体制を確保することができる。 平成28年度　4人 平成29年度　5人 平成30年度　4人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	617
R2予算額	617
R元 当初予算額	578
R元 現計予算額	578
増減額	39

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	561	578
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,361	1,378
活動指標名	受診患者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	4 単位 人	5 単位 人
単位当たりコスト　（円）	340,250	275,600

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (2) 産婦人科一次救急体制整備負担金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小児深夜診療負担金（橿原市休日夜間応急診療所）

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

平成9年度より県の事業として小児2次救急輪番体制を開始したが、1次救急を充分に整備しないままであったことから、1次救急患者が2次救急輪番病院に殺到し、診療に支障をきたした。
これを解消すべく、1次救急を行う休日夜間応急診療所の空白時間をなくす体制を維持する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	橿原市休日夜間応急診療所における小児深夜診療経費に係る負担金に関する協定書
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要

奈良県を実施主体とし、小児の救急時の受け入れを確保する。奈良県の中南和30市町村により、橿原市休日夜間応急診療所の運営費を負担する。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

橿原休日夜間応急診療所において、小児の休日・夜間の受診体制を確保することができる。
[宇陀市小児受診者数]
H26年度　34人
H27年度　25人
H28年度　29人
H29年度　36人
H30年度　27人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,150
R2予算額	1,150
R元当初予算額	1,886
R元現計予算額	1,886
増減額	▲ 736

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,197	1,886
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,997	2,686
活動指標名	受診患者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	27 単位 人	30 単位 人
単位当たりコスト　（円）	73,963	89,533

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
(3) 小児深夜診療負担金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子育て世代包括支援事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備を図るとともに、保健師等の専門職が妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを作成することにより妊産婦等の切れ目ない支援を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	母子保健法、子ども・子育て支援法
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要	悩みを抱える妊産婦を早期に発見し、相談支援しながら、児童虐待の予防・早期発見に努める。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	30年度より開始 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援することで、育児不安やストレスが軽減され、乳幼児の健やかな成長発達や虐待予防につながる。 また、ハイリスク妊婦を妊娠届出時等早期に把握し、妊娠期から関わることで、出産・退院後の早期支援と継続した関わりができる。 妊婦電話相談実施率　97.6% 産婦電話相談実施率　97.6%

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,019
県　費	1,019
市　債	
その他	
一般財源	1,020
R2予算額	3,058
R元当初予算額	1,516
R元現計予算額	1,516
増減額	1,542

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,220	1,516
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	2,820	3,116
活動指標名	相談件数（妊婦・産婦）	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	250 単位	250 単位
単位当たりコスト　（円）	11,280	12,464

特定財源の状況
子ども・子育て支援交付金 （国）　1,019千円 （県）　1,019千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 3.結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9)母子保健事業の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	産前・産後サポート事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	最も育児不安に陥りやすく虐待死亡の割合が高い0歳児を持つ産婦に対して、離乳食相談や乳房管理を含めた身体的・精神的な相談支援を専門職（管理栄養士・助産師等）が実施することで、安心して子育てができる支援体制づくりをする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	4	本庁母子健康づくり費

根拠条例等	母子保健医療対策総合支援事業（要綱）
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要	令和元年度より開始 【授乳相談】 ・母乳育児などで悩みを抱えた産婦に対し、定期的に助産師等による専門的な相談日を設ける。 【離乳食相談】 ・概ね6か月から1歳までの児をもち、離乳食に悩みを持つ産婦(養育者)に対し定期的に管理栄養士等による専門的な相談日を設ける。
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	0歳児を持つ産婦（養育者）に対して、専門的な相談支援を行う事で育児不安の軽減を図る。また、継続支援が必要なケースを早期に発見し、支援につなげることにより、産婦（養育者）がより安心して子育てができ、虐待予防につなげることができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	87
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	89
R2予算額	176
R元当初予算額	419
R元現計予算額	419
増減額	▲ 243

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		419
従事職員数【人工】		0.20
人件費　（人工×8,000千円）		1,600
総事業費：人件費含む　（千円）		2,019
活動指標名	相談者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位	24　単位　人
単位当たりコスト　（円）		84,125

特定財源の状況
妊娠・出産包括支援事業補助金 87千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 3.結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実 (9)母子保健事業の充実

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	健康ポイント関連事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的
【健康ポイント事業】健康づくりに関する事業に参加することで健康ポイントをため、健康グッズなどの記念品がもらえる。 【ウェルネスウォーク】月替わりウェルネス事業の一つとして実施。また、地域でのウォーキングを実施し交流を深め、歩く機会を増やす。 【Smart Wellness City 首長研究会への参加】

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要
事業参加することをすすめ、ウェルネスシティ宇陀市構想を推進する。 報償費（健康記念品等）822千円 旅費　132千円 需用費（チラシ印刷等）161千円 役務費　51千円 負担金　SWC参加費　19千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
自分自身の健康づくり活動に対しての努力とその成果を健康ポイントとして貯め、抽選によって景品があたるというインセンティブ効果を狙って健康づくりに対する関心を高める。

健康ポイント	28年度	29年度	30年度
応募実人数	478人	504人	544人
応募件数	1281件	1621件	1738件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,185
R2予算額	1,185
R元当初予算額	1,052
R元現計予算額	1,052
増減額	133

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,365	1,052
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	2,965	2,652
活動指標名	ポイントカード応募数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績(見込)	1,738 単位 枚	1,800 単位 枚
単位当たりコスト　（円）	1,706	1,473

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (1)“ウェルネスシティ”推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネス運動事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	健康づくりのための運動（有酸素・ストレッチ・筋トレ等）をバランスよく含んだ内容にプラスして、脳を活性化するシナプソロジー（二つのことを同時に行うこと）を含んだ脳と身体の運動を行うことで、健康寿命の延伸につなげる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要	脳と身体のいきいき運動教室 報償費（講師謝礼）　504千円 需用費（活動量計等）　39千円 役務費（通信費等）　44千円 使用料及び賃借料（機器・システム使用料）　78千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	高齢者と言われる65歳以前から運動習慣をもつことや脳を活性化することが健康寿命の延伸につながる。認知症、転倒、骨折など要介護状態になる原因を予防する教室として開催する。 平成30年度　登録者数　50人 実施回数　39回

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	960
一般財源	▲ 295
R2予算額	665
R元当初予算額	971
R元現計予算額	971
増減額	▲ 306

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	794	971
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	3,194	3,371
活動指標名	事業参加者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	35 単位 人	40 単位 人
単位当たりコスト　（円）	91,257	84,275

特定財源の状況
雑入（運動教室受講料）960千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現 (1)“ウェルネスシティ”推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネスシニア健康学校事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

「教養でつくる健康長寿」という考え方で、高齢者対策を福祉の視点ではなくまちづくり、文化の視点へ転換する。高齢者に学習の機会、運動の機会を提供し、学ぶことの喜びから生きがいづくり、ともに学ぶことから仲間づくりにつなげる。
シニア健康学校卒業生が、学んだことを地域サロンのなかで生かすリーダー的役割を担うことを目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要

高齢者層を対象に、社会福祉協議会に委託して、月2回程度、シニア健康学校を開設する。

委託料　　614千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

・地域の活性化
・健康長寿・介護予防と認知症予防
・地域サロンの活性（シニア健康学校卒業者が地域のリーダー）
・運動会等を一緒に行う事で児童と高齢者の世代間交流を図る
・高齢者の教養向上
・人間関係づくり（多くの人と知り合える）
・ボランティア・NPOの活性化
・老人会の活性化
・社会福祉協議会の役割の明確化

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	614
R2予算額	614
R元 当初予算額	776
R元 現計予算額	776
増減額	▲ 162

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	658	776
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,458	1,576
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	46 単位 人	46 単位 人
単位当たりコスト　（円）	31,696	34,261

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
(1)“ウェルネスシティ”推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	おはようラジオ体操事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

ラジオ体操は子どもから高齢者まで、ほとんどの人が知っていて、音楽があれば指導者がいなくてもいつでもどこで実施できる。
誘い合ってすることで運動の継続になり、コミュニケーションやお互いの安全の確認ができ、健康効果と地域のつながりを強める。
自治会・まちづくり協議会を中心に、ラジオ体操の効果を啓発する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	101	本庁健康づくり費（ウェルネスシティ推進事業）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　１－１－１　健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要

地域でのラジオ体操普及を目的に、ラジオ体操を継続的に実施する自治会、まちづくり協議会に補助金10,000円を交付する。のぼり、正しいラジオ体操の本（ＤＶＤ）、出席カードなどを配布する。
需用費　　20千円
役務費　　9千円
負担金、補助金
ラジオ体操事業補助金　　450千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

【ラジオ体操の効果】
・身体活動を高める。
・朝早くから起きることで生活リズムが整えられ、活動的になる。
・同じ場所、同じ体操をすることでソーシャルキャピタルが高まる。
・地域の人達と顔を合わせることで見守りにつながる。

ラジオ体操	28年度	29年度	30年度
実施場所数	37	36	40
参加実人数	584人	678人	753人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	479
R2予算額	479
R元当初予算額	508
R元現計予算額	508
増減額	▲ 29

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	422	508
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	2,022	2,108
活動指標名	実施箇所数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	40 単位 箇所	41 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	50,550	51,415

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
(1)“ウェルネスシティ”推進事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈4-1-4-102〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	いきいき百歳体操補助金

所管課	医療介護あんしんセンター（健康福祉部）

事業の目的
地域包括ケアシステムの構築を推進するため、要介護認定の35%を占める不活発病といわれる筋骨格系の病状の悪化を防ぐため、地域で高齢者が主体となって集い、筋力・バランス・柔軟性・持久力の向上を図るいきいき百歳体操を行うことで、閉じこもり予防と更なる健康状態の改善・見守りなどコミュニティの形成につなぐことを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	102	本庁健康づくり費（いきいき百歳体操事業）

根拠条例等	介護保険法
総合計画	基本計画 １－１－１ 健康づくり活動の支援

R2年度事業の概要
地域の集会所等で、地域住民が主体となって5人以上の高齢者等が週1回以上集まって、体操DVDを見ながら約40分間椅子に座り筋力・バランス・柔軟性・持久力の向上を中心とした運動を行う。 その際に使用する、DVDプレーヤー・テレビ・椅子・運動用の錘等会場設営に係る費用など、住民主体で運動を始める応援として初回のみ補助金を支出する。説明会及び測定開始時には医療介護あんしんセンターから指導を行う。 1カ所30,000円×20カ所＝600,000円（1箇所1回限り）

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
高齢者が、自主的に地域で集い、筋力アップを中心とした運動を行うことで高齢者個々の介護予防を図り健康寿命の延伸、閉じこもりの防止、互いの見守りを行うとともに、コミュニティの形成に繋げる。また介護保険や医療保険の支出の抑制に繋いでいく。 【実施箇所】 平成28年度 18箇所 平成29年度 31箇所 平成30年度 50箇所 令和元年度 64箇所見込

財源の内訳 （単位：千円）	
分担金	
使用料	
国 費	
県 費	
市 債	
その他	
一般財源	600
R2予算額	600
R元 当初予算額	900
R元 現計予算額	900
増減額	▲ 300

事 業 の コ ス ト	平成30年度(実績)	令和元年度 （見込）
決算額又は決算見込額 （千円）	484	900
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費 （人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む （千円）	8,484	8,900
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績(見込)	782 単位 人	1,000 単位 人
単位当たりコスト （円）	10,849	8,900

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1.健幸なまち 1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”の実現」 (1)“ウェルネスシティ”推進事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不妊治療費助成事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する為の施策として、不妊に悩む夫婦の負担の軽減を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	103	本庁健康づくり費（不妊・不育治療費助成事業）

根拠条例等	宇陀市一般不妊治療・不育症治療費助成金交付要綱
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要	一般不妊治療に要する経費について、1年間で5万円を上限として助成する。 50,000円×12組＝600,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進に繋げる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	600
R2予算額	600
R元当初予算額	800
R元現計予算額	800
増減額	▲ 200

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	450	800
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,250	1,600
活動指標名	助成金受給者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	9 単位 人	16 単位 人
単位当たりコスト　（円）	138,889	100,000

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (6)不妊治療費助成事業

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈4-1-4-103〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不育症治療費助成事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する為の施策として、不育症に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	103	本庁健康づくり費（不妊・不育治療費助成事業）

根拠条例等	宇陀市一般不妊治療・不育症治療費助成金交付要綱
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要	不育症治療に要する経費について、1年間で10万円を上限として助成する。 100,000円×2組＝200,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	不育症に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進につなげる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	100
R2予算額	100
R元当初予算額	200
R元現計予算額	200
増減額	▲ 100

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		200
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	800	1,000
活動指標名	助成金受給者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	単位	1 単位 人
単位当たりコスト　（円）		1,000,000

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 1. 健幸なまち 4. 地域医療体制の充実 (7)不育症治療費助成事業

年度　会計　　区分
〈2020〉　〈1〉　〈4-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域医療体制推進における寄附講座負担金

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

宇陀地区をはじめ東部中山間地域の開業医の高齢化及び減少が進み、宇陀地域の医療資源が乏しくなっている。宇陀市では、宇陀地域の一次医療を補完すること、また、地域包括ケアシステムの推進のため、在宅医療、介護の連携には内科系の医師が必要不可欠である。これらを踏まえ、宇陀市と奈良県立医科大学との間で、寄附講座の開設により医師の派遣を受け、宇陀地区の地域医療体制を推進する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	6	病院費
事業	1	病院費

根拠条例等	地方公営企業法第１７条の２
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要

（負担金）
派遣医師の人件費相当分
20,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀地域に今後必要となる医療提供体制の構築を支援するための研究及び、診療に従事する若手医師や研修医の教育等を目的に寄附講座を設置する。
【取組の効果】
①東和医療圏における救急患者の円滑な受け入れ
②急変時の患者受け入れ等、高齢化が進む開業医や診療所に従事する医師に対する支援
③在宅医療や軽症の救急患者の対応等、地域医療を経験する場を若い医師や研修医に提供
④診療所や介護施設との連携による地域包括システム構築を支援

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	20,000
その他	
一般財源	
R2予算額	20,000
R元 当初予算額	15,000
R元 現計予算額	18,000
増減額	5,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		18,000
従事職員数【人工】		0.30
人件費　（人工×8,000千円）		2,400
総事業費：人件費含む　（千円）		20,400
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

過疎対策事業債　20,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
(1)地域医療体制推進における寄附講座事業

年度　会計　　区分
〈2020〉　〈1〉　〈4-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	在宅医療体制構築及び在宅医療推進に係る負担金

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

宇陀地区では開業医の高齢化や減少が進み、医療資源が乏しくなっている。宇陀地域の一次医療を補完し、地域包括ケアシステムを推進するためには、在宅医療・介護の連携が必要である。特に在宅医療は、市立病院を拠点とした在宅医療体制の構築と地域開業医を支援する体制の構築が必要であることから、奈良県立医科大学の協力・連携のもと在宅医療体制の構築及び在宅医療の推進を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	6	病院費
事業	1	病院費

根拠条例等	地方公営企業法第１７条の２
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要

負担額
在宅医療研究のための費用　3,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀地域に必要な在宅医療体制の構築や研究のため、奈良県立医科大学と協力・連携し、地域医療に寄与する。

【取組の効果】
①奈良医大総合診療科の市立病院を拠点とした在宅医療実施による地域医療に対する貢献
②奈良医大での研究による宇陀地域の在宅医療資質向上へ寄与
③市内開業医・訪問看護ステーション等との連携による地域包括システム構築への支援

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	3,000
その他	
一般財源	
R2予算額	3,000
R元 当初予算額	
R元 現計予算額	
増減額	3,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

過疎対策事業債　3,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
4. 地域医療体制の充実
(10) 在宅医療体制構築及び在宅医療推進に係る負担金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-7-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生ごみ処理機等購入助成事業

所管課	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的
環境衛生事業について、循環型社会の構築として、一般家庭の生ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」・「コンポスト」の普及を促進していく。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	環境衛生費
事業	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　５－２－１　ごみの適正処理の推進

R2年度事業の概要
家庭用生ごみ処理機　103千円 〔内訳〕 コンポスト　3件　9千円 EMボカシ　2件　4千円 生ごみ処理機　3件　90千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。 成果として、生ごみの減量化及び資源化が図れる。平成19年度から平成30年度までに207件が設置されている。 平成19年度・・・25件　平成20年度・・・40件 平成21年度・・・35件　平成22年度・・・16件 平成23年度・・・14件　平成24年度・・・18件 平成25年度・・・15件　平成26年度・・・13件 平成27年度・・・13件　平成28年度・・・10件 平成29年度・・・ 3件　平成30年度・・・ 5件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	103
R2予算額	103
R元当初予算額	86
R元現計予算額	86
増減額	17

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	72	86
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	1,672	1,686
活動指標名	助成件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	5 単位 件	7 単位 件
単位当たりコスト　（円）	334,400	240,857

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 2. 生活環境の整備・充実 （1）循環型環境社会の推進

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集団資源回収助成事業

所管課	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収助成制度を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	環境衛生費
事業	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱
総合計画	基本計画　５－２－１　ごみの適正処理の推進

R2年度事業の概要	宇陀市内の登録団体は50団体あり、集団資源回収の報告を受け、1kg当たり3円の助成金を交付している。 令和2年度は、回収量520,000kgを見込んでいる。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。 成果 平成22年度　664,385kg　助成金・・・・1,993,155円 平成23年度　611,560kg　助成金・・・・1,834,680円 平成24年度　583,090kg　助成金・・・・1,749,270円 平成25年度　583,045kg　助成金・・・・1,749,135円 平成26年度　574,320kg　助成金・・・・1,722,960円 平成27年度　574,350kg　助成金・・・・1,723,050円 平成28年度　543,180kg　助成金・・・・1,629,540円 平成29年度　533,610kg　助成金・・・・1,600,830円 平成30年度　509,675kg　助成金・・・・1,529,025円

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,560
R2予算額	1,560
R元 当初予算額	1,680
R元 現計予算額	1,680
増減額	▲ 120

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,529	1,680
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,129	3,280
活動指標名	回収量	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	509,675 単位 kg	550,000 単位 kg
単位当たりコスト　（円）	6	6

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 2. 生活環境の整備・充実 （1）循環型環境社会の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-2-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境美化活動事業

所管課	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	ごみゼロに向け、市民により周辺道路等の美化清掃活動の支援を行い清掃ボランティア団体の育成や地域住民の清掃活動を支援し、環境に配慮したまちづくりを行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	清掃総務費
事業	1	清掃総務費

根拠条例等	宇陀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例
総合計画	基本計画　５－１－１　自然環境の保全・活用

R2年度事業の概要	前年度に引き続き各自治会等の参加のもと、地域住民の清掃活動を支援していく。 毎年、6月を強調月間とし、各地域で清掃活動に取り組んでいる。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市民自らが河川や森林などの自然環境を守る意識の高揚を図ると共に不法投棄の防止に努め、自然環境保全に関するマナーや意識の向上を目標とする。 成果 平成21年度より毎年環境美化月間（6月）に併せて、市内統一美化活動としてごみゼロ事業を行っている。活動を通じて環境美化や環境問題に対する意識の高揚を図る。事業の実施に伴い、市民の自主的発案で地域協議会等による美化活動も行われている。 令和元年度では参加団体195・参加人数9,088人・ごみ収集量は可燃及び不燃性ごみ量4,050kgであった。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	870
R2予算額	870
R元 当初予算額	934
R元 現計予算額	934
増減額	▲ 64

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	718	934
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	3,918	4,134
活動指標名	参加人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	9,720 単位 人	9,088 単位 人
単位当たりコスト　（円）	403	455

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 1. 豊かな自然環境の保全・活用 （4）環境美化活動事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-2-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業

所管課	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適な生活環境と水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	合併処理浄化槽整備事業費
事業	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費

根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　５－２－２　生活衛生環境の向上

R2年度事業の概要	下水道処理区域の見直し等により、合併処理浄化槽整備区域が拡大し整備を進めている。 5人槽・・・ 5基　332,000円× 5基= 1,660,000円 7人槽・・・15基　414,000円×15基= 6,210,000円 10人槽・・・1基　548,000円× 1基= 548,000円 7人槽・・・ 1基（市単）　414,000円× 1基= 414,000円 小附一区地区追加 7人槽・2基　414,000円×2基+586,000円×2基=2,000,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成27年度からの5ヵ年計画により整備率を43%を目標とする。 平成30年度の設置数は20基で、整備率は38%になる。 又、令和2年度の設置数については、5人槽が5基、7人槽が18基、10人槽が1基合計24基を予定する。 平成30年度実績 5人槽・・・ 7基　補助金額・・・2,324千円 7人槽・・・12基　補助金額・・・4,968千円 10人槽・・・ 1基　補助金額・・・ 548千円

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	3,081
県　費	3,081
市　債	
その他	
一般財源	4,670
R2予算額	10,832
R元当初予算額	12,622
R元現計予算額	12,622
増減額	▲ 1,790

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,840	12,622
従事職員数【人工】	0.60	0.60
人件費　（人工×8,000千円）	4,800	4,800
総事業費：人件費含む　（千円）	12,640	17,422
活動指標名	設置基数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	20 単位 基	22 単位 基
単位当たりコスト　（円）	632,000	791,909

特定財源の状況
循環型社会形成推進交付金 3,081千円 合併処理浄化槽設置事業費 補助金　3,081千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 2. 生活環境の整備・充実 （2）合併処理浄化槽の整備推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	遊休農地・非農地判断事業

所管課	農業委員会	（農林商工部農林課内）

事業の目的	遊休農地の発生防止・解消に向けて、遊休農地の現況把握に努めるとともに、再生困難な耕作放棄地については、農地に該当しない旨の非農地化に取り組む。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	1	農業委員会費
事業	1	農業委員会費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要	遊休農地の発生防止・解消に向けて、遊休農地の現況把握に努めるとともに、再生困難な耕作放棄地については、農地に該当しない旨の非農地化に取り組む。 役務費（通信運搬費）　184千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	毎年継続的に管内の遊休農地面積の実態把握に努めるとともに、担い手へ利用集積を図り、遊休農地の発生防止・解消を進める。 再生困難と見込まれる放棄地については、継続して非農地判断を行い、地目変更に繋げる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	184
R2予算額	184
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	184

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 3. 基幹産業である農林業の再生・活性化 その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林産物品評会

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

生産性及び品質の向上を目的に農産物を品評することにより、農林産物生産者の営農意欲の増進を図る。
また、幅広く消費者に宇陀の農林産物を販売するとともに、新鮮・安心・安全性の啓発を推進し、地域農林業の発展を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領
総合計画	基本計画　３－３－３　付加価値の高い農産物づくりの推進

R2年度事業の概要

生産者より、品評会に出品された宇陀市内の農林産物の審査を行い、優秀な農林産物の生産者に対し表彰を行った後、即売会を実施する。

（単位:千円）

項　目	金　額	摘　要
報　償　費	141	参加賞、副賞等
需　用　費	10	消耗品等
役　務　費	26	郵送料
合　計	177	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

目標
農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の営農意欲と生産性及び品質の向上を図り、また消費者に対して宇陀市産農林産物のPRを行う。

成果
令和元年度は、11月30日・12月1日に宇陀市総合体育館（うだ産フェスタ会場）で開催し、市内農林家が生産した農林産物の啓発（新鮮・安全・安心）を図った。
出品数　　野菜・果実等 208品
即売会収益　51,600円（善意銀行へ預託）

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	177
R2予算額	177
R元 当初予算額	210
R元 現計予算額	210
増減額	▲ 33

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	232	210
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,032	1,010
活動指標名	出品数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績(見込)	236 単位 品	220 単位 品
単位当たりコスト　（円）	4,373	4,591

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
（4）農林産物品評会の開催

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業用暗渠排水設置事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
農地の適正な機能を発揮させ、農作物の安定した生産を推進するため、土壌水分の管理性向上と暗渠排水施設を設置する費用の一部を補助する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市暗渠排水設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

■事業概要
【事業補助金】
1m当たり300円以内
【事業予定延長】
1,000m×300円＝300,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
土壌水分等による条件不利農地の整備により、農業機械の導入などによる作業の効率化を図るとともに、生産性の向上と耕作放棄地の減少を防ぐ。

成果

年度	件数	距離
平成26年度	2件	126 m
平成27年度	4件	358 m
平成28年度	0件	0 m
平成29年度	1件	67 m
平成30年度	0件	0 m

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	300
一般財源	
R2予算額	300
R元 当初予算額	450
R元 現計予算額	450
増減額	▲ 150

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	0	450
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	800	1,250
活動指標名	整備延長	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	単位	1,500 単位 m
単位当たりコスト　（円）		833

特定財源の状況

農業支援基金繰入金　300千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
（1）宇陀市農業支援基金事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業用雨除けハウス設置事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市の特産品であるホウレンソウなどの生産において、需要の高い夏季に降雨による生産障害を防ぎ、また周年栽培による生産を促進するため、雨除けハウス設置に係る経費の一部を補助する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市暗渠排水設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

■事業概要
【事業補助金】
1㎡当たり500円以内
【事業予定量】
1,700㎡×500円＝850,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
冷涼な夏季の気象条件に適した、高品質のホウレンソウなどの軟弱野菜が周年栽培化され、安定した農業経営が図れる。

成果

年　度	件　数	面　積
平成26年度	2件	1,872 ㎡
平成27年度	4件	588 ㎡
平成28年度	0件	0 ㎡
平成29年度	1件	480 ㎡
平成30年度	1件	864 ㎡

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	850
一般財源	
R2予算額	850
R元 当初予算額	1,000
R元 現計予算額	1,000
増減額	▲ 150

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	432	1,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,232	1,800
活動指標名	設置面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	864 単位 ㎡	2,000 単位 ㎡
単位当たりコスト　（円）	1,426	900

特定財源の状況

農業支援基金繰入金 850千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
（1）宇陀市農業支援基金事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借り上げ事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
農地及び作業道や用水路等、農業用施設の機能を適正に発揮し、農業経営の安定向上を図るため、小規模の災害復旧作業や維持補修に必要な重機等の借上げに係る費用を助成することにより、経費負担を軽減し早期の機能回復に寄与する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要
小規模な自然災害や維持補修などの復旧に要する重機等のリースに係る経費の一部を補助する。 ・農業用施設 重機借り上げ最大2日間40,000円以内 （借り上げ料80,000円×50%）×25件＝1,000,000円 ・農地 重機借り上げ最大１日間30,000円以内 （借り上げ料60,000円×50%）×15件＝450,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

成果

年　度	件　数
平成26年度	42件
平成27年度	14件
平成28年度	34件
平成29年度	24件
平成30年度	96件

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,450
一般財源	
R2予算額	1,450
R元当初予算額	1,450
R元現計予算額	1,450
増減額	

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,795	1,450
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	4,395	3,050
活動指標名	申請件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	96 単位 件	50 単位 件
単位当たりコスト（円）	45,781	61,000

特定財源の状況
農業支援基金繰入金 1,450千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 3.基幹産業である農林業の再生・活性化 （1）宇陀市農業支援基金事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	有害鳥獣防除施設設置被害防除事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的	野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う経費の一部を補助する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要	有害鳥獣の侵入防止のための鉄杭の補助を行う。 ・鉄杭 11,250本×80円＝900,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	目標 有害獣の侵入防止を目的として設置したメッシュ柵へ、メッシュ柵下部からの侵入防止を図るため鉄杭を打ち込み、農林産物への被害を防止する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	900
一般財源	
R2予算額	900
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	900

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位　件	単位　件
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
農業支援基金繰入金 900千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 3.基幹産業である農林業の再生・活性化 （1）宇陀市農業支援基金事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除施設設置被害防除事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う経費の一部を補助する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要
有害鳥獣の侵入防止のための柵・ネット・電気柵・鉄杭などの補助を行う。 ・防護柵 7,000ｍ×300円＝2,100,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

成果

年　度	件　数	距　離
平 成 26 年 度	47件	12km
平 成 27 年 度	77件	13km
平 成 28 年 度	83件	21km
平 成 29 年 度	52件	19km
平 成 30 年 度	40件	8km

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,100
R2予算額	2,100
R元当初予算額	3,000
R元現計予算額	3,000
増減額	▲ 900

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,260	3,000
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	3,660	5,400
活動指標名	設置件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	40 単位 件	80 単位 件
単位当たりコスト　（円）	91,500	67,500

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 3. 基幹産業である農林業の再生・活性化 （3）有害鳥獣対策の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	機構集積協力金交付事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農地中間管理機構を通して、農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、担い手への農地集積や集約化を加速させることを目的に、市がその目的に参画する者に対して集積協力金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市機構集積協力金事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位:千円）

項　目	摘　要	金　額
地域集積協力金	1,000円×160a	160
経営転換協力金	1,500円×160a	240
合　計（県費100%）		400

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

農地中間管理機構という公的な機関を介することで、出し手・受け手が安心して、農地の貸し借りが出来る条件整備が行える。

そのため、農地中間管理機構に農地を貸し出す農家と、機構にまとまった農地を貸し出すことに合意した地域への支援として、「機構集積協力金」を交付することで、農地の流動化（担い手への農地集積・集約）が推進される。

成果　（単位:千円）

年　度	摘　要	集積面積	金　額
平成30年度	地域協力集積金	384a	192

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	400
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	400
R元当初予算額	400
R元現計予算額	400
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	192	400
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	992	1,200
活動指標名	集積対象者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	11 単位 件	10 単位 件
単位当たりコスト　（円）	90,182	120,000

特定財源の状況

機構集積協力金　400千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域等直接支払交付金事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

流域の上流部に位置する中山間地域の農地は、水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能により、下流域の都市住民等の生命・財産・暮らしを守っている。
しかし、中山間地域等では、平地に比べ、自然的・経済的・社会的条件が不利な地域や高齢化による担い手の減少、耕作放棄地の増加等により、多面的機能が低下し、大きな経済的損失が懸念されている。
そのため、中山間地域等において、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業の生産条件に関する不利を補正する支援を行い、多面的機能の確保を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	4	中山間地域直接支払事業費

根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

実施期間	令和2年度～令和6年度
交付対象集落	33集落
交付対象面積	20,352a

（単位：千円）

項目	金額	摘要
交付金	37,005	33集落分
事務費	93	
需用費	31	消耗品費
役務費	41	通信運搬費
使用料	21	コピー使用料
合計	37,098	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
耕作放棄地発生の防止や多面的機能を確保するため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年以上継続して農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを推進する。

成果
集落活動による健全な生産基盤の維持が図られ、農地の多面的機能が発揮される。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	27,843
市債	
その他	
一般財源	9,255
R2予算額	37,098
R元当初予算額	35,216
R元現計予算額	35,216
増減額	1,882

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	35,127	35,216
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	37,527	37,616
活動指標名	集落数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	32 単位 集落	32 単位 集落
単位当たりコスト（円）	1,172,719	1,175,500

特定財源の状況

中山間地域等直接支払交付金
27,843千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-7〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業経営体育成支援事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

昨今の日本の農業は、農業所得の激減、農業従事者の減少や高齢化の進展、農地面積の減少等を受け、厳しい状況にあり、農業生産の持続性を確保し意欲ある多様な経営体の育成や確保を図っていくことが必要である。

それぞれの経営体が直面している課題に応じた、きめ細やかな支援の実施を通じ、意欲ある多様な経営体の育成や支援を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	7	経営体育成交付金

根拠条例等	宇陀市経営体育成支援事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

補助概要:融資主体型補助

項目	摘要
経営体数	5経営体
補助率	事業費の30%以内
交付金	7,581千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

目標

新規就農者、認定農業者、集落営農等、人・農地プラン作成地区で、経営改善を目指す、中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及びハウスの整備等で、就農の定着や農業経営規模拡大により、地域の農業を活性化させる。

成果　（単位:千円）

年度	件数	交付金
平成26年度	2件	3,969
平成27年度	2件	3,236
平成28年度	3件	2,544
平成29年度	1件	600
平成30年度	0件	0

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	7,581
市債	
その他	
一般財源	
R2予算額	7,581
R元当初予算額	8,592
R元現計予算額	8,592
増減額	▲ 1,011

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	0	583
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	800	1,383
活動指標名	事業対象者	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	単位	1 単位 経営体
単位当たりコスト　（円）		1,383,000

特定財源の状況

農業経営体育成支援事業補助金
7,581千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-11〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	多面的機能支払交付金事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。

そのため、地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地や農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路や農道・ため池等、施設の長寿命化を図るための取組に対して支援を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	11	多面的機能支払交付金事業

根拠条例等	多面的機能支払交付金実施要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項目	金額	摘要
農地維持支払	11,722	継続27織・新規3組織
資源向上支払	17,378	
共同活動	7,552	継続27組織・新規3組織
施設の長寿命化	9,826	継続16組織
事務費	202	
需用費	161	消耗品費
役務費	41	通信運搬費
合計	29,302	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標

・農地維持支払及び資源向上支払（共同活動）

地域共同による草刈りや土砂上げ等、農地・水路等の基礎的な保全管理及び花植え等良好な景観形成を保つための活動により、農村環境改善が見込まれる。

・資源向上（施設の長寿命化）

農業用水路等の補修・更新など、施設の長寿命化のための活動により、農業基盤が整備される。

成果

農地維持支払及び資源向上（共同活動）活動による農地、水路等の基礎的な保全管理や農村環境の保全、及び農業用水路等の補修・更新等施設の長寿命化など、地域ぐるみによる協力体制により、良好な農村の景観形成を築くことができる。また、資源向上（施設の長寿命化）活動により、農業施設の基盤整備を行うことができる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	22,024
市　債	
その他	
一般財源	7,278
R2予算額	29,302
R元当初予算額	28,483
R元現計予算額	28,483
増減額	819

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	26,776	27,703
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	29,176	30,103
活動指標名	活動組織数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	27　単位　活動組織	27　単位　活動組織
単位当たりコスト　（円）	1,080,593	1,114,926

特定財源の状況

多面的機能支払交付金
22,024千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-25〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宮奥ダム計装設備更新事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀川の最上流に位置する宮奥ダムの適切な管理運営により、大宇陀南部西部地域の安定した農業用水及び南部地域の生活用水の確保を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	25	宮奥ダム管理費

根拠条例等	宇陀市宮奥ダム管理条例、宇陀市宮奥ダム管理条例施行規則、河川法、河川法施行令、河川法施行規則、水利使用規則
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

大宇陀南部地区、及び西部地区の安定した農業用水の確保と、大宇陀南部地区の生活用水を確保するため、平成11年4月の供用開始後19年が経過し、老朽化が著しいことから計装設備の更新を行う。

項目	金額（千円）	摘要
需用費	415	消耗品、燃料費、光熱水費
役務費	199	通信運搬費、手数料
使用料及び賃借料	200	コピー使用料
工事請負費	132,955	水管理制御設備更新工事
合計	133,769	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
各種法令に即した運営管理と、適切なメンテナンスによる施設の長寿命化や安全性を確保する。

成果
安定した農業用水及び上水の確保と、豪雨時による下流河川の減災効果が確保できる。

年度	項目	内容
平成29年度	委託料	機能診断業務委託
平成30年度	委託料	計画設計業務委託
令和元年度	委託料	実施設計業務委託
	工事請負費	水管理制御設備更新工事

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	75,385
市債	53,700
その他	14,630
一般財源	▲ 9,946
R2予算額	133,769
R元当初予算額	115,669
R元現計予算額	133,714
増減額	18,100

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	9,288	110,146
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	9,688	110,546
活動指標名	受益面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	297 単位 ha	297 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	32,620	372,209

特定財源の状況

農山漁村地域整備交付金　75,385千円
合併特例債　53,700千円
雑入　14,630千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-25〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宮奥ダム管理運営事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀川の最上流に位置する宮奥ダムの適切な管理運営により、大宇陀南部西部地域の安定した農業用水及び南部地域の生活用水の確保を行う。
また、水辺公園の維持管理を行い、市民に憩いの場を提供する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	25	宮奥ダム管理費

根拠条例等	宇陀市宮奥ダム管理条例、宇陀市宮奥ダム管理条例施行規則、河川法、河川法施行令、河川法施行規則、水利使用規則
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

大宇陀南部地域の安定した農業用水及び生活用水を確保するため、老朽化対策に取り組むと共に、良好で安全な生活空間を確保する。また、宮奥ダム水辺公園の維持管理により市民に憩いの場を提供する。

項目	金額（千円）	摘要
需用費	1,398	消耗品費、光熱水費等
役務費	539	通信運搬費、手数料等
委託料	2,818	定期点検、除草・清掃作業
公課費	8	公用車重量税
合計	4,763	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
各種法令に即した運営管理と、適切なメンテナンスによる施設の長寿命化や安全性を確保する。

成果
安定した農業用水及び上水の確保と、豪雨時による下流河川の減災効果が確保できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,763
R2予算額	4,763
R元当初予算額	6,753
R元現計予算額	6,753
増減額	▲ 1,990

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,194	6,753
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	7,594	7,153
活動指標名	受益面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	297 単位 ha	297 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	25,569	24,084

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-90〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に、積極的に貢献することが重要となっている。
そのため、環境保全の高い営農活動に取り組み、販売を目的として生産を行う農業者に対して支援を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	90	環境保全型農業直接支援対策事業

根拠条例等	宇陀市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

対象者	：	エコファーマー認定者・有機農業に取組む農業者
対象事業	：	化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組と炭素を多く含んだ堆肥による水質保全に資する施用、有機農業等
事業取組計画農地	：	A＝1,000a×2品目作付加算
交付額	：	1,333a×14,000円/10a＝1,866,200 円
事務費	：	24,000 円
事業費合計	：	1,890,200 円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
農業生産活動による、環境負荷発生リスクの軽減

成果

年度	人数	面積
平成26年度	11人	948 ha
平成27年度	11人	1,627 ha
平成28年度	12人	1,562 ha
平成29年度	12人	1,271 ha
平成30年度	11人	1,111 ha

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	1,423
市債	
その他	
一般財源	468
R2予算額	1,891
R元当初予算額	1,624
R元現計予算額	1,624
増減額	267

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	907	1,624
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費　（人工×8,000千円）	160	160
総事業費：人件費含む　（千円）	1,067	1,784
活動指標名	取組面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	1,111 単位 a	1,200 単位 a
単位当たりコスト　（円）	960	1,487

特定財源の状況

環境保全型農業直接支払交付金
1,423千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈5-1-3-91〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業次世代人材投資事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、経営が不安定な就農直後（最長5年間）の所得を確保するため給付金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	91	新規就農者確保事業

根拠条例等	宇陀市青年就農給付金事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－３　付加価値の高い農産物づくりの推進

R2年度事業の概要

要　　件	：	就農時50歳未満で独立・自営就農した者で、就農後の総所得が350万円未満の者
給 付 額	：	年間1,500,000円／1名
給付期間	：	最長5年間
概　　要	：	新規　3名　4,500,000円（国庫100%）
		継続（上期・下期）　10名　15,000,000円（国庫100%）
		継続（上期）　1名　750,000円（国庫100%）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
新規就農者が、農地の集積などにより、新たな地域の担い手農家となり得ることから、この制度を活用し、年次的に就農者の増加を目指す。

成果

年　度	就農者数
平成26年度	1人
平成27年度	1人
平成28年度	3人
平成29年度	2人
平成30年度	3人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	20,250
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	20,250
R元当初予算額	18,750
R元現計予算額	18,750
増減額	1,500

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	12,750	15,000
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	13,150	15,400
活動指標名	新規就農者・継続者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	11　単位　人	11　単位　人
単位当たりコスト　（円）	1,195,455	1,400,000

特定財源の状況

農業次世代人材投資事業補助金
20,250千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-97〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	ため池浸水マップ作成事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

東日本大震災において、ため池などの農業水利施設が被災し、人命が失われるなどの被害が発生したため、早急に施設の現状を確認し災害予防に努める必要がある。
このため、農業用水利施設である、ため池の耐震診断により、施設整備に先行して、短期間・低コストで実現可能な減災対策を実施し、施設の安全を図るとともに、地域の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	97	ため池防災対策調査計画事業

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要

（単位:千円）

委託内容	箇所数	事業費
ハザードマップ作成業務委託	2箇所	3,400

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

目標
ため池施設の現状を把握し、施設の安全を図るとともに、地域の安全を確保する。

成果

年度	委託内容	箇所数
平成28年度	浸水マップ作成業務委託	2箇所
平成29年度	浸水マップ作成業務委託	2箇所
	耐震診断業務委託	1箇所
	浸水マップ作成業務委託	1箇所
平成30年度	耐震診断業務委託	1箇所
	簡易浸水マップ作成業務委託	16箇所

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	3,400
市債	
その他	
一般財源	
R2予算額	3,400
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	3,400

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	8,640	
従事職員数【人工】	0.05	
人件費　（人工×8,000千円）	400	
総事業費：人件費含む　（千円）	9,040	
活動指標名	点検箇所数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	17 単位 箇所	単位
単位当たりコスト　（円）	531,765	

特定財源の状況

ため池震災対策調査計画事業
補助金　3,400千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
（19）ため池浸水マップ作成事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-98〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水田活用経営所得安定対策交付金事業（振興作物助成）

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
水田の生産調整の推進と併せ、大豆・小豆の土地利用型作物の生産奨励を行い、大豆・小豆の産地化やブランド化を推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	98	経営所得安定対策直接支払推進事業

根拠条例等	宇陀市水田活用振興作物助成交付金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要
水田活用経営所得安定対策交付金 対象作物　：　大豆・小豆 10a当たり5,000円の奨励 事業費　：　1,400a×5,000円/10a＝700,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

実績

年　度	生産面積
平 成 26 年 度	1316 ha
平 成 27 年 度	1,136 ha
平 成 28 年 度	1,402 ha
平 成 29 年 度	1,228 ha
平 成 30 年 度	973 ha

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	700
R2予算額	700
R元当初予算額	800
R元現計予算額	800
増減額	▲ 100

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	487	800
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,287	1,600
活動指標名	生産面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	973 単位 a	1,600 単位 a
単位当たりコスト　（円）	1,323	1,000

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 3. 基幹産業である農林業の再生・活性化 （2）水田活用経営所得安定対策交付金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-3-98〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

経営所得安定対策において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務を行う。
また、集落営農の法人化に必要な事務費助成や、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業	98	経営所得安定対策直接支払推進事業

根拠条例等	奈良県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

経営所得安定対策の実施に必要となる推進活動や、要件確認等を行う。

（単位:千円）

項　目	金　額	摘　要
人　件　費	1,736	会計年度任用職員人件費
報　償　費	681	現地確認手当
需　用　費	400	消耗品費、燃料費等
役　務　費	50	郵送料
使　用　料	120	コピー・会場使用料郵送料
合　計	2,987	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
経営所得安定対策の推進活動を行い、制度加入者への申請書類等の配布・回収や申請手続きの支援を行い、近畿農政局奈良支局等へ情報を提供する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	2,641
市　債	
その他	
一般財源	346
R2予算額	2,987
R元当初予算額	2,816
R元現計予算額	2,816
増減額	171

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,515	2,816
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	4,115	4,416
活動指標名	現地確認者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	152 単位 人	135 単位 人
単位当たりコスト　（円）	27,072	32,711

特定財源の状況

経営所得安定対策直接支払推進事業補助金　2,641千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-5-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地籍調査事業

所管課	地籍調査課	（建設部）

事業の目的	宇陀市の民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資すると共に、併せて地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	5	地籍調査費
事業	1	本庁地籍調査費

根拠条例等	国土調査法第６条の４（事業計画の実施等）
総合計画	基本計画　２－２－１　土地利用の推進

R2年度事業の概要	令和2年度地籍調査事業概要 ・榛原萩原の一部（富士見ヶ丘） 【面積0.36ｋ㎡732筆】 現地一筆地調査・一筆地測量 ・大宇陀岩清水3期 【面積0.50ｋ㎡891筆】 一筆地調査閲覧・地籍図原図作成・地籍簿案作成
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手、現在調査72地区54.98ｋ㎡進捗率は約24%調査完了地区はこの事業により、土地保全がなされ、下記の効果が得られる。 ①土地境界をめぐるトラブルに未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物の管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	20,040
市　債	
その他	
一般財源	8,416
R2予算額	28,456
R元当初予算額	7,820
R元現計予算額	11,820
増減額	20,636

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	22,100	11,820
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	34,100	23,820
活動指標名	実施面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	0.67 単位 ｋ㎡	0.87 単位 ｋ㎡
単位当たりコスト　（円）	50,895,522	27,379,310

特定財源の状況
地籍調査費事業費負担金 20,040千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化 (1)地籍調査の推進

年度　会計　　区分
〈2020〉　〈1〉　〈5-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	農業用施設機能診断事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、宮奥ダムより大宇陀西部地区へ農業用水を送水するパイプラインの機能診断を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
事業	1	農業土木費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要
大宇陀西部地域の安定した農業用水を確保するため、平成12年度に事業が完了したパイプラインの機能診断を行う。 パイプラインの概要 用水管の種類　ダクタイル鋳鉄管 管　　径　450㎜～300㎜ 延　　長　L=6,850m

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
目標 各種法令に即した運営管理と、適切なメンテナンスによる施設の長寿命化や安全性を確保する。 成果 安定した農業用水が確保できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	10,000
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	10,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	10,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
農業用施設機能診断事業補助金 10,000千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 3.基幹産業である農林業の再生・活性化 その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業用施設維持管理・修繕事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農業用施設の自然災害による小規模な被災や、老朽化による機能不全など、早急な復旧を必要とすることから補修用の材料を支給し、農業生産の安定と農業用施設の長寿命化を図る。
また、地域生活に密着した公共性の高い農道やため池など農業用施設の運営管理と、適切なメンテナンスによる施設の長寿命化や安全性を確保する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
事業	1	農業土木費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項　目	内　容	金　額
手　数　料	応急工事手数料	700
工事請負費	農業用施設維持補修工事	300
補修用材料費	生コンクリート・クラッシャラン等	3,000
合　計		4,000

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
農業施設災害復旧事業の、採択要件を満たさない小規模災害や、老朽施設の補修等、自力復旧に対する原材料の支給により、施設機能の維持と耕作放棄地の防止を図る。

成果

年　度	申請件数
平成26年度	38件
平成27年度	48件
平成28年度	53件
平成29年度	37件
平成30年度	64件

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,000
R2予算額	4,000
R元当初予算額	4,000
R元現計予算額	4,000
増減額	

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	6,455	4,000
従事職員数【人工】	0.25	0.25
人件費　（人工×8,000千円）	2,000	2,000
総事業費：人件費含む　（千円）	8,455	6,000
活動指標名	申請件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	64 単位 件	50 単位 件
単位当たりコスト　（円）	132,109	120,000

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈5-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林道台帳整備委託事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農道及び林道台帳を整備し、建設課所有の市道路台帳管理システム「PASCAL」及び道路台帳と同様のデータベースを図ることにより、農道及び林道の適正な維持管理を行うとともに安全性、利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
事業	1	農業土木費

根拠条例等	道路法第２８条
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

農道及び林道土地等調査事業　3,500,000円
・保有資料の整理・概略基本図作成
・法務局調査（公図・地積測量図転写・連続図作成・登記調査等）
・現況素図作成（保有図重ね図・建設課道路現況図・税務課（参考）地番図・法務局調査結果割込図等）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
農道及び林道を建設課所有の市道路台帳管理システムと同じ基本データにする事で、適正な維持管理を行うことができるとともに、安全性、利便性の向上を図る。

成果

年　度	路線数
平成26年度	2路線
平成27年度	3路線
平成28年度	6路線
平成29年度	6路線
平成30年度	1路線

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,500
R2予算額	3,500
R元当初予算額	4,500
R元現計予算額	4,500
増減額	▲ 1,000

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,860	4,500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	5,660	5,300
活動指標名	調査路線数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1 単位 路線	2 単位 路線
単位当たりコスト　（円）	5,660,000	2,650,000

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道大野向渕線整備事業負担金

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道や、基幹農道以外の基幹となる農道を県営事業で実施する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
事業	1	農業土木費

根拠条例等	土地改良法第９１条第６項
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項　目	金　額
工事請負費	110,000
工事雑費	2,700
事務費	5,600
合計	118,300
市負担金　15%	17,745

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

農業経営の合理化、農業生産力の向上や、生活環境の利便性の向上を推進する。
また、中山間地域における農林業の生産力向上や利便性の向上を図り、地域住民生活の安定を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	17,700
その他	
一般財源	45
R2予算額	17,745
R元当初予算額	21,780
R元現計予算額	21,780
増減額	▲ 4,035

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	16,711	21,780
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費　（人工×8,000千円）	160	160
総事業費：人件費含む　（千円）	16,871	21,940
活動指標名	受益面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	203 単位 ha	203 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	83,108	108,079

特定財源の状況

過疎対策事業債　17,700千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-6-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	畑地帯総合整備事業（農業水路等長寿命化事業負担金）

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、国営総合農地開発事業地区における水利施設の機能確保を県営事業で実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
事業	1	農業土木費

根拠条例等	土地改良法第９１条第６項
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項　目	金　額
測量試験費	86,000
工事雑費	2,150
事務費	2,190
合計	90,340
市負担金　10%	9,034
地元負担金　7.5%	6,776

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

農業経営の合理化、農業生産力の向上や、生活環境の利便性の向上を推進する。
また、中山間地域における農林業の生産力向上や利便性の向上を図り、地域住民生活の安定を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	8,500
その他	6,776
一般財源	534
R2予算額	15,810
R元当初予算額	3,000
R元現計予算額	3,000
増減額	12,810

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		9,739
従事職員数【人工】		0.01
人件費　（人工×8,000千円）		80
総事業費：人件費含む　（千円）		9,819
活動指標名	受益面積	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	単位	401　単位　ha
単位当たりコスト　（円）		24,486

特定財源の状況

合併特例債　8,500千円
雑入（地元負担金）6,776千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀松山会館活用事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的
大宇陀福祉会館の改修に伴い、新たな施設として「宇陀松山会館」において、宇陀松山地区の活性化と地域産業（薬草）の振興に寄与するべく、指定管理をおこなう。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	1	産業企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－１－２　歴史・文化資源の整備と充実

R2年度事業の概要
指定管理委託料　1,750千円 備品購入費　2,696千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
大宇陀松山地区の重要伝統的建造物保存地区にある「宇陀松山会館」において、薬草を活用したまちづくりの拠点として薬草の魅力を発信する。 また、地域の産業の拠点として、指定管理事業者による産業振興にも取り組んでいく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	1,700
その他	2,696
一般財源	50
R2予算額	4,446
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	4,446

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
過疎対策事業債　1,700千円 ふるさと応援基金繰入金 2,696千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用 （1）宇陀松山会館活用事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	うだ産フェスタ事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的
宇陀市における特産品や自慢の産品を一同に集め、広く市内外に推奨することにより、地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ、生産者の生産意欲の向上と地域産業の担い手づくりを図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	1	産業企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－１－３　宇陀市産物の利用促進

R2年度事業の概要
うだ産フェスタ実行委員会補助金　8,000千円 [日時]令和2年11月下旬（予定） [場所]宇陀市総合体育館　周辺 [内容] ・協賛団体の展示、農産物・特産品名産品等の販売 ・地場産品(農産物・花卉・毛皮革・特産品・名産品等)の販売 ・地元食材を使った飲食販売 ・市産業の紹介PR ・農林産物品評会　など

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
・地域産業の活性化 ・生産者の所得向上 ・地産地消を促進 ・産業の活性化 ・生産者の生産意欲の向上と地域産業の担い手づくりを図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,000
R2予算額	8,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	8,000
増減額	8,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,000	8,000
従事職員数【人工】	0.80	0.80
人件費　（人工×8,000千円）	6,400	6,400
総事業費：人件費含む　（千円）	9,400	14,400
活動指標名	集客数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	5,000 単位 人	3,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,880	4,800

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 1.地域資源の保全及び産業と連携した活用 （3）うだ産フェスタ事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀特産品・名産品PR事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的	市特産品・名産品を市内外に推奨することで、地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ、生産者の生産意欲、地域所得の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	101	産業企画費（創業・既存企業等支援事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－３　新たな産業の展開

R2年度事業の概要	市内外での特産品・名産品のPR事業 消耗品費　20千円 印刷製本費　150千円 役務費　13千円 通行料及び駐車料金等　19千円 合計　202千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市外において、市内の特産品・名産品のほか観光情報やイベント情報を広くPRすることで、市の知名度の向上を図り、地域所得の向上と産業の活性化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	202
R2予算額	202
R元当初予算額	181
R元現計予算額	181
増減額	21

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	20	181
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	820	981
活動指標名	特産品・名産品の認定商品数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	86 単位 品	90 単位 品
単位当たりコスト　（円）	9,535	10,900

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 4. 商工業の再生・活性化 （2）宇陀特産品・名産品ＰＲ事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がんばる中小企業支援補助金

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的	市内の中小企業・小規模事業者が国の補助金等を取得するためのノウハウやビジネスプランの作成支援をおこなう。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	101	産業企画費（創業・既存企業等支援事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－２　地元事業所活動の促進・支援

R2年度事業の概要	・国の補助金等取得支援　　600千円 事業計画コンサル料（200千円×3件）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	市の中小企業者に有利な条件の国の補助金取得を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	600
R2予算額	600
R元当初予算額	6,035
R元現計予算額	6,035
増減額	▲ 5,435

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	11,488	6,035
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	13,088	7,635
活動指標名	国の補助金取得、改修・投資件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	13 単位 件	5 単位 件
単位当たりコスト　（円）	1,006,769	1,527,000

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 4. 商工業の再生・活性化 （3）がんばる中小企業支援補助金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【創業・既存企業等支援ネットワーク事業】

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的
奈良県創業支援資金事業と連携し、宇陀市内での創業を支援するため、同資金の借入額に対し助成することで、市内での創業の支援を図る。 また、市創業支援計画に基づき、認定連携創業支援事業者である宇陀商工会と連携し、経営・財務等をテーマにしたセミナーを開催する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	101	産業企画費（創業・既存企業等支援事業）

根拠条例等	宇陀市創業支援補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－２－１　雇用の創出

R2年度事業の概要
奈良県が行う創業支援資金を受け、市内での創業を行う事業者に対し、同資金の借入額10%を補助する。 また、セミナー開催を宇陀商工会に委託する。 ・委託料　250千円 ・創業支援助成金　1,500千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
奈良県融資制度と連携し、市内での創業、既存企業との連携を図ることにより、市内産業の活性化、空き店舗の活用を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,750
R2予算額	1,750
R元当初予算額	1,450
R元現計予算額	1,450
増減額	300

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	507	1,450
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	2,107	3,050
活動指標名	創業支援助成件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1 単位 件	2 単位 件
単位当たりコスト　（円）	2,107,000	1,525,000

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 2. 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成 （1）アントレプレナー（起業家）育成循環事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-102〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	薬草を活用したまちづくり事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市で、日本最初の薬狩りが行われた様子の壁画が星薬科大学本館の壁画に描かれている。薬とゆかりのある宇陀を薬草のまちとして推進し、宇陀の薬草の魅力を市内外に発信する。

また、新たな産業と地域活性化を図るため、大和当帰の以外の薬草（セネガ、甘茶）の栽培の確立や薬草メニュー開発や一次加工品の薬効成分のある機能性成分を調査し、販売促進に取り組む事業者を支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	102	産業企画費（薬草活用事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－３　新たな産業の展開

R2年度事業の概要

〇宇陀市薬草協議会　4,000千円
（苗配布、大和当帰根、葉の買い取り調整、セネガ・アマチャの栽培研究、研修参加等）
〇薬草メニュー開発補助事業　400千円
〇栄養機能食品支援事業　600千円
〇薬草フェスティバル事業　472千円
〇薬草PR事業　371千円
〇星薬科大学連携事業　180千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

薬草栽培を推進し、宇陀市の新たな産業と地域活性化を図る。

薬草の6次産業化を推進し、宇陀市を薬草の産地とすることで、農業者所得の向上を図るとともに、薬草の魅力を周知（ワークショップ、講演会、栄養機能食品等）し、ウェルネスシティ宇陀を推進していく。

また、地域おこし協力隊により薬草の普及活動や活用方法の拡大を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,023
R2予算額	6,023
R元当初予算額	9,366
R元現計予算額	9,366
増減額	▲ 3,343

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	11,316	8,366
従事職員数【人工】	0.80	0.80
人件費　（人工×8,000千円）	6,400	6,400
総事業費：人件費含む　（千円）	17,716	14,766
活動指標名	栽培者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	90 単位 人	90 単位 人
単位当たりコスト　（円）	196,844	164,067

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
4. 商工業の再生・活性化
（6）薬草を活用したまちづくり事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-1-8-103〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域おこし協力隊設置事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的
総務省のプログラムの地域おこし協力隊を活用することで、市外の住民を隊員に委嘱し、本市が目指している薬草を活用したまちづくり事業を推進し、隊員による定住及び起業により市内産業の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	8	産業企画費
事業	103	産業企画費（地域おこし協力隊設置事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－３　新たな産業の展開

R2年度事業の概要
【隊員分2人】 ・人件費　5,089千円 ・報償費　200千円 ・旅費　607千円 ・需用費　606千円 ・役務費　109千円 ・使用料及び賃借料　1,102千円 ・負担金、補助金及び交付金　220千円 ・公課費　7千円 合計　7,940千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
全国から、地域おこしに興味のある隊員が職員とは違う目線や発想で地域住民と接し活動することで、市内の活性化が生まれることが期待できる。 また、隊員の起業等により、産業の活性化が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	7,940
R2予算額	7,940
R元当初予算額	7,231
R元現計予算額	7,231
増減額	709

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,184	7,231
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	8,784	8,831
活動指標名	隊員数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	2 単位 人	3 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,392,000	2,943,667

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 4. 商工業の再生・活性化 （7）地域おこし協力隊設置事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり、鳥獣害防止対策事業の実施を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	1	林業振興費

根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要
ソフト事業 ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 ニホンジカの行動範囲調査 モンキードッグ育成 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等 緊急捕獲活動 ハード事業 防除柵設置

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
平成30年度 鳥獣被害防止施設設置 ニホンザル生態調査 ニホンザル位置情報発信 不要果樹伐採、緩衝帯整備 研修会開催 令和元年度見込み ニホンザル生態調査 ニホンザル位置情報発信 ニホンジカ行動範囲調査 不要果樹伐採、緩衝帯整備 研修会開催

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,100
R2予算額	1,100
R元 当初予算額	1,100
R元 現計予算額	1,100
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,100	1,100
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	2,700	2,700
活動指標名	有害鳥獣捕獲頭数（宇陀・名張地域）	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1,270 単位 頭	1,280 単位 頭
単位当たりコスト　（円）	2,126	2,109

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 3. 基幹産業である農林業の再生・活性化 （3）有害鳥獣対策の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取り組み（地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業　例：間伐・作業道開設）を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要

森林所有者等が実施した森林整備（間伐、作業道開設）に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。

市では、市内森林組合が森林所有者の代理となって交付申請を行う。

事業概要	：	間伐123ha　作業道2,200m
総事業費	：	62,134,000円
国庫補助金	：	31,067,000円
事業主体負担金	：	31,067,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標

地球温暖化に向けた森林吸収目標の達成と、森林の多面的な機能の持続的発揮のため、間伐事業を実施する。

成果

年度	間伐面積	作業道延長
平成26年度	102.9ha	6,575m
平成27年度	130.0ha	4,488m
平成28年度	171.5ha	5,556m
平成29年度	94.8ha	3,620m
平成30年度	121.9ha	6,440m

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	31,067
県費	
市債	
その他	
一般財源	
R2予算額	31,067
R元当初予算額	32,956
R元現計予算額	32,956
増減額	▲ 1,889

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	35,325	26,656
従事職員数【人工】	0.04	0.04
人件費　（人工×8,000千円）	320	320
総事業費：人件費含む　（千円）	35,645	26,976
活動指標名	間伐面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	121.9 単位 ha	121.0 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	292,412	222,942

特定財源の状況

美しい森林づくり基盤整備
事業交付金　31,067千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	里山の広葉樹林再生事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

拡大造林政策により、里山にまで植林されたスギ・ヒノキが利用されずに荒廃し、人家周辺の里山林の整備が放置されている。
そのため、国・県補助の対象とならない、里山の人工林を整備する市民活動に補助を行い、樹種転換を推進する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市里山の広葉樹林再生事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　５－１－１　自然環境の保全・活用

R2年度事業の概要

人家から50m程度までのスギ・ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、その経費を補助する。

（単位:千円）

項　目	地区数	金額	摘　　要
新　規	2地区	1,000	1事業地500千円以内
合　　計		1,000	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

環境保全林・景観保全林・水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている公益的機能を回復させ、土砂崩壊災害やスギ・ヒノキの花粉飛散量の低減を図る。

成果

年　　度	地区数	摘　　要
平 成 26 年 度	3地区	新規3地区
平 成 27 年 度	3地区	新規2地区、継続1地区
平 成 28 年 度	3地区	新規2地区、継続1地区
平 成 29 年 度	2地区	新規1地区、継続1地区
平 成 30 年 度	0地区	

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,000
R2予算額	1,000
R元 当初予算額	1,000
R元 現計予算額	1,000
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		1,000
従事職員数【人工】		0.01
人件費　（人工×8,000千円）		80
総事業費：人件費含む　（千円）		1,080
活動指標名	新規取組地区	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位 地区	2 単位 地区
単位当たりコスト　（円）		540,000

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
5. 自然豊かなまち
1. 豊かな自然環境の保全・活用
（3） 里山の広葉樹林再生事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	林業用施設維持管理に伴う重機借り上げ事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的	林業施設の機能を適正に発揮し、林業経営の安定向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	1	林業振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要	小規模な自然災害や老朽施設の維持補修などの、復旧に要する重機等のリースに経費の一部を補助する。 重機借り上げ最大2日間40,000円以内 （借り上げ料80,000円×50%）×3件＝120,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	目標 災害復旧事業に採択されない小規模の災害復旧や老朽施設の維持補修は自力施工となることから、作業に必要な重機等の経費負担を軽減させ、早期の機能回復に寄与する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	120
R2予算額	120
R元 当初予算額	280
R元 現計予算額	280
増減額	▲ 160

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		280
従事職員数【人工】		0.01
人件費　（人工×8,000千円）		80
総事業費：人件費含む　（千円）		360
活動指標名	申請件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	単位 件	7 単位 件
単位当たりコスト　（円）		51,429

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 3.基幹産業である農林業の再生・活性化 その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林経営計画等の作成を通じた森林整備の促進を図るため、森林施業の集約化及び森林施業の推進に必要な地域活動等を行う森林所有者等に対して支援を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	4	森林整備地域活動支援事業費

根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要

森林経営計画策定のため、土地所有者と経営委託を交わした事業体に対して補助を行う。

（単位：千円）

項目	事業面積	金額
森林境界の明確化	90 ha	4,050
作業路網の簡易改良	124 ha	4,960
森林経営計画の促進	34 ha	272
事務費		90
合計		9,372

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標

森林所有者等による施業の集約化や、森林施業の実施に不可欠で、現場での森林施業の集約化を行う場合に必要となる、伐採量の把握のための森林調査、境界の確認、森林所有者との合意形成を行う。

令和元年度見込み

項目	事業面積
森林境界の明確化	40 ha
作業路網の簡易改良	110 ha
森林経営計画の促進	40 ha
森林経営計画施業集約化条件の整備	30 ha

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	6,934
市債	
その他	
一般財源	2,438
R2予算額	9,372
R元当初予算額	7,809
R元現計予算額	7,809
増減額	1,563

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	5,491	7,809
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	7,091	9,409
活動指標名	事業面積	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	88 単位 ha	110 単位 ha
単位当たりコスト（円）	80,580	85,536

特定財源の状況

森林整備地域活動活動支援事業補助金　6,934千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
（5）森林整備地域活動支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-11〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について、森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。
森林所有者の事業費負担なし（100%県費）

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	11	森林環境税施業放置林整備事業費

根拠条例等	奈良県森林環境税条例
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要

事業内容　10年以上放置された人工林を対象に40%以上の間伐
事業量　Ａ＝150ha

（単位:千円）

項目	金額
施業放置林整備事業委託料（150ha）	55,500
旅費(普通旅費)	100
需用費(消耗品、燃料費等)	952
役務費(通信運搬費)	150
使用料及び賃借料(コピー使用料)	200
合計	56,902

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

目標
森林を針広混交林に誘導することにより、施業放置林の公益的機能の維持増進を図るとともに、将来的に人での掛からない森林を育成することを目的とする。

成果

年度	間伐面積
平成26年度	126.7 ha
平成27年度	92.8 ha
平成28年度	85.1 ha
平成29年度	89.3 ha
平成30年度	79.0 ha

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	56,902
市債	
その他	
一般財源	
R2予算額	56,902
R元当初予算額	30,365
R元現計予算額	30,365
増減額	26,537

事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	28,916	30,365
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む（千円）	31,316	32,765
活動指標名	間伐実施面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	79 単位 ha	80 単位 ha
単位当たりコスト（円）	396,405	409,563

特定財源の状況

森林環境税施業放置林整備事業委託金　56,902千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-12〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境譲与税推進事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や、災害防止を図るための地方財源を安定的に確保する観点から、平成31年度税制改正において、森林環境税及び森林環境譲与税が創設されたことにより、市町村が実施する森林整備等に必要な財源を充てられることとなった。

森林環境譲与税の創設に伴い、当該譲与税を基金に積み立て、それを財源として、間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備、及びその促進を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	12	森林環境譲与税推進事業

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項目	金額
会計年度任用職員人件費	3,329
木材製品納入	7,800
森林経営管理法に基づく委託	14,045
有害鳥獣駆除個体処分委託料	270
ナラ枯れ対策補助金	595
宇陀市産木材利用促進補助金	1,500
有害鳥獣捕獲補助金	1,300
事務費	1,257
合計	30,096

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

森林環境譲与税を財源として、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	30,096
一般財源	
R2予算額	30,096
R元当初予算額	22,000
R元現計予算額	22,000
増減額	8,096

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		17,488
従事職員数【人工】		0.50
人件費　（人工×8,000千円）		4,000
総事業費：人件費含む　（千円）		21,488
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

森林環境整備促進基金繰入金
30,096千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
（6）森林環境譲与税推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-84〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	室生分収造林育成事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的
独立行政法人森林総合研究所　森林農地整備センター　奈良水源林整備事務所が実施する、分収造林事業を行う団体（室生自治会）に対し、補助金を交付する。 分収割合：森林総合研究所40%、室生自治会60%

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	84	分収造林育成事業費

根拠条例等	宇陀市分収造林事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要
独立行政法人森林総合研究所　森林農地整備センター　奈良水源林整備事務所と室生総自治会長とが協議を行い、分収造林地の造林事業（下刈りや間伐、作業道設置等）を実施する。 造林事業経費については、100%独立行政法人森林総合研究所が負担する。 分収造林地面積　A=73.07ha 令和元年度概要 事業費　10,000千円 保有間伐面積 A=7ha　トラック道新設 L=350m

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
目標 分収造林事業により、地域森林資源の整備や確保を行う。 令和元年度年度見込み 間伐等整備面積　A=15ha 作業道整備　L=214m

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	10,000
一般財源	
R2予算額	10,000
R元 当初予算額	2,000
R元 現計予算額	3,628
増減額	8,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		3,628
従事職員数【人工】		0.01
人件費　（人工×8,000千円）		80
総事業費：人件費含む　（千円）		3,708
活動指標名	造林事業面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	単位 ha	15 単位 ha
単位当たりコスト　（円）		247,200

特定財源の状況
雑入(分収造林育成事業補助金) 10,000千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 3.基幹産業である農林業の再生・活性化 その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-86〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良県産材生産促進事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

森林の保全や水源のかん養など、森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした、間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材（間伐材）の搬出及び利用促進を図るため、県が定める宇陀市内の森林組合を含む認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	86	県産材生産促進事業

根拠条例等	宇陀市県産材促進事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要

搬出コストの不採算により、未利用となっている県産材の搬出事業を行う認定事業体に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。

搬出計画量		3,100 ㎥
1㎥当たり	県費	2,000 円
	市費	1,500 円
	合計	3,500 円
事業費		10,850,000 円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標

森林の保全や水源のかん養など、森林の有する公益的機能の、持続的な発揮を目的とした、間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材の搬出、及び利用促進を図る。

成果

年度	排出量
平成26年度	1,560 ㎥
平成27年度	1,520 ㎥
平成28年度	1,951 ㎥
平成29年度	1,850 ㎥
平成30年度	1,456 ㎥

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	6,200
市債	
その他	
一般財源	4,650
R2予算額	10,850
R元当初予算額	7,000
R元現計予算額	7,000
増減額	3,850

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	5,096	5,810
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	8,296	9,010
活動指標名	搬出量	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	1,456 単位 ㎥	2,000 単位 ㎥
単位当たりコスト（円）	5,698	4,505

特定財源の状況

県産材生産促進事業補助金
6,200千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣対策事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的	有害鳥獣による、農林産物等への被害拡大を防止する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
事業	101	林業振興費（有害鳥獣対策事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項目	金額
鳥獣被害対策実施隊員報酬（18名×年間40,000円）	720
有害鳥獣防除ライセンス取得等補助金（取得5名×10千円、継続116名×10千円）	1,210
有害鳥獣駆除事業（捕獲報償金5,730千円、集中捕獲8回800千円）	6,530
有害鳥獣駆除個体処理事業	2,200
有害鳥獣捕獲事業	340
有害鳥獣用捕獲・回収専用車リース料	405
合計	11,405

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、農林作物に甚大な被害をもたらす、有害鳥獣の生息数を適正に管理するため、宇陀市鳥獣被害防止計画により捕獲体制を整え、捕獲推進を図るとともに、捕獲者への奨励及び実施隊による組織強化や捕獲者の育成を図る。

また、道路等公共用地での事故死による個体など、衛生的に処分する必要があるものについては、火葬処理を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	3,390
市　債	
その他	
一般財源	8,015
R2予算額	11,405
R元当初予算額	11,587
R元現計予算額	12,637
増減額	▲ 182

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	13,196	12,637
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	21,196	20,637
活動指標名	有害鳥獣の捕獲・処理頭数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	1,270 単位 頭	955 単位 頭
単位当たりコスト　（円）	16,690	21,609

特定財源の状況

鳥獣被害防除事業補助金
170千円
森林植生保全事業補助金
3,220千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
（3）有害鳥獣対策の推進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	林道維持管理事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

市内の林道を機能的・効果的で、かつ安全な維持管理整備を行い、林業の振興を図ため、次の事業を行う。
林道維持補修事業
林道補修用原材料支給事業
重機借り上げ助成事業
林道応急補修事業

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	3	林業土木費
事業	1	林業土木費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－４　森林の保全と多面的利用の促進

R2年度事業の概要

・林道補修用原材料費
災害復旧事業で対応できない軽微な被災など、受益者による復旧に係る原材料支給
800,000円
・応急工事手数料
災害時の応急復旧に係る手数料
400,000円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

目標
市内林道の維持補修や林道事業により、林道の長寿命化を図るとともに、安全な林業経営の推進を図る。

原材料支給実績

年　度	件　数
平成26年度	11件
平成27年度	8件
平成28年度	6件
平成29年度	2件
平成30年度	33件

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,200
R2予算額	1,200
R元 当初予算額	1,200
R元 現計予算額	1,200
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	959	500
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	1,039	580
活動指標名	申請件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	33 単位 件	8 単位 件
単位当たりコスト　（円）	31,485	72,500

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3.活力あるまち
3.基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	林道（橋梁）耐震診断調査事業

所管課	農林課	（農林商工部）

事業の目的

林道（橋梁）の耐震診断を行うことにより、短期間・低コストで実現可能な減災対策を実施し施設の安全を図るとともに、地域の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	3	林業土木費
事業	1	林業土木費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－３－１　農業生産基盤の整備と農地の保全

R2年度事業の概要

（単位：千円）

委　託　内　容	委託箇所数	事業費
林道耐震診断調査業務委託	12箇所	4,000

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

目標
林道（橋梁）の現状を把握し、施設の安全を図るとともに、地域の安全を確保する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	2,280
市　債	
その他	
一般財源	1,720
R2予算額	4,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	4,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

林道耐震診断調査事業補助金
2,280千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
3. 基幹産業である農林業の再生・活性化
その他の農林業予算

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消費生活相談窓口開設事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的

現在の消費者を取り巻く社会経済環境は大きく変化しており、商品・サービスの多様化に伴う消費者被害も一層多様化・複雑化し、あらゆる世代で、誰もが消費者被害に巻き込まれる恐れがある。これら問題に対応するため相談窓口を設置し、安心・安全な消費生活の実現のを目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－１－３　防犯体制と消費者保護の強化

R2年度事業の概要

〇相談日：毎週月曜日・木曜日の週2回
（祝祭日、年末年始除く）
〇相談時間：13時～17時
〇相談員：1名
〇連携事業として、県消費者センターの事業を活用し、公民館事業との連携や学校等への出前講座を調整し、消費者教育を進める。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

多様な消費者問題に関心をもってもらうとともに、相談員による的確な消費者情報の提供を行い、安全安心な消費者生活を図る。

相談件数　（人）

内　容	H25	H26	H27	H28	H29	H30
店舗販売	26	8	11	11	21	17
訪問販売	7	8	2	9	4	4
通信販売	11	13	5	10	16	13
マルチ商法	0	0	0	0	1	0
電話勧誘	2	2	1	3	1	3
その他無店舗	2	0	1	2	0	1
不明	9	1	2	1	8	9
合　計	57	32	22	36	51	47

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	358
市　債	
その他	
一般財源	896
R2予算額	1,254
R元当初予算額	1,030
R元現計予算額	1,030
増減額	224

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	866	1,030
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,666	1,830
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	47 単位 件	40 単位 件
単位当たりコスト　（円）	35,447	45,750

特定財源の状況

市町村消費者行政活性化事業
交付金　358千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
1. みんなが住み良いまちづくりの実現
（3）消費者生活相談窓口開設事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	「ウッピー商品券」発行事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的

定住促進奨励金制度、宇陀市産木材利用促進助成制度、出産祝い金支給事業、ウェルネス事業、ぴかぴか1年生応援事業、トリプルチルドレン応援事業等に対し、市内事業者にのみ有効な宇陀市内流通商品券を発行し、市内における購買活動の増進、内需振興を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－１　商店街の活性化支援

R2年度事業の概要

市内流通商品券発行予定数：37,948枚
（18,974,000円分）
委託先：宇陀商工会

（単位：千円）

項　目	金額
商品券等印刷費	1,030
郵送料	48
事務費	947
雑　費	215
合　計	2,240

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

ウッピー商品券の利用により、市民の市内消費が促進され、市内経済の活性化が期待される。

（単位：円）

年度	使用状況	（平成30年12月末現在）		換金期限
26	発行金額	18,914,000	98.43%	H27.12.31
	換金率	18,617,000		
27	発行金額	18,949,000	98.78%	H28.12.31
	換金率	18,718,500		
28	発行金額	18,092,000	99.24%	H29.12.31
	換金率	17,954,000		
29	発行金額	18,385,000	99.18%	H30.12.31
	換金率	18,234,000		

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,240
R2予算額	2,240
R元 当初予算額	2,250
R元 現計予算額	2,250
増減額	▲ 10

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,200	2,250
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	3,000	3,050
活動指標名	発行人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	1,113 単位 人	1,100 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,695	2,773

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
4. 商工業の再生・活性化
（1）「ウッピー商品券」の発行

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中小企業資金融資保証事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的

市内の中小企業者を対象に、事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を、奈良県信用保証協会と金融機関の協力を得て行い、資金調達の円滑化、企業の合理化及び本市中小企業の振興発展を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－２　地元事業所活動の促進・支援

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項目			金額
役務費			29
補給金	保証金補給		3,000
	利子補給	28年度分	9
		29年度分	151
		30年度分	477
		1年度分	1,443
		2年度分	1,070
合計			6,179

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

〇融資枠：200,000,000円
〇保証料補給金：保証料の70%を補給
〇利子補給金：融資利率の1%を補給

中小企業の事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を信用保証協会が公的な保証人となることで、借入れが容易になり、また市が融資保証料の利子の一部を補給することで、資金調達の円滑化、企業の合理化及び安定運営が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	6,179
R2予算額	6,179
R元当初予算額	5,741
R元現計予算額	5,741
増減額	438

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,061	2,024
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	4,461	4,424
活動指標名	融資社数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	38 単位 社	35 単位 社
単位当たりコスト　（円）	117,395	126,400

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
4. 商工業の再生・活性化
（4）中小企業資金融資保証事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	観光資源保全事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的	風雨により荒らされた東海自然歩道等を修繕し、利用者の安全を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－２　地域資源を活かした観光・交流の創出

R2年度事業の概要	○観光歩道修繕 ・観光自然歩道等の修繕等　400千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	風雨による被害を受けている観光資源を修復し、安定化を図ることにより、観光客等の集客及び安全を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	400
R2予算額	400
R元 当初予算額	1,264
R元 現計予算額	1,264
増減額	▲ 864

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,643	1,264
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	2,443	2,064
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1,417,494　単位　人	1,420,000　単位　人
単位当たりコスト　（円）	2	1

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 5. 観光戦略の推進 （2）観光施設、観光資源の整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	龍王ヶ渕環境整備事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市の秘境スポットとして、龍王ヶ渕、青葉の滝、室生湖等が関西ウォーカーやじゃらん等の情報誌に掲載されたり、SNS上でも人気スポットとなって観光客が増加している。特に龍王ヶ渕は「無風の時には、池の水面が鏡張りのようになり、木々を映し出す美しい光景が広がる中、歩道を歩いて池を1周できる。」と様々な媒体で紹介されている。貴重な地域資源を活かした観光を創出、地域の活性化を図るため、必要な周辺整備を行い、観光客を受け入れるための整備を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－２　地域資源を活かした観光・交流の創出

R2年度事業の概要

不動産鑑定委託料	450千円
工事請負費	19,050千円
土地購入費	2,468千円
合計	21,968千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

駐車場の整備を行い、観光客が安全に龍王ヶ渕を訪れ滞在できる受け入れ環境の整備を行い観光客の増加を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	21,968
一般財源	
R2予算額	21,968
R元当初予算額	
R元現計予算額	5,452
増減額	21,968

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		5,452
従事職員数【人工】		0.20
人件費　（人工×8,000千円）		1,600
総事業費：人件費含む　（千円）		7,052
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	単位	1,420,000　単位　人
単位当たりコスト　（円）		5

特定財源の状況

ふるさと応援基金繰入金
21,968千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
5. 観光戦略の推進
（2）観光施設、観光資源の整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ワールドメイプルパーク指定管理委託事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的	ワールドメイプルパークはカエデを中心とした公園であり、カエデの生育管理の専門技術者がいるNPO法人に指定管理し、自然体験や学習、観光施設など幅広く関連させ、地域の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－２　地域資源を活かした観光・交流の創出

R2年度事業の概要	○指定管理者：NPO法人宇陀カエデの郷づくり ○指定管理期間：平成30年4月1日～平成35年3月31日 ○管理施設：宇陀市菟田野古市場135 ワールドメイプルパーク ○管理内容：施設の管理及び運営、設備の維持管理、 カエデ等の樹木・種子の育成管理、 施設の利活用向上 ○指定管理料：3,800千円／年（5年間）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	平成25年4月に開園したワールドメイプルパークの施設管理運営、カエデの樹木・種子の育成管理、施設の利活用向上を、カエデの育成管理の専門技術者がいる「NPO法人宇陀カエデの郷づくり」に指定管理することで、カエデの観察、育苗などの自然体験を通し地域への流入人口の増加が図られた。 ●平成30年度来園者数　43,033人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	3,800
その他	
一般財源	
R2予算額	3,800
R元 当初予算額	3,800
R元 現計予算額	3,800
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,800	3,800
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	4,600	4,600
活動指標名	来園者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	43,033 単位 人	43,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	107	107

特定財源の状況
過疎対策事業債　3,800千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 5.観光戦略の推進 （3）ワールドメイプルパークの指定管理

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	飛鳥ニューツーリズム（広域観光連携事業）負担金

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的
近年全国的に注目されている民泊は、滞在型観光における一つの大きな要素である。大型の一軒家が多い宇陀市において多くの潜在能力が潜んでいると考えられることから調査等を行い、先進的な活動による実績を上げている飛鳥ニューツーリズムと協働し、宿泊および民家ステイ等の滞在型観光による誘客を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要
宇陀市負担金　800千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
奈良県や全国において先進的に活躍する飛鳥ニューツーリズム等と連携協働を行い、宇陀市における民泊事業推進の骨格を築く。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	800
R2予算額	800
R元 当初予算額	800
R元 現計予算額	800
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		800
従事職員数【人工】		0.10
人件費　（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む　（千円）		1,600
活動指標名	受入実績（泊数）	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	単位	850　単位　泊
単位当たりコスト　（円）		1,882

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 5. 観光戦略の推進 （7）飛鳥ニューツーリズム（広域観光連携事業）負担金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原（東吉野）観光振興協議会負担金

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的	平成24年10月に奈良県東部振興計画が策定され、観光資源の有機的連携と周遊観光ネットワークの形成のため、「大和高原（東吉野）観光振興協議会」を設置し、観光客の来訪増加と地域の活性化を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要	大和高原（東吉野）観光振興協議会加入団体 宇陀市・山添村・曽爾村・御杖村・東吉野村 協議会事業費　2,250,000円 負担金額の算出　人口割80%、均等割20% 事業概要 ・パンフレット作成 ・大和高原産業フェアの開催（大和高原軽トラ市等） ・観光雑誌「じゃらん」挟み込みパンフレットの作成 ・各種イベント及び観光キャンペーンへの参加 ・ワークショップの開催
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	奈良県東部地域の美しい自然や豊富な歴史資源などを活用し、周遊型観光地としての魅力を高めることによって、自動車での周遊観光の促進による地域の活性化や滞在時間の増加が図られる。 また、大和高原ブランド計画に基づき、地域の発信、大和高原の四季折々のイベント醸成、温泉ブランド強化等の観光戦略を展開していく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,500
R2予算額	1,500
R元当初予算額	1,500
R元現計予算額	1,500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,494	1,500
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,094	3,100
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1,417,494　単位　人	1,420,000　単位　人
単位当たりコスト　（円）	2	2

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 5. 観光戦略の推進 （8）大和高原（東吉野）観光振興協議会との連携

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中南和観光協議会負担金事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的	中南和地域の自治体により構成する中南和広域観光協議会を設置し、優れた観光資源が数多く存在する奈良県中南和地域の一体的な観光振興、観光事業展開を促進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要	中南和広域観光協議会参加自治体 宇陀市・大和高田市・天理市・橿原市・桜井市・ 五條市・御所市･葛城市・川西町･三宅町・ 田原本町・高取町・明日香村・吉野町・大淀町・ 下市町 宇陀市負担金　120千円 [事業概要] インバウンド観光客を南部東部地域へ誘客するためのプロモーション商談会の実施
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	県中南和地域が一体的に、北部に集中しがちな観光客を南部東部地域に誘客することにより、観光客を増加させ地域の活性化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	120
R2予算額	120
R元当初予算額	120
R元現計予算額	120
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	31	120
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	831	920
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績(見込)	1,417,494 単位 人	1,420,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1	1

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 5.観光戦略の推進 （9）中南和広域観光協議会との連携

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	松阪市・東吉野・宇陀市観光交流連携協議会負担金

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的	道の駅「飯高駅、茶倉駅」、小さな道の駅「ひよしのさと」、道の駅「大宇陀」を中心として、周遊観光ネットワークの形成を強化するため、平成31年4月連携協定を結びそれぞれの地域活性化を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要	松阪市・東吉野・宇陀市　3団体 市村負担金　　450,000円（150,000円×3市村） 宇陀市負担金　150,000円 [事業概要] パンフレット作成・観光PR・各種イベント参加
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	観光パンフレットの作成、観光PRキャンペーン参加等、道の駅の連携により、観光客の誘客増加を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	150
R2予算額	150
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	150

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3.活力あるまち 5.観光戦略の推進 （10）松阪市・東吉野村・宇陀市観光交流連携負担金

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈6-1-2-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト 【全国還暦野球大会推進事業】

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的
【還暦野球のまちの推進】 還暦軟式野球大会等を主催、誘致することで観光庁が推し進めている団体誘致（MICE）のスポーツMICE誘致を活性化させることにより、宇陀市のブランド力を確立し、広く全国に知ってもらう機会を作るとともに従来の観光にプラスαの新しい魅力を加え、交流人口の拡大や地域経済への波及効果の拡大を目指す。スポーツと観光を組み合わせることで新たな旅の魅力の創出を目指す。また、高齢になってもスポーツを行うことによる住民の健康の保持、生きがいの意識の高揚を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	101	本庁観光費(大和高原スポーツツーリズム推進事業)

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－４－１　スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要
令和元年度 〇宇陀市長杯大会ほか全4大会予定 〇ほっともっとフィールド神戸球場等で象徴的な大会を行うことにより、全国にPRし、宇陀市のブランド力を向上させ、宇陀市を訪れる人を増やす。

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
７年間の継続により、「還暦野球のまち　うだ」の知名度が上がっているとともに、宇陀市ファンが確実に定着して、多くの市外・県外在住者がリピーターとなっている。大会の出場者、応援者、官学連携による学生スタッフの市内消費も図られている。また、NHKや報道ステショーン等による全国放送や産経新聞や朝日新聞による報道により、宇陀市を全国にPRできている。令和２年度は、ワールドマスターズゲームズという世界的なスポーツ大会において協働し、還暦野球大会をオープン競技として宇陀市と近隣地域で開催し、全60チームを外国や、国内から誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化の最大級のイベントとする。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,104
R2予算額	3,104
R元 当初予算額	3,578
R元 現計予算額	3,578
増減額	▲ 474

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,282	3,578
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	13,282	11,578
活動指標名	交流人口	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	5,410 単位 人	5,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,455	2,316

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 4.スポーツ・芸術・文化の振興 （1）大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈6-1-2-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト 【大学軟式野球推進事業】

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的
大学生軟式野球大会等を誘致することで交流人口の増加による市の活性化を図る。リピート率が高いとされる若者に全国から訪れてもらうことによるリピーターの増加を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	101	本庁観光費（大和高原スポーツツーリズム推進事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－４－１　スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要
○第43回全日本学生軟式野球選手権大会 ○宇陀市長杯第4回インカレ大学軟式野球全国大会

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
第43回全日本学生軟式野球選手権大会開催による500人規模の若者（大学生）を誘致。大会の出場者、応援者、官学連携による学生スタッフの市内消費が図られている。また、選手権大会を逃した大学を対象とした宇陀市長杯インカレ大学軟式野球全国大会開催の定着による宇陀市の知名度の向上が図られている。 ●宇陀市長杯出場大学 H30年度　青山学院大学、明治学院大学、東洋大学ほか H31年度　國學院大学、慶應義塾大学、九州共立大学ほか R元年度　慶應義塾大学、國學院大学、東洋大学ほか

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,561
R2予算額	1,561
R元当初予算額	1,439
R元現計予算額	1,439
増減額	122

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,200	1,439
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,800	3,039
活動指標名	交流人口	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	4,303 単位 人	4,200 単位 人
単位当たりコスト　（円）	883	724

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 4.スポーツ・芸術・文化の振興 （1）大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈6-1-2-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト 【ワールドマスターズゲームズ2021関西（還暦野球競技）】

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的

ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会が主宰する生涯スポーツの国際大会であり、4年ごとにオリンピックの翌年に開催され、おおむね30歳以上のスポーツ愛好家であれば誰でも参加できる。
2021年5月14日から30日の17日間、日本で初めて関西地域で全35競技59種目で開催され、そのオープン競技として還暦野球競技を宇陀市を中心に大和高原地域（曽爾村、御杖村、山添村、東吉野）で行い、交流人口の増加、インバウンド観光等、観光振興を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	101	本庁観光費(大和高原スポーツツーリズム推進事業)

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－４－１　スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要

奈良県ワールドマスターズゲームズ2021関西（公開競技）還暦野球実行委員会負担金　5,400千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

○主催　奈良県ワールドマスターズゲームズ2021関西（公開競技）還暦野球実行委員会
【事務局：宇陀市】
○会期　2021年3月19日(金)～3月26日(金)
○会場　宇陀市総合運動場・榛原運動場(宇陀市)、
曽爾村健民運動場(曽爾村)、
御杖村民グラウンド(御杖村)、
山添村総合スポーツセンター(山添村)、
東吉野村運動公園(東吉野村)、
佐藤薬品スタジアム(橿原市)ほか
なお、練習会場は宇陀市営球場
○参加　60チーム　1,800人

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,400
R2予算額	5,400
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	5,400

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
4.スポーツ・芸術・文化の振興
（1）大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-102〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	観光誘致促進事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的

宇陀市への観光客を増やすため、観光案内所での観光客受入体制を整えるとともに、バスによる団体旅行を誘致する施策を行う。
また、記紀万葉の編まれた時代から長い歴史を今に伝える宇陀をPRする記紀万葉推進事業を行い、観光客の誘客を図り観光客数及び交流人口を増やす。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	102	本庁観光費（観光誘致促進事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要

（単位：千円）

団体旅行誘致事業	2,680
観光客誘客案内事業	5,535
記紀万葉推進事業	614
刀剣イベント事業	847
「神武東遷」日本遺産推進協議会負担金	100
合　計	9,776

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

以下の施策により観光客の増加を目指す。

①団体旅行を実施する事業者に助成を行うことによる観光客の増加、市内消費の増加。

②記紀万葉推進事業においては、引き続き神武東征、女性を主役とした企画のほか、日本遺産関連ｲﾍﾞﾝﾄを行いPR活動を行う。また、近年の刀剣ﾌﾞｰﾑの中で、「天国の井戸」（菟田野）が全国的に注目されている。日本最初の刀工といわれた天国やその刀剣「こがらす丸」を中心にしたｲﾍﾞﾝﾄによりPRし、ﾆｭｰｺﾝﾃﾝﾂとして活性化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	9,776
R2予算額	9,776
R元当初予算額	8,608
R元現計予算額	8,608
増減額	1,168

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	6,902	7,000
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	14,902	15,000
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1,417,494 単位 人	1,420,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	11	11

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
5. 観光戦略の推進
（5）観光誘致促進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-103〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	東奈良・名張地域による広域連携観光事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的
宇陀を含む東奈良、名張地域における観光事業について広域で連携して観光資源の発掘、調査活用を行う。 特にインバウンド観光に力をいれるなど観光振興を図る。2025年に開催される大阪・関西万博に向けて日本に多くの外国が訪れる機会が増えていく中、関連6地域を1つのエリアとして魅力を創造・発信していく。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	103	本庁観光費（広域連携観光事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要
インバウンド観光を主とした観光商品の開発、国別へ直接的な誘致活動を行う。 さらに、観光資源のブラッシュアップやニューコンテンツの造成を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
令和元年度までは、圏域観光ビジョン計画を作成したり、基本的な圏域の観光データの収集や各国の旅行会社へのセールスなど、圏域観光のプラットフォームの形成を行った。 令和2年度からは、そのプラットフォームを活かし、継続的に外国人観光客が訪れてくれるような地域になるよう、既存観光資源のブラッシュアップやニューコンテンツの造成を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,000
R2予算額	1,000
R元当初予算額	7,000
R元現計予算額	7,000
増減額	▲ 6,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,580	7,000
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	7,180	8,600
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,417,494　単位　人	1,420,000　単位　人
単位当たりコスト　（円）	5	6

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 5. 観光戦略の推進 （6）東宇陀・名張圏域における広域連携観光事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-104〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀四季彩推進事業

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的

全国的にも知名度がある室生寺を中心に観光資源と自然環境を活かし、花の植栽や保護による将来を見据えた彩り美しい宇陀の観光地を形成する。また、ライトアップイベント等と環境を活かした事業展開を行うことにより、地域の活性化、夜間の消費拡大、宿泊の促進を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	104	本庁観光費（宇陀四季彩推進事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－２　地域資源を活かした観光・交流の創出

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項　目	金額
観光地活性化事業 室生寺ﾗｲﾄｱｯﾌﾟ・門前活性化ｲﾍﾞﾝﾄ	3,880
観光ﾂｰﾙ造成費 ﾓﾆﾀｰﾂｱｰｲﾍﾞﾝﾄ作成	135
旅行商品ｾｰﾙｽ旅費・通信費	12
合　計	4,027

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

〇観光地のブラッシュアップによる活性化による観光客数の増加
〇夜間イベント等による消費拡大、宿泊者の増加
〇観光施設誘客事業による地域ブランドの確立

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,027
R2予算額	4,027
R元当初予算額	4,400
R元現計予算額	4,400
増減額	▲ 373

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,390	4,400
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	4,470	4,480
活動指標名	観光客数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,417,494 単位 人	1,420,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	3	3

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
5. 観光戦略の推進
（1）宇陀四季彩推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-2-105〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	室生口大野駅「おもてなしステーション」

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的

室生口大野駅運営管理体制再構築により観光案内機能が失われ、室生寺の玄関口でもある窓口として、観光客へのＰＲ・交通面や宿泊・食堂等の案内等、また、地域活性化のための発信地として多くの観光地の紹介をしていく上で、案内所の果たす役割は重要である。地域のイメージアップに大きく貢献し、観光客の方を呼び込める地域での観光地域づくりを図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
事業	105	本庁観光費（おもてなしステーション事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－３　観光誘客の活性化

R2年度事業の概要

令和2年度 おもてなしステーション予算積算概要

項　目	金額(千円)
消耗品費	6
光熱水費	14
通信運搬費	27
手数料	2
委託料	1,408
使用料及び賃借料	101
計	1,558

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成30年度「おもてなしステーション」実績

月	介助等	観光	委託料(円)	賃借料(円)	電気代(円)	電話代(円)
4	122	2,921	198,000	8,400	802	2,285
5	70	2,138	204,600	8,400	701	2,458
6	55	1,271	198,000	8,400	658	1,896
7	19	606	102,300	8,400	1,027	1,831
8	16	733	102,300	8,400	1,666	1,853
9	65	836	184,800	8,400	1,281	2,350
10	79	1,659	184,800	8,400	731	3,041
11	183	2,709	204,600	8,400	665	2,825
12	49	906	105,600	8,400	927	1,939
1	15	480	92,400	8,400	1,288	1,874
2	55	718	92,400	8,400	1,320	1,810
3	66	1,723	168,300	8,400	918	1,939
計	794	16,700	1,838,100	100,800	11,984	26,101

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,558
R2予算額	1,558
R元 当初予算額	2,159
R元 現計予算額	2,159
増減額	▲ 601

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,985	2,159
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,585	3,759
活動指標名	利用者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	16,700 単位 人	22,152 単位 人
単位当たりコスト　（円）	215	170

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
5. 観光戦略の推進
(4)室生口大野駅「おもてなしステーション」事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-4-40〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	毛皮革産業振興協議会負担金

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的	奈良県毛皮革協同組合連合会、奈良県毛皮革工場団地協同組合、大和毛皮革産業協同組合と連携しながら「宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会」を設立し、地場産業である毛皮革産業の育成と振興、魅力ある商品の開発、販路拡大を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	4	産業振興センター費
事業	40	産業振興センター費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－２　地元事業所活動の促進・支援

R2年度事業の概要	宇陀市菟田野産業振興協議会の事業概要 〇宇陀市菟田野毛皮革フェア事業 総事業費　5,000,000円　市負担金　1,370,000円 〇宇陀市菟田野毛皮革ファッションフェア事業 総事業費　1,600,000円　市負担金　730,000円 〇新商品開発事業負担金　300,000円 ●市負担金合計　2,400,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	地場産業である毛皮革製品を「毛皮革フェア事業」や「毛皮革ファッションフェア事業」により、市内外にPRをすることで、地場産業の育成、振興を図るとともに、魅力ある商品の開発や販路拡大を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	2,400
その他	
一般財源	
R2予算額	2,400
R元当初予算額	2,400
R元現計予算額	5,291
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,332	5,291
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	9,332	9,291
活動指標名	毛皮革関連イベント入場者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,344 単位 人	1,026 単位 人
単位当たりコスト　（円）	6,943	9,056

特定財源の状況
過疎対策事業債　2,400千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 4. 商工業の再生・活性化 （5）毛皮革振興協議会負担金

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-2-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　道路ストック総点検事業

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的	市道橋梁等の点検を行い、道路の安全性確保と道路施設の長寿命化による維持経費の平準化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
事業	1	道路維持費

根拠条例等	「道路法第４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

令和2年度　概　要		金　額
橋　梁　点検	66橋	30,000千円
跨線橋点検	1橋	20,000千円
委　託　料　計		50,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	30,250
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	19,750
R2予算額	50,000
R元当初予算額	50,000
R元現計予算額	50,000
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	58,486	50,000
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	62,486	54,000
活動指標名	点検件数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	183 単位 箇所	166 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	341,454	325,301

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
30,250千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(2)道路ストック総点検事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-2-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持費（市道舗装等維持補修）

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmの適正な維持管理を実施し、市民生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
事業	1	道路維持費

根拠条例等	「道路法４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要	
令和2年度事業概要	
舗装維持補修工事	
市道　中尾谷清水線他9路線	
工事請負費	112,500千円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	市道1,687路線、総延長747kmの適正な維持管理を実施し、市民生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	110,400
その他	
一般財源	2,100
R2予算額	112,500
R元当初予算額	78,500
R元現計予算額	78,500
増減額	34,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	29,988	78,500
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	33,988	82,500
活動指標名	国勢調査人口	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	31,105 単位 人	31,105 単位 人
単位当たりコスト　（円）	1,093	2,652

特定財源の状況
辺地対策事業債　21,800千円
過疎対策事業債　12,300千円
合併特例債　76,300千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　橋梁等長寿命化修繕事業

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的

橋梁・トンネル等の道路施設点検に基づき、修繕計画を策定し、計画性を持った修繕を行うことにより、道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
事業	1	道路維持費

根拠条例等	「道路法第４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

令和2年度 概　要			
橋　梁	委　託　料	1橋	20,000千円
	工事請負費	8橋	85,000千円
	計		105,000千円
トンネル	委　託　料	2箇所	25,000千円
	計		25,000千円
事　務　費			2,201千円
合　計			132,201千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	78,645
県　費	
市　債	54,300
その他	
一般財源	▲ 744
R2予算額	132,201
R元当初予算額	155,683
R元現計予算額	155,683
増減額	▲ 23,482

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	51,504	155,683
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	55,504	159,683
活動指標名	修繕橋梁等箇所数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1 単位 箇所	1 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	55,504,000	159,683,000

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　78,645千円
辺地対策事業債　14,800千円
過疎対策事業債　24,900千円
合併特例債　14,600千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(3)橋梁等長寿命化事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　道路災害防除

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的

道路施設点検に基づき、災害防除対策計画を策定し、計画性を持った対策を行うことにより、道路の安全性の確保及び経費の平準化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
事業	1	道路維持費

根拠条例等	「道路法第４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

令和2年度概要	市道　長峯大野線他	
災害防除工事	委託料	25,000千円
	工事請負費	70,000千円
	事務費	1,199千円
	計	96,199千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の安全性の確保及び経費の平準化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	27,280
県　費	
市　債	67,800
その他	
一般財源	1,119
R2予算額	96,199
R元当初予算額	80,000
R元現計予算額	80,000
増減額	16,199

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	7,004	80,000
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	11,004	84,000
活動指標名	対策済箇所数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1 単位 箇所	3 単位 箇所
単位当たりコスト（円）	11,004,000	28,000,000

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　27,280千円
過疎対策事業債　30,800千円
合併特例債　37,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(4)道路災害防除事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-2-2-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全施設整備事業

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmのうち、特に市民生活に密着した道路の防護柵、カーブミラーや区画線等の維持補修を行い、道路利用者の安全確保を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
事業	3	交通安全施設整備費

根拠条例等	「道路法４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

令和2年度事業概要	交通安全施設整備工事	
（区画線等）	工事請負費	4,000千円
（カーブミラー、ガードレール）	工事請負費	1,000千円
（通学路カラー舗装等）	工事請負費	1,500千円
	計	6,500千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

カーブミラー、ガードレール、区画線等の修繕、新設を行い道路利用者の安全性確保を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,500
R2予算額	6,500
R元 当初予算額	8,827
R元 現計予算額	8,827
増減額	▲ 2,327

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	6,872	8,827
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	7,672	9,627
活動指標名	整備箇所数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	42 単位 箇所	34 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	182,667	283,147

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(5)交通安全施設整備事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路新設改良費（市道長瀬線）

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的

道路の新設改良を実施することにより、市民生活の環境改善、安全性及び利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
事業	1	本庁道路新設改良費

根拠条例等	「道路法第４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

令和２年度事業概要　道路拡幅工事		
市道　長瀬線	用　地　費	4,950千円
	計	4,950千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

道路の新設改良を実施することにより、市民生活の環境改善、安全性及び利便性の向上を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	4,900
その他	
一般財源	50
R2予算額	4,950
R元当初予算額	43,950
R元現計予算額	43,950
増減額	▲ 39,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,181	19,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,981	19,800
活動指標名	整備箇所	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	1 単位 箇所	2 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	1,981,000	9,900,000

特定財源の状況

過疎対策事業債　4,900千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-2-3-17〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道春日小附線他

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的

当該路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部の大型車の通行に支障をきたしている。また、うだ・アニマルパークへの南側からのアクセス道路として機能を充実することにより、観光客の集客、交通渋滞の解消等による通行の安全確保及び利便性の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
事業	17	社会資本整備総合交付金事業（春日小附線他）

根拠条例等	「道路法第４２条」（道路の維持及び修繕）
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業		
路線名	市道 春日小附線	市道 春日藤井線
全体計画	H25～R3年度	H25～R3年度
全体事業	50,500千円	129,500千円
全体延長	L=205m	L=135m
令和２年度概要	L=20m　W=7m	L=60m　W=7m
工事請負費	1,550千円	10,000千円
用地費	1,350千円	0千円
補償費	3,100千円	0千円
事務費	0千円	600千円
計	6,000千円	10,600千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

主要な生活道路の安全性の確保と利便性の向上による観光客の増加により地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	16,000
一般財源	600
R2予算額	16,600
R元当初予算額	16,431
R元現計予算額	16,431
増減額	169

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	31,434	431
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	34,634	3,631
活動指標名	整備延長	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	82 単位 m	単位 m
単位当たりコスト（円）	422,366	

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金　8,000千円
雑入　8,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
(1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	河川維持補修事業

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的	市内の重要河川等の適正な維持管理を行い、災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	3	河川費
目	1	河川総務費
事業	1	本庁河川総務費

根拠条例等	「河川法第１５条の２」（河川管理施設等の維持又は修繕）
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要	・堆積土砂撤去工事（菟田野見田地区）3,000千円 見田川　L＝250m
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	見田川の適正な維持管理を行い、災害を未然に防止する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,000
R2予算額	3,000
R元 当初予算額	29,000
R元 現計予算額	29,000
増減額	▲ 26,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	4,000	29,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	4,800	29,800
活動指標名	実施箇所数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1 単位 箇所	2 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	4,800,000	14,900,000

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (7)河川維持補修事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	急傾斜地崩壊防止事業

所管課	建設課	（建設部）

事業の目的	急傾斜地の崩壊による災害を未然に防止し住民生活の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	3	河川費
目	1	河川総務費
事業	1	本庁河川総務費

根拠条例等	土砂災害防止法
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要	急傾斜地崩壊対策事業負担金 ・室生下田口地区　3,780千円 ・大宇陀小附地区　1,680千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	急傾斜地区崩壊防止施設の設置等を行う事により、災害から市民を保護し、安全性の確保を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	5,400
その他	
一般財源	60
R2予算額	5,460
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	5,460

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
自然災害防止事業債 5,400千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (20) 急傾斜地崩壊防止事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	既存木造住宅耐震診断・改修支援事業

所管課	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的	大規模地震発生時に被害が大きくなると予想される旧基準建築物について、耐震診断の実施により耐震性を把握し、耐震改修の実施や一室補強となるシェルターの設置を行うことで、既存木造住宅の安全性向上を推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
事業	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律・宇陀市耐震改修促進計画
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要	・既存木造住宅耐震診断支援事業 4件×50千円＝200千円 ・既存木造住宅耐震改修支援事業 2件×50千円＝1,000千円 ・耐震シェルター設置事業 1件×250千円＝250千円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	地震により耐震性が不十分な建築物の被害が軽減されることにより、仮設住宅や瓦礫の減少が図られ、早期の復旧･復興に寄与する。また、避難路が確保されることなどから避難、救命、消火等の活動が速やかに行えることで災害の拡大を防ぐことができ、人的被害・物的被害を軽減できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	725
県　費	362
市　債	
その他	
一般財源	363
R2予算額	1,450
R元当初予算額	1,900
R元現計予算額	1,900
増減額	▲ 450

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	200	450
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,000	1,250
活動指標名	診断・改修実績数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	4 単位 戸	4 単位 戸
単位当たりコスト　（円）	250,000	312,500

特定財源の状況
住宅建築物耐震改修等事業補助金　（国）　600千円 （県）　300千円 耐震シェルター設置事業補助金 （国）　125千円 （県）　62千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 4.災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 （8）既存木造住宅耐震診断・改修支援事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ブロック塀等撤去支援事業

所管課	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的	地震の揺れによるブロック塀の倒壊で生じる通行者の死傷被害及び、地震後の避難や救助・消防活動への支障を防止する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
事業	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、宇陀市耐震改修促進計画
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要	道路に面しているブロック塀等の撤去に対して補助を行う。 ・ブロック塀等撤去支援事業補助金 100千円×7件＝700千円（補助率1/2、上限100千円）
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	道路等公共空間に接するブロック塀等は、地震時に倒壊の危険性が認められていても、行政の意向だけで除去することは困難である。市民の安全確保を図るため、事業主体となる民間を支援してブロック塀等の撤去を促し、危険要素の解消に努めることで安全安心なまちづくりを推進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	350
県　費	175
市　債	
その他	
一般財源	175
R2予算額	700
R元 当初予算額	500
R元 現計予算額	500
増減額	200

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	259	496
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,059	1,296
活動指標名	撤去箇所数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	5 単位 件	6 単位 件
単位当たりコスト　（円）	211,800	216,000

特定財源の状況
ブロック塀等撤去支援事業 補助金（国）　350千円 （県）　175千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 （9）ブロック塀等撤去支援事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-4-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	耐震改修促進計画策定事業

所管課	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的

災害に強い安全・安心なまちづくりの推進に向け、住宅や不特定多数が利用する特殊建築物について、旧耐震基準で建築された既存建築物の内、耐震化されていない建築物の市内における現況を把握し、地震に対する安全性の向上を計画的に促進し、地震災害による被害を減少させる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
事業	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要

平成28年12月策定の宇陀市耐震改修促進計画をもとに市では耐震化を図る施策を着実に進めてきたが、令和2年度末に計画期間の満了を迎えることから、計画の見直しを行う。
耐震改修促進計画の策定作業
・住宅建築物耐震化率推定
・避難路沿線建築物調査
・特定建物台帳作成

（単位：千円）

委託料	4,978
合　計	4,978

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

耐震化のための支援や促進策を講じることにより、法に基づいた耐震性能を確保できるよう誘導する。
既存木造住宅の耐震化については、昭和56年5月以前に建築された耐震性が不十分と思われる建物の所有者などに、耐震改修の助成制度、税の優遇措置などの耐震化策の利用を促す。
耐震化されていない公共施設をはじめ、個人の住宅、民間の特殊建築物について、国、県の支援を受けるためにも策定する必要がある。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,489
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,489
R2予算額	4,978
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	4,978

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
2,489千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
（14）耐震改修促進計画策定事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-4-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	建築物土砂災害対策改修促進事業

所管課	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的
住宅又は建築物の土砂災害に対する安全性の向上を図り、市民の生命及び身体を保護するため、土砂災害が発生するおそれのある区域に存する既存不適格の建物に対する改修を促進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
事業	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要
土砂災害特別警戒区域の既存建築物であって、土砂災害に対する構造耐力上の安全性を有していないものに対して、改修に必要な費用を支援する。 ・区域内にある住宅の補強 3,360千円×23%×1件 （千円未満切り捨て）

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
宇陀市内には1,666箇所の土砂災害特別警戒区域があるが、上記の支援を行うことで、土砂災害の危険に晒される住宅の減少が見込め、土砂災害特別警戒区域内で暮らす市民の安全性の確保と不安の軽減を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	386
県　費	193
市　債	
その他	
一般財源	193
R2予算額	772
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	772

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
建築物土砂災害対策改修促進事業補助金 （国）　386千円 （県）　193千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 （15）建築物土砂災害対策改修促進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-4-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公園施設長寿命化事業

所管課	公園課	（建設部）

事業の目的	公園施設の計画的な維持管理を行うことにより、施設の健全度を高め、公園利用者の安全性の確保を図るとともに、長期的な仕様に努めることで、施設の修繕・更新費用の縮減や財政負担の平準化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
事業	1	公園費

根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例
総合計画	基本計画　５－３－１　公園・緑地の維持・管理

R2年度事業の概要	公園施設長寿命化計画（5公園5施設） ・長寿命化計画公園施設整備工事　28,923千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	公園施設を起因とした事故を未然に防ぎ、利用者の安全性を確保する。また、計画的な施設更新を行うことで、財政負担を平準化する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	10,500
県　費	
市　債	18,400
その他	
一般財源	23
R2予算額	28,923
R元当初予算額	35,353
R元現計予算額	35,353
増減額	▲ 6,430

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		19,339
従事職員数【人工】		2.00
人件費　（人工×8,000千円）		16,000
総事業費：人件費含む　（千円）		35,339
活動指標名	実施公園数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	単位	8　単位　公園
単位当たりコスト　（円）		4,417,375

特定財源の状況
社会資本整備総合交付金　10,500千円 合併特例債　18,400千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 3. 公園・緑地の整備・活用 (1)公園施設長寿命化事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	一般財団法人休暇村協会解決金

所管課	公園課	（建設部）

事業の目的

宇陀市と一般財団法人休暇村協会との間で、宇陀市宿泊事業者誘致事業の推進に関する協定を締結し、相互に本事業を推進してきたが、住民投票の結果を受け事業実施が不可能との最終判断に至ったことから、相手方が本事業の実現に向けて支出した費用（解決金）を支払うことにより相手方と和解（協定解除）を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
事業	1	公園費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－５－２　地域資源を活かした観光・交流の創出

R2年度事業の概要

宇陀市宿泊事業者誘致事業中止に伴う解決金
（当該事業の実現に向けて支出した費用）

5,828,027円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●これまでの経過
・平成29年5月16日
宇陀市宿泊事業者誘致事業の推進に関する協定を締結
・平成30年12月16日
宇陀市保養センター美榛苑の老朽化に伴う宿泊事業者誘致事業・公園整備事業について住民の賛否を問う住民投票を執行
投票結果を受け事業中止を決定
●今後の予定
・令和2年7月
議会議決後、解決金の支払い及び協定解除書の合意（予定）

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,829
R2予算額	5,829
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	5,829

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位 人	単位 人
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-4-2-62〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	平成榛原子供のもり公園活性化事業

所管課	公園課	（建設部）

事業の目的	当公園は、21世紀を担う子ども達の健やかな成長を促すと共に、各世代間の交流の場としての対話を生み、自然環境や社会性を育む場の提供を目的に開園したが、利用者が横ばい傾向にあるため、単なる維持管理だけでは無く、集客効果のある様々な事業の展開を市民団体の活力を活かして行い、公園の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
事業	62	子供のもり公園費

根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例
総合計画	基本計画　５－３－１　公園・緑地の維持・管理

R2年度事業の概要	「子供のもり公園活性化協会」を中心に事業を企画運営し、市内外から来園者を増やすことを目指す。また、カヌー教室を始め子供のもり公園を多種多様な使い方を模索検討し、従来の利用方法の概念に縛られず、宇陀市独自の特色を活かした催しを開催する。 [補助金] 平成榛原子供のもり公園活性化協会補助金 880千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	子供のもり公園を市内外の幅広い年齢層に周知し来園いただくため、自然環境を活かしたアウトドア体験、カヌー教室等、季節毎に特色を活かしたこども対象に限らない事業を進めていく。その為に「子供のもり公園活性化協会」を中心に事業を企画運営し、さらに協会新規会員を広く募り、事業の充実と多角化を図り、幅広い内容で企画運営する。

年度	事業計画数	実施数	参加者数
H28年度	7	13	386
H29年度	11	18	554
H30年度	19	18	422

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	880
R2予算額	880
R元 当初予算額	864
R元 現計予算額	864
増減額	16

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	864	864
従事職員数【人工】	2.00	2.00
人件費　（人工×8,000千円）	16,000	16,000
総事業費：人件費含む　（千円）	16,864	16,864
活動指標名	入園者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	67,647 単位 人	68,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	249	248

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 3. 公園・緑地の整備・活用 (2)平成榛原子供のもり公園活性化事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-4-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	萩原１２号線道路改良事業

所管課	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的

市街地を中心に、より安全で暮らし良い道路網の整備を行うことで、歩行者や自転車通行者に配慮した道路整備を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	3	社会資本整備推進事業費
事業	1	社会資本整備総合交付金事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－３－１　安全で快適な道路環境の維持・整備

R2年度事業の概要

（単位：千円）

委託料	3,000
工事請負費	35,000
公有財産購入費	4,200
補償	1,000
事務費	1,748
合　計	44,948

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

密集市街地において、消防自動車等の緊急車両がスムーズに通行可能となり、地域住民の安心･安全な暮らしを確保する。

南都銀行・大和信用金庫・新町郵便局をはじめ周辺商店等へのアクセス道路として整備することで、商業サービス環境の充実と賑わいの創出を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	16,027
県　費	
市　債	24,300
その他	
一般財源	4,621
R2予算額	44,948
R元当初予算額	49,044
R元現計予算額	49,044
増減額	▲ 4,096

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	32,782	6,088
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	44,782	18,088
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
16,027千円
合併特例債　24,300千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
（1）効果的な道路新設・改良と補修の実施

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-5-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市営住宅ストック総合改善事業（屋根改善）

所管課	公営住宅課	（建設部）

事業の目的

市営住宅ストック戸数の約8割が建築後30年以上経過している。用途廃止による除却、建替え、維持保全の適切な手法を選択する中で、計画的に築後30年前後の市営住宅の改善工事を実施することにより長寿命化・安全対策を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
事業	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市営住宅条例、宇陀市営改良住宅条例
総合計画	基本計画　２－２－２　定住につながる環境づくり

R2年度事業の概要

川原・下川原団地屋根改善工事
集合住宅4棟8戸（簡易耐火構造）平成元年築
・屋根改善工事設計業務　1,477千円
・屋根改善工事監理業務　3,062千円
・屋根改善工事　44,625千円
・事務費　172千円
（合計）　49,336千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

【屋根改善工事（成果・見通し）】

団地名	建築年度	棟/戸数	年度（戸数）				
			H28	H29	H30	R元	R2
第１団地	S56	10棟 20戸	10	10			
第７団地	S58	10棟 20戸		14	6		
梅ノ木団地	S58	6棟 12戸			12		
芝生第１団地	S58	2棟 4戸		4			
芝生第2団地	S59	2棟 4戸		4			
協和団地	S59	8棟 15戸	14		1		
川原団地	H元	10棟 20戸				4	4
下川原団地	H元	11棟 22戸					4
計		59棟117戸	24	32	19	4	8

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	17,849
県　費	
市　債	31,400
その他	
一般財源	87
R2予算額	49,336
R元当初予算額	94,156
R元現計予算額	94,156
増減額	▲ 44,820

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	54,856	26,796
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	62,856	34,796
活動指標名	改善戸数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	19 単位 戸	4 単位 戸
単位当たりコスト　（円）	3,308,211	8,699,000

特定財源の状況

地域住宅政策交付金17,849千円
合併特例債　31,400千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
2. 移住定住の促進強化
(6)市営住宅等ストック総合改善事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈7-5-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	罹災者支援住宅補助事業

所管課	公営住宅課	（建設部）

事業の目的	宇陀市内で家屋が災害（火災または、風水害・土砂災害等の自然災害）により罹災し居住不能となった場合、民間賃貸住宅に避難した世帯に対し経費の一部を補助し生活再建を支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
事業	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市罹災者支援住宅補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要

補助対象経費
・家賃、礼金及び賃貸借契約に係る経費の一部
（ただし、敷金、共益費、駐車場使用料は対象外）
①礼金、諸経費
1件当たりの上限額　160千円（家賃の2ヶ月分）
②賃貸家賃
1件当たりの上限額　240千円（3ヶ月分）

（単位：千円）

負担金補助及び交付金	件数	1件当たり	合計
	1	400	400

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

住宅が居住不能となった場合、避難先となった民間賃貸住宅に係る家賃等の経費に対して補助することで、生活再建を支援する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	400
R2予算額	400
R元当初予算額	400
R元現計予算額	400
増減額	

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(12)罹災者支援住宅補助事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良県広域消防組合負担金事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

消防は国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災、風水害または地震等の災害を防除し、及びこれらの災害が起因の被害の軽減を任務としている。
奈良県広域消防組合は、平成26年4月に県内の各市町村が抱える課題を克服するため37市町村が構成する消防組合として設立し、組織体制の充実強化や財政基盤など様々なスケールメリットを実現し、安心安全なまちづくりの一躍を担っている。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	1	常備消防費
事業	1	常備消防費

根拠条例等	奈良県広域消防組合規約第１５条及び１６条
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

奈良県広域消防組合　宇陀消防署の主な事業
□車両購入　高規格救急車更新　28,500千円
□施設整備　宇陀署庁舎照明LED整備　2,435千円
　　高度救命処置シュミレーター　2,486千円

（単位　千円）

市町村名	比率	当初分担金
宇陀市	86.25%	940,446
曽爾村	6.66%	72,618
御杖村	7.09%	77,329

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀消防署に配備されている救急車は、広域化後の出動件数及び走行距離の増加と老朽化により、更新時期を迎えていることから、救急体制の充実強化を図るため更新する。また、空気呼吸器についても老朽化に伴い新たに広域消防で統一された機器により順次更新し、火災現場での安全と迅速な消火活動を確保する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	24,500
その他	
一般財源	915,946
R2予算額	940,446
R元 当初予算額	940,463
R元 現計予算額	940,463
増減額	▲ 17

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	984,145	940,463
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費　（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む　（千円）	984,225	940,543
活動指標名	市民一人当たり	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	30,900 単位 人	30,226 単位 人
単位当たりコスト　（円）	31,852	31,117

特定財源の状況

過疎対策事業債　24,500千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(10)奈良県広域消防組合負担金事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	女性消防団員活動育成事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

地域の高齢者や子どもの防火・防災意識を高めるために、宇陀市消防団女性部の活動を支援し、きめ細やかな広報・啓発活動を推進し、災害に強いまちを目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	2	非常備消防費
事業	1	本庁非常備消防費

根拠条例等	宇陀市消防団条例
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

宇陀市消防団女性部が活発に広報・啓発活動を行えるよう、その活動に必要な被服等を購入する。また、女性消防団員活性化大会へ参加する。

（単位　千円）

品目	予算額
女性消防団活性化大会旅費	105
女性団員制服（新入団員用）	153
合　計	257

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

女性団員は団長直轄の団本部に所属。管轄は宇陀市全域を対象に、女性の視点を活かした広報・啓発活動を様々な機会を通して行い、市民の防火・防災意識を高める。

【活動内容】
①火災予防、地域防災に関する広報、啓発活動
②応急手当の普及活動
③消防団や関係機関が行う主要行事への参加
④災害時の後方支援

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	258
R2予算額	258
R元 当初予算額	351
R元 現計予算額	351
増減額	▲ 93

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	163	351
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	563	751
活動指標名	団員数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	17 単位 人	19 単位 人
単位当たりコスト　（円）	33,118	39,526

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(11)消防団活動の充実・支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防団装備充実事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	災害現場や風水害等の災害での活動時の安全を確保するため、消防団の装備の基準等に基づき計画的に安全装備の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	2	非常備消防費
事業	1	本庁非常備消防費

根拠条例等	宇陀市消防団条例
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

4年計画の1年目

（単位　千円）

品目	単価(税込)	数量	合計
雨衣	9,350	250	2,338

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

雨衣を配備することで、災害時の消防団員の活動性を高める。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	2,338
一般財源	
R2予算額	2,338
R元 当初予算額	447
R元 現計予算額	447
増減額	1,891

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		447
従事職員数【人工】		0.10
人件費　（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む　（千円）		1,247
活動指標名	配備数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績(見込)	単位	140　単位　個
単位当たりコスト　（円）		8,907

特定財源の状況

雑入（安全装備品整備等助成金）　259千円
ふるさと応援基金繰入金　2,079千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(11)消防団活動の充実・支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防団員報酬・出動手当等

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

消防団の充実強化を図り、地域の防災力を向上させ、安全で安心な地域づくりを推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	2	非常備消防費
事業	1	本庁非常備消防費

根拠条例等	宇陀市消防団条例
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

宇陀市消防団における団員の福利厚生並びに車両やポンプ等の資機材維持保全に充てる。

（単位　千円）

内容	予算
団員報酬	27,803
出動手当	3,608
ポンプ整備手当	1,800

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

消防団の充実強化を図り、地域の防災力を向上させ、安全で安心な地域づくりを推進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	33,211
R2予算額	33,211
R元当初予算額	32,907
R元現計予算額	32,907
増減額	304

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	31,966	32,307
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	43,966	44,307
活動指標名	団員数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	970 単位 人	932 単位 人
単位当たりコスト　（円）	45,326	47,540

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(11)消防団活動の充実・支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安全・安心メール配信事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的
携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。また、消防団員等の緊急連絡として活用することにより、迅速な災害対応を行う。 さらに、市からのお知らせやイベント情報等の配信により市民サービスの向上を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要
[配信内容] 火災情報、気象情報、防犯・安心情報、くらしの情報、イベント情報 [登録用メールアドレス] t-uda@sg-m.jp [メール種別] ①住民用　②学校・こども園等保護者用 ③消防団員用　④市職員用 ・使用料及び賃借料　1,056千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
●大規模災害時において、市の防災体制が有効に機能するよう、職員個人・組織の災害対応能力を向上させるとともに、防災関係機関との連携を強化するための訓練・研修を実施し、防災力の向上を目指す。 ●災害情報の伝達力強化と普及促進 安全・安心メールの登録促進

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,056
R2予算額	1,056
R元当初予算額	1,046
R元現計予算額	1,046
増減額	10

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	778	1,046
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	1,178	1,446
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	8,000 単位 人	8,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	147	181

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (4)防災・防犯情報及び学校安全安心メール配信事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	すぐメールプラス導入・配信事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。また、消防団員等の緊急連絡として活用することにより、迅速な災害対応を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要	高齢者世帯、障がいのある方などの要配慮者を対象に防災情報などを電話またはファックスに自動配信することで、すばやく確実な情報伝達を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	自力で避難することが困難な高齢者や障がい者等へ災害情報を確実に伝達することで、安心・確実に避難を行う態勢を構築する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	990
一般財源	829
R2予算額	1,819
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,819

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
ふるさと応援基金繰入金 990千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (18)すぐメールプラス事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市ハザードマップ更新事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

平成30年度に菟田野、室生の土砂災害特別警戒区域の指定及び宇陀川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の見直しが行われ、令和元年度には大宇陀、榛原の土砂災害特別警戒区域の指定及び芳野川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の見直しが行われることから、被害の軽減や防止対策として、更新を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	1	災害対策費

根拠条例等	宇陀市地域防災計画
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

令和元年度に菟田野・室生地域のマップデータを作成しており、令和2年度で大宇陀・榛原地域のマップデータを作成する。データ作成後に従来の地域別マップから市内全域のハザード地域を掲載した冊子形式に更新し、全世帯へ配布する。

（単位：千円）

科目	予算額	主な内容
需用費	1,694	印刷製本費
委託料	1,441	データー更新
	669	各戸配送業務（12,000部）
合計	3,804	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●令和元年度に菟田野・室生の全世帯に配布する予定であったが、大宇陀・榛原地域の特別警戒区域の公表が早まったことにより、市内全域のハザード地域を一冊の冊子として全世帯に配布。
●住民の防災意識の高揚を図り、水害や土砂災害等の非常時に安全かつ的確な避難行動が行えるよう啓発する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,902
県　費	
市　債	
その他	1,902
一般財源	
R2予算額	3,804
R元当初予算額	1,229
R元現計予算額	1,229
増減額	2,575

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		388
従事職員数【人工】		0.20
人件費　（人工×8,000千円）		1,600
総事業費：人件費含む　（千円）		1,988
活動指標名	市内世帯数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	単位	13,000　単位　世帯
単位当たりコスト　（円）		153

特定財源の状況

減災対策交付金
1,902千円
ふるさと応援基金繰入金
1,902千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(1)ハザードマップ更新事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市地域防災計画修正事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	宇陀市地域防災計画は、災害対策基本法第42条の計画に基づく法定計画であり、国、県の指針に基づき改定を行う必要がある。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

宇陀市地域防災計画の見直し

（単位：千円）

科目	予算額	主な内容
委託料	5,208	地域防災計画修正業務
合計	5,208	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

現行計画は平成28年3月に作成されており、組織名称の変更、数値データの更新等のほか、法律の改正や近年の災害対応の教訓を踏まえた対策（中央防災会議）、奈良県地域防災計画の改定等の内容との整合を図る時点修正が必要のため、本計画を修正する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,208
R2予算額	5,208
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	5,208

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(13) 地域防災計画修正事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立促進・資機材購入補助事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	地域住民が災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子どもまで協力して安全で安心に暮らせる地域づくりの一環とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	2	地域防災強化事業費

根拠条例等	宇陀市地域防災計画
総合計画	基本計画　２－４－１　災害の未然防止対策の推進

R2年度事業の概要	自主防災組織を結成した組織について必要最小限度の資機材を備えさせるために資機材の整備について「宇陀市自主防災組織の資機材の整備に係る補助金交付要綱」に基づき一定の補助金を交付する。 交付額は、25世帯以上の団体は当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1の金額または、基本額50,000円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のどちらか低い額を交付する。ただし、25世帯未満の団体は基本額を25,000円とする。

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	結成された自主防災組織に必要最小限の資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。

（単位　千円）

科目	予算額	主な内容
負担金、補助及び交付金	200	自主防災組織育成事業補助金
負担金、補助及び交付金	500	自主防災組織資機材補助金
合　計	700	

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	700
R2予算額	700
R元当初予算額	1,000
R元現計予算額	1,000
増減額	▲ 300

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	192	1,000
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	3,392	4,200
活動指標名	補助団体数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	2 単位 団体	4 単位 団体
単位当たりコスト　（円）	1,696,000	1,050,000

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現 (2) 自主防災組織設立の促進 (3) 自主防災組織資機材購入補助事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	コミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業である地域防災組織育成助成事業を活用し、地域の自主防災力向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	2	地域防災強化事業費

根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要	宝くじの収入を財源として一般財団法人自治総合センターがコミュニティー活動に助成を行うことにより、安全な地域づくり、宝くじの社会貢献広報事業を行う。 募集にあたっては、市内自主防災組織75団体に周知を行ったところ、応募申請9件に対して、令和2年3月30日付けにより、1団体（龍口自主防災会）が採択された。 事業内容　防災活動に係る発電機他防災資機材の整備 採択件数　1団体 事業費　1,900千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	結成された自主防災組織に必要な資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	1,900
一般財源	
R2予算額	1,900
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,900

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位　人	単位　人
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
雑入（自治総合センターコミュニティ助成金）　1,900千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり (4)コミュニティ活動助成事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防災行政無線システム維持管理事業費

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

災害時に電話等の通信網の途絶や、停電等が発生した場合にも通信手段を確保し、市民に対して避難勧告等必要な情報提供体制を整える。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	3	防災行政無線システム維持管理事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

災害時の情報伝達手段である宇陀市防災行政無線同報系（中継局2局、再送信局10局、拡性子局183局、個別受信機、文字表表示装置）及び移動系無線の適切な管理、運用及び保守業務を行う。

（単位：千円）

科目	予算額	主な内容
需用費	2,438	燃料費、光熱水費、修繕料
役務費	171	通信運搬費、手数料
委託料	13,020	保守点検
使用料及び賃借料	540	借地料、電波利用料等
工事請負費	374	防災無線受信機設置工事
合計	16,543	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●災害時の情報収集を迅速かつ的確に行い、市民に対し避難勧告等の必要な情報を発信し、情報不足によるパニック発生を防止する。
●大地震等発災時における市民への迅速かつ正確な災害情報の伝達を行うための機器の整備・管理。
●放送が聞き取りにくい地域について調査等を実施し、無線放送局の方向・音量の調整、無線子局の新設、対策を講じていきます。その他、無線子局からの放送内容を伝達する補完手段して整備した「安全・安心メール」配信サービス、「電話応答サービス」に周知に努める。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	16,543
R2予算額	16,543
R元 当初予算額	17,984
R元 現計予算額	17,984
増減額	▲ 1,441

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	17,512	17,984
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	20,712	21,184
活動指標名	市民一人当たり	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	30,900 単位 人	30,226 単位 人
単位当たりコスト　（円）	670	701

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(5)防災行政無線システム維持管理事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-4〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	災害時備蓄用品整備事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	災害対策基本法の改正により、避難所における生活環境の整備が努力義務とされている。本事業は、避難所で必要となる食料や物品を計画的に備蓄するとともに、避難者へ迅速に備蓄物資が配布できるよう努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	4	避難所設備強化事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

備蓄品及び資機材の購入

（単位：千円）

科目	予算額	主な内容
需用費	3,043	備蓄品及び資機材購入費
委託料	370	災害時用毛布ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
合計	3,413	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●備蓄品は、消費期限による入れ替えや避難所開放時にすぐ対応できるよう必要最低限の備品をエマージェンシーボックスに収納している。
●災害用の備蓄物品は進化が著しく、長期保存が可能な飲料水をはじめ、よりコンパクトで利便性の高い製品などが開発されている。これまでも個々の備蓄品の必要性や保管スペースも考慮しながら、品目・数量の見直しを行い、入れ替えを行っている。引き続き避難所運営に有効な資機材を見極め、かつ、計画的な入れ替えを行い、常に使用可能な状況を確保すること及び必要な物資を必要な場所に効率的に供給する方法を検討していく。
●学校防災倉庫がない学校や十分な備蓄スペースを確保できない学校が多いため、学校内及び学校周辺に必要最低限の備蓄品を置くことができるよう教育委員会等と調整を図っていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	3,000
一般財源	413
R2予算額	3,413
R元 当初予算額	3,427
R元 現計予算額	3,427
増減額	▲ 14

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,909	3,427
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	6,109	6,627
活動指標名	指定緊急避難場所数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	30 単位 箇所	30 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	203,633	220,900

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金
3,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(6)災害時備蓄用品整備事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-5〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	避難行動要支援者対策事業費

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

平成25年6月に災害対策基本法改正により、災害時要支援者のうち特に避難支援を必要とする避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられた。このことから、本人の同意による登録者名簿を警察、消防、地域関係者等へ提供し、名簿を活用した実効性のある避難支援体制の構築、避難行動計画の作成に向けた支援を行っていく。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	5	避難行動要支援者対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

市は、災害時における避難行動要支援者の安全を確保するため、以下の支援対策を実施する。
・避難行動要支援者名簿の更新
・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成
・地域における支援体制のネットワークづくり
・災害時における避難行動要支援者への情報伝達体制の確立
・災害時における避難支援短期入所事業の実施
・安否確認体制の確立
・指定避難所における避難行動要支援者相談窓口の設置

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●災害時に必要な支援が受けられる対策を行うとともに、平常時から地域で安心して生活できるよう支援を行う。
●自治会や自主防災組織、介護サービス事業者等と連携を図りながら避難が困難な方の支援体制の確立を図る。

（単位：千円）

科目	予算額	主な内容
役務費	189	避難行動要支援者台帳郵送料
委託料	462	避難行動要支援者システム保守点検等
合計	651	

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	651
R2予算額	651
R元 当初予算額	619
R元 現計予算額	619
増減額	32

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	401	619
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	3,601	3,819
活動指標名	申請者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	1,500 単位 人	2,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,401	1,910

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
(17)避難所行動要支援対策整備事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-5-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	防火水槽整備事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	地震災害発生時に必要不可欠な耐震性を有した防火水槽の整備拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	5	消防施設費
事業	1	本庁消防施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要	耐震性防火水槽2基（40㎥型）を新設する。

（単位　千円）

科目名	予算額
工事請負費	18,529

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	消火栓を除く消防水利の空白地を対象に、防火水槽の整備拡充を図ることで、災害に強いまちづくりを推進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	5,486
県　費	
市　債	12,900
その他	
一般財源	143
R2予算額	18,529
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	18,529

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
消防防災施設整備費補助金　5,486千円 合併特例債　12,900千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現］ (11)消防団活動の充実・支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-5-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防施設保全管理事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	消防力の強化・維持を図るため、消防施設の保全、整備を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	5	消防施設費
事業	1	本庁消防施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

①防火水槽修繕　3箇所　②消火栓修繕　4箇所
③火の見櫓撤去　3箇所　④消防不要品廃棄処分
⑤ホース格納ボックス及び消火器ボックスの撤去　2箇所
⑥防火水槽撤去　1箇所　⑦消防機庫修繕　3箇所

（単位　千円）

科目名	予算額	備考
需用費	2,000	防火水槽・消火栓等修繕
役務費	200	消防備品廃棄処分料
工事請負費	1,671	防火水槽撤去等
原材料費	77	
合計	3,948	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

消防施設等について、適切な維持修繕を行い、緊急時の災害活動が的確かつ迅速に行えるよう、保全管理に努める。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,948
R2予算額	3,948
R元 当初予算額	3,074
R元 現計予算額	3,074
増減額	874

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,309	3,074
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	3,909	4,674
活動指標名	保全箇所	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	17 単位 箇所	12 単位 箇所
単位当たりコスト　（円）	229,941	389,500

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現]
(11)消防団活動の充実・支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校規模適正化検討事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	宇陀市における児童生徒の減少等により、今後、想定される学校規模等の課題に計画的に対応するため、教育委員会の附属機関として、宇陀市学校規模適正化検討委員会を設置し、今後の望ましい教育環境（学校規模・学校配置等）の在り方について審議する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	1	本庁事務局費

根拠条例等	宇陀市学校規模適正化検討委員会条例
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	宇陀市学校規模適正化検討委員会を開催（5回程度予定）するにあたって、委員の報酬及び旅費を計上する。 【報酬】 会長　7,800円×1/2×1人×5回＝19,500円 委員　6,800円×1/2×10人×5回＝170,000円 【旅費】 690円×2(往復)×5日×2人＝13,800円 （15km×2）×37円×5日×9人＝49,950円 そのほか、地域との意見交換会の開催、中間答申の公表、パブリックコメントの実施、最終答申の作成・公表を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	令和元年度に教育委員会の附属機関として設置する。 小・中学校の適正規模・訂正配置等に関する基本的な考え方について審議する。 【諮問事項】 (1)　宇陀市立小・中学校の規模の適正化に関する基本的な考え方について (2)　宇陀市立小・中学校の配置の適正化に関する基本的な考え方について なお、令和2年度末に最終答申を出す予定である。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	254
R2予算額	254
R元当初予算額	139
R元現計予算額	139
増減額	115

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度　(見込)
決算額又は決算見込額　(千円)		139
従事職員数【人工】		0.20
人件費　(人工×8,000千円)		1,600
総事業費：人件費含む　(千円)		1,739
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 2.子どもたちの教育環境の充実 (8)学校規模適正化検討事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	スクールバス購入事業（菟田野こども園）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

令和2年度に開園予定の菟田野こども園に通園する園児の安全な通園支援を行うためスクールバスを2台購入する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

幼児39人乗りバス1台及び幼児18人乗りバス1台を購入し、菟田野こども園児の通園支援を行う。

（単位：千円）

項　目	積　算	予算額
バス車両	8,173,110円＋4,780,400円	12,954 千円
登録手数料	44,280円×2台	89 千円
自賠責保険料	16,220円×2台	33 千円
リサイクル料	24,950円×2台	50 千円
自動車重量税	12,300円＋16,400円	29 千円
	合計	13,155 千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

幼児、児童、生徒の安全な通園通学支援を行うことを目標とする。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	12,900
その他	
一般財源	255
R2予算額	13,155
R元 当初予算額	13,666
R元 現計予算額	
増減額	▲ 511

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		13,666
従事職員数【人工】		1.00
人件費　（人工×8,000千円）		8,000
総事業費：人件費含む　（千円）		21,666
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

過疎対策事業債　12,900千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1. 健幸なまち
3. 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
（10）菟田野こども園建設事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	旧宇賀志小学校及び関連施設解体撤去事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

旧宇賀志小学校について、周辺施設をあわせ解体撤去し跡地活用するに当たり、解体撤去工事を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

（単位:千円）

科目		予算額
事務費		1,472
委託料	工事監理業務委託料	8,932
	廃棄物処理委託料	166
工事請負費	旧宇賀志小学校及び関連施設解体工事	231,220
合　計		241,790

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

旧宇賀志小学校校舎、プール等関連施設、旧宇賀志地区体育館、旧宇賀志保育所について、解体撤去工事を行い、跡地に消防機庫、集会所を建設し跡地活用を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	10,551
県　費	
市　債	58,000
その他	
一般財源	327
R2予算額	68,878
R元当初予算額	11,093
R元現計予算額	11,093
増減額	57,785

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		7,033
従事職員数【人工】		2.00
人件費　（人工×8,000千円）		16,000
総事業費：人件費含む　（千円）		23,033
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　10,551千円
過疎対策事業債　58,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
（16）旧宇賀志小学校及び関連施設解体撤去事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈9-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	学校施設長寿命化計画策定事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	小中学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するため本計画を策定する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	現在、開校している小学校6校、中学校4校の令和2年度から令和11年度までの10年間を計画期間とした長寿命化計画を策定する。 委託料　13,000千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	当計画に基づき、各小中学校の改造・修繕を行うことにより計画的・効果的な教育環境の改善を図る。また、当計画の策定が国庫補助を受けるための条件となっている。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	13,000
R2予算額	13,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	13,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4. 生涯輝くまち 2. 子どもたちの教育環境の充実 (7)学校施設長寿命化計画策定事業

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈9-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	プログラミング教育推進事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的
宇陀市では新学習指導要領におけるプログラミング教育を先行実施する目的で、小中学校における教材準備や指導者養成を行っている。 小・中学校におけるプログラミング教育のさらなる充実と、プログラミング教育における小中の連携の推進のために本事業を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要
①モデル校における実践研究の実施 ロボット使用料　323千円 ②講師・アドバイザー謝礼 研修会講師　30千円 プログラミング教育推進会議アドバイザー　60千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
小学校におけるプログラミング教育の充実と、中学校における教材の活用。さらにプログラミング教育教材や指導内容における小中の連携の推進を図る。 専門講師を招いて、教職員の資質向上のための研修会を開催する。 宇陀市として、更なるプログラミング教育推進のため、プログラミング教育推進会議を開催する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	413
R2予算額	413
R元当初予算額	875
R元現計予算額	875
増減額	▲ 462

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,591	875
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	3,991	3,275
活動指標名	児童（生徒）数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,170 単位 人	1,772 単位 人
単位当たりコスト　（円）	3,411	1,848

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 2.子どもたちの教育環境の充実 (2)プログラミング教育推進事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	1	本庁事務局費

根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯である者に入学支度金を支給する。 （負担金、補助及び交付金） 大学等　120,000円×4人 専門学校　120,000円×1人 専修学校　60,000円×2人 高等学校　60,000円×10人
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	修学困難な生徒に対し修学奨励費を支給することにより、市の教育環境づくりを推進する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,320
R2予算額	1,320
R元当初予算額	1,320
R元現計予算額	1,320
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	840	720
従事職員数【人工】	0.08	0.08
人件費　（人工×8,000千円）	640	640
総事業費：人件費含む　（千円）	1,480	1,360
活動指標名	支給人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	11 単位 人	9 単位 人
単位当たりコスト　（円）	134,545	151,111

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4. 生涯輝くまち 2. 子どもたちの教育環境の充実 (5)子ども達の就学の経済的支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-5〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	グローバル教育推進事業（サイエンスラボ・JAXA学校教育支援）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

幼児、児童、生徒が科学（化学）への興味関心を高め、自然の事物・現象等についての理解を図り、科学（化学）的な見方や考え方を養う事を通して、学力向上に資する事を目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科目		予算額	備考
需用費	消耗品	20	JAXA･サイエンス
負担金	講師派遣負担金	186	JAXA　48,560円×3回
			ｻｲｴﾝｽ　2,000円×10人×2回
合計		206	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

奈良県立青翔中学校・高等学校の科学部員による実験の実施やJAXA学校支援事業による小学校、こども園等へ要望に応じた宇宙に関する学習等を実施し、これらの事業を通して、宇陀市内の幼児、児童・生徒の科学や宇宙についての興味・関心を高めることができる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	206
R2予算額	206
R元当初予算額	206
R元現計予算額	206
増減額	

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	137	146
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	537	546
活動指標名	実施回数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	6 単位 回	5 単位 回
単位当たりコスト（円）	89,500	109,200

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-5〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	グローバル教育推進事業（英語スピーチコンテスト）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市内各学校で行われている外国語活動や英語学習の成果を発表し交流することを通して、更に興味を持って取り組もうとする国際性豊かな児童・生徒を育成することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要

（単位:千円）

科目		予算額	備考
報償費	記念品	54	トロフィー、参加賞
需用費	消耗品費	10	賞状用紙他
負担金	職員研修負担金	6	旅費負担金
合計		70	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

市内中学生を対象として行うスピーチコンテストでは、教科書などの教材や自作の原稿を暗唱したり、グループでドラマ化し英語で演じたりと工夫を凝らし楽しく参加している。その過程で、ALT等を活用し、よりネイティブに近い発音で練習することで、「話す」能力の向上につながっている。また、一度参加した生徒は、二度、三度と挑戦しており、英語を話すことについての「意欲」を高める結果にもなっている。また、参加した生徒が自校でスピーチを披露することにより、より多くの生徒に対しての英語学習へのモチベーションの高まりを期待している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	70
R2予算額	70
R元 当初予算額	113
R元 現計予算額	113
増減額	▲ 43

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	44	79
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費　（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む　（千円）	444	479
活動指標名	参加人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	46 単位 人	15 単位 人
単位当たりコスト　（円）	9,652	31,933

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
2.子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-5〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不登校児童生徒支援事業（適応指導教室”はばたき”）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒へ心理面のアプローチにより自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱、宇陀市適応指導教室設置要領
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

大宇陀地域事務所内の1室にて教室運営
令和元年度は週2日（水・金、学校の長期休業中は休み）開室

（単位:千円）

科目		予算額	備考
会計年度任用職員人件費		6,599	報酬、期末手当等
需用費	消耗品費・燃料費	84	消耗品、検査用紙、灯油代
役務費	通信運搬費	60	電話代
使用料及び賃借料	通行量及び駐車料金等	2	交流会バス使用代
合計		6,745	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

現在、正式通室者が中学生6名で、部分復帰が4名いる。この内、中学校卒業に伴う卒室者が4名、高校進学を控えている。
様々な事情で不登校、不登校傾向にある児童生徒が上記以外に小学生で4名、中学生で12名在籍しており、今後は学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけ、学校復帰ができるようにする。
なお、指導員は心理士が2名で、令和元年度に、はばたきへの直通電話を開設済みである。また、令和2年度に事務職員の学習支援員との兼務を予定している。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	6,745
R2予算額	6,745
R元 当初予算額	6,579
R元 現計予算額	6,579
増減額	166

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,098	5,763
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	8,698	7,363
活動指標名	開室回数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	82 単位 回	83 単位 回
単位当たりコスト　（円）	106,073	88,711

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
2.子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-6〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	スクールカウンセラー設置事業（児童生徒のカウンセリング）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

市立小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置し、いじめ、不登校等の未然防止・解決を図るとともに、児童生徒の問題行動に的確に対応することを目的とする。児童生徒、保護者の心の相談にあたるとともに、教職員のカウンセリングマインドを高め、問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決に役立てる。

また、様々な事情により不登校となっている児童生徒に対し家庭事情、家庭環境も含め関係機関と連携を取れるスクールソーシャルワーカーを設置し、家庭支援も含めた活動を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	6	スクールカウンセラー設置事業（インセンティブ事業）

根拠条例等	宇陀市スクールカウンセラー設置要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

市立小学校及び中学校にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを設置する。

（単位:千円）

科目		予算額	備考
会計年度任用職員人件費		7,156	報酬、期末手当等
需用費	消耗品費	150	発達検査用紙他
合計		7,306	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

県費スクールカウンセラーが配置されていない小学校6校に、週3回派遣しているが、必要に応じて要望があれば中学校にも派遣しており、需要が大きい。

適応指導教室はばたきや通級指導教室ほほえみ及び教育相談の相談員、指導主事及び事務員が集まり、毎月情報交換を行い、共通理解し連携が図れた。

また、スクールソーシャルワーカーを新たに設置し、家庭支援も含めた活動を行い、不登校等への対策を行う。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	1,455
県　費	840
市　債	
その他	
一般財源	5,011
R2予算額	7,306
R元当初予算額	3,651
R元現計予算額	3,651
増減額	3,655

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,355	3,431
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	4,155	4,231
活動指標名	派遣日数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	131 単位 日	130 単位 日
単位当たりコスト　（円）	31,718	32,546

特定財源の状況

児童虐待防止対策支援事業補助金 615千円
子ども・子育て支援交付金（国費） 840千円
子ども・子育て支援交付金（県費） 840千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	英語指導助手設置事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。
外国語活動においては、音声を中心に慣れ親しませる活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	101	教育センター事業費（外国語指導助手設置等事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要

令和2年度より実施される「新学習指導要領」では、小学校5～6年生で英語が教科化され、3～4年生で外国語活動が実施されるため、更にALT事業の充実を図る。
【小学校】
小学5～6年生　1クラス　年間30回
小学3～4年生　1クラス　年間15回
小学1～2年生　1クラス　年間10回
【幼稚園等】
各園・所を訪問し英語活動を実施する。　年間10回

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

○令和元年度の取り組みについて各校からの報告
・ネイティブの発音が児童に力をつけている。
・外国人との交流は、コミュニケーション能力の向上と外国語学習の大いなる動機付けになっている。
・英語だけでなく異文化に触れることができ、多様なものの見方や考え方があることに気づくことができる。
・教師の英語力の向上につながる。

今後もALTを活用したチーム・ティーチングの仕方を工夫するなど、より効果的な外国語授業の充実を図るとともに子ども達の英語学習への環境づくりが必要である。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	7,711
R2予算額	7,711
R元当初予算額	6,891
R元現計予算額	6,891
増減額	820

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,806	6,797
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	6,606	7,597
活動指標名	配置人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	2 単位 人	2 単位 人
単位当たりコスト　（円）	3,303,000	3,798,500

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
2.子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈9-1-2-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	オンラインスピーキングトレーニング実施事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	グローバル化への対応を目指し、令和2年度から小学校5、6年生で外国語科が本格実施されることを受け、教師の英語力の向上、児童の外国語・英語への関心を深め、学力向上を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	101	教育センター事業費（外国語指導助手設置等事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要	オンラインスピーキングシステムを導入し学習指導要領に対応したカリキュラムに沿った教材を用いて実践的なスピーキング力・リスニング力を向上させる。 小学6年生　55回線×10回×@1,320円＝726,000円 教職員　12回線×4回×@1,320円＝63,360円 インストール・セットアップ手数料　350,000円
事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）	令和元年度は、オンラインスピーキングシステムを全小学校に導入し実践した。児童が直接初対面のネイティブスピーカーと1対1で英会話を行う。児童は、身に付けた英語を使って生のコミュニケーションを体験した。指導者からは、子どもたちは意欲的に会話を行い、ネイティブな発音を試みる児童の姿が特徴的で良い事業であるという感想があった。令和2年度から5、6年生では、英語科（教科化）として授業数が週2回となる。単にALTの授業数を増やすのではなく、子どもの英語への意欲と日本人教師の英語力を高めることで、学校の英語教育力を向上し、持続的な教育活動を展開する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,140
R2予算額	1,140
R元当初予算額	850
R元現計予算額	850
増減額	290

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	878	850
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,678	1,650
活動指標名	実施回数・人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,260 単位 人・回	1,561 単位 人・回
単位当たりコスト　（円）	1,332	1,057

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 2.子どもたちの教育環境の充実 (4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-102〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学力・学習状況調査

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	102	教育センター事業費（学力・学習状況調査）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	小学校5年生、中学校1年生を対象とし、「令和2年度標準学力調査」を実施する。 対象人数 小5…190人 中1…215人
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	この調査を実施することにより、文部科学省が実施している学力・学習状況調査と合わせ、小学校5年生から中学校3年生までの6年間を通した同一集団における学力の推移を把握することが可能となる。 また、教科（国語、算数・数学）学力と生活・学習意識との相関から課題を明らかにし、教育指導に生かすことで学力の向上を図っていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	306
R2予算額	306
R元当初予算額	529
R元現計予算額	529
増減額	▲ 223

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	676	285
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	3,076	2,685
活動指標名	対象人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	654 単位 人	396 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,703	6,780

特定財源の状況	

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 2.子どもたちの教育環境の充実 (4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈9-1-2-103〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	教育相談事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

発達や不登校についての親子や教職員の悩みを心理的な立場から相談、アドバイスを行い少しでも解消を図る。また、就学に向けての就学相談を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	103	教育センター事業費（教育相談事業）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

臨床心理士等による教育相談、就学相談を実施する。

（単位：千円）

科目		予算額	備考
報償費	講師謝礼	466	就学指導にかかる就学相談
需用費	食糧費	15	湯茶代
合計		481	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

臨床心理士による教育相談を実施する。
発達障害や不登校についての悩みを持った保護者の方が多いなか、心理専門の相談員による、相談や発達検査を行う。
保護者からの相談は継続するケースが多く、相談件数は増加傾向にある。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	481
R2予算額	481
R元当初予算額	598
R元現計予算額	598
増減額	▲ 117

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	499	472
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費　（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費：人件費含む　（千円）	3,699	3,672
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	61 単位 件	58 単位 件
単位当たりコスト　（円）	60,639	63,310

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもたちの感性・想像力を育成する事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的
幼児の情操教育の一環として、本物に触れ、豊かな感性や表現力、優しさや想像力を養うために行う。また中学3年生を対象に家族の絆、命の大切さなどについて理解を深めることで、規範意識向上等を図る。さらに小学6年生を対象に生のオーケストラの演奏に触れることにより、芸術への興味・関心を高め、心豊かな子どもたちの育成を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	104	教育センター事業費（子どもたちの感性・想像力を育成する事業）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要
市内の公立幼稚園、保育所、こども園の3、4、5歳児が集まり、人形劇を鑑賞する機会を持つ。（人形劇鑑賞　270,000円） 市内の中学3年生を対象に助産師等から、生命の誕生や胎児の成長について話を聴いたり、妊婦体験をする。（講師謝礼　50,000円） 市内の小学6年生を対象に宝くじ文化公演事業を活用し、生のオーケストラを鑑賞する機会を提供する。（入場料　230,000円）

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
宇陀市文化会館に市内の公立幼稚園、保育所、こども園の3～5歳児（350人）が集まり、おひさま楽団による「おひさまコンサート」～歌って、おどって、作って、聴いて～を楽しんだ。五感に働きかける楽しい経験や感動は、幼児の情操を高め、普段の生活の興味や意欲につながった。今後も想像力を高め夢を持ちながら、子ども達が健やかに育ってほしいと考える。 市内4中学校で3年生を対象に助産師等の講演や体験談を聴くことで、改めて命の大切さや親の気持ちを理解することで自己の存在価値についても改めて認識することが出来た。令和2年度は、小学6年生に対象を拡大し、事業を実施する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	230
一般財源	320
R2予算額	550
R元当初予算額	240
R元現計予算額	240
増減額	310

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	203	237
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	1,803	1,837
活動指標名	参加人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	627 単位 人	562 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,876	3,269

特定財源の状況
ふるさと応援基金繰入金 230千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 2.子どもたちの教育環境の充実 (4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈9-1-2-105〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	教職員の指導力・質の向上事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市の教育の諸課題に即応して円滑な運営を図り、教育の充実発展に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	105	教育センター事業費（教職員の指導力・質の向上事業）

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

（単位:千円）

科目		予算額	備考
報償費	講師謝礼	740	各種研修講師謝礼
旅費	普通旅費	16	心理士他出張旅費
需用費	消耗品費等	192	消耗品等
	印刷製本費	116	指導指針等印刷代
役務費	郵送料	3	教育センター事業郵送料
負担金、補助及び交付金	研修負担金	140	調査･研究　指定校補助金等
合計		1,207	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

教職員研修、特別支援教育専門家チーム派遣、保育の質向上研修等を行っている。
教職員研修については、講師として大学教授、弁護士などの専門家に授業等の進め方や学校管理・運営についての講演を主として講演していただき、大変参考になったと好評である。特別支援教育心理等専門家チーム派遣については、実際の学校生活における子どもの様子を見ていただいた上での指導・助言を得ることができることもあり特別支援学級入級者の増加する中、現場からの要望が多い。
また、今後の小中連携を見据えた調査研究を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	150
県　費	200
市　債	
その他	
一般財源	857
R2予算額	1,207
R元当初予算額	1,347
R元現計予算額	1,347
増減額	▲ 140

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	920	1,047
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	8,920	9,047
活動指標名	研修回数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	48 単位 回	48 単位 回
単位当たりコスト　（円）	185,833	188,479

特定財源の状況

子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金　150千円
学力向上実践研究推進事業委託金　200千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(1)教職員の指導力・質の向上事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-2-1-12〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	通級指導教室（”ほほえみ”教室）設置事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、社会性に困難さを抱えている子どもに応じた教育課程のもと支援を行う。
②ことばやコミュニケーション、社会性に困難さを抱えている児童に、適切で専門的な指導（保護者や教職員に対しても）を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、生き生きとして社会生活を送れるように支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
事業	12	通級指導教室費

根拠条例等	学校教育法施行規則（第140条）、宇陀市通級指導教室設置要領
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科目		予算額	備考
会計年度任用職員人件費		3,137	報酬、期末手当等
旅費	普通旅費	10	巡回指導旅費
需用費	消耗品	181	検査用紙他
	燃料費	19	ほほえみ教室灯油代
	修繕料	60	通級指導教室修理費用
役務費	通信運搬費	84	電話ネット通信料金
備品購入費	学校管理備品費	327	ほほえみ教室備品代
負担金	各研究会負担金	9	研究会費他
合計		3,827	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

保護者や教職員から宇陀市に教室があって良かった。指導内容も子どもに合っており子どもが成長したとの声がある。小学校教諭もアドバイスを受けることで、より適切な指導が可能となり教室でも成長を感じているとの声がある。年々通級児童が増加し、指導時数が増え、また他校通級は放課後に集中し、曜日の希望も重なっているので指導時間の確保が難しい。平成27年度からは幼児の教育相談・指導は打ち切り、小学生の指導を優先している。

今後は、対象児童の教室に出向き観察することで教職員へのアドバイスや情報共有ができるので、このまま継続して運営を行い、さまざまなニーズの子どもたちへの教育支援を保障していきたい。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	3,827
R2予算額	3,827
R元 当初予算額	3,823
R元 現計予算額	3,823
増減額	4

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,514	3,423
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	3,314	4,223
活動指標名	指導人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	29 単位 人	27 単位 人
単位当たりコスト　（円）	114,276	156,407

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業（小学校）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	1	本庁小学校教育振興費

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

経済的理由によって就学が困難な生徒の解消を目的とする。

（単位：千円）

項　目	予算額	備　考
特別支援教育就学奨励費	1,951	給食費・校外学習費・学用品費等
要保護児童就学援助	53	修学旅行費等
準要保護児童就学援助費	7,172	給食費・校外学習費・学用品費等
被災児童生徒就学援助費	95	給食費・校外学習費・学用品費等
合　計	9,271	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

就学援助費を支給することによって、経済的負担を軽減し、児童の就学を支援し、安心で豊かな教育環境を整備する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,091
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,180
R2予算額	9,271
R元当初予算額	9,315
R元現計予算額	9,315
増減額	▲ 44

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,505	9,315
従事職員数【人工】	0.17	0.17
人件費　（人工×8,000千円）	1,360	1,360
総事業費：人件費含む　（千円）	8,865	10,675
活動指標名	支給人数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績（見込）	150 単位 人	146 単位 人
単位当たりコスト　（円）	59,100	73,116

特定財源の状況

要保護児童援助費補助金　21千円
特別支援教育就学奨励費補助金　975千円
被災児童就学等支援事業補助金　95千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(5)子ども達の就学の経済的支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	部活動指導員配置事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	教員の働き方改革 ・部活動指導にかかる時間を軽減し教材研究や生徒との面談等の時間確保 ・経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減 部活動の質的向上

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
事業	1	本庁中学校管理費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要	部活動指導員旅費 1,850円×6人×12月 ＝ 133,200円 会計年度任用職員報酬　1,527,552円 費用弁償　303,600円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	○教員の働き方改革 ・部活動指導にかかる時間を軽減し教材研究や生徒との面談等の時間確保 ・経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減 部活動の質的向上 ・正しい理解に基づく技術の向上 ・生徒の能力に応じた適切な練習方法の導入 ・想定される事故・けがの未然防止

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	1,220
市　債	
その他	
一般財源	745
R2予算額	1,965
R元当初予算額	1,471
R元現計予算額	1,471
増減額	494

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	841	896
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,641	1,696
活動指標名	配置人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	4 単位 人	5 単位 人
単位当たりコスト　（円）	410,250	339,200

特定財源の状況
部活動指導員配置促進事業 補助金　1,220千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4. 生涯輝くまち 2. 子どもたちの教育環境の充実 (3)部活動指導員配置事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-3-1-11〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	通級指導教室（”ひだまり”教室）設置事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、学習、社会性に困難さを抱えている子どもに応じた教育課程のもと支援を行う。
②ことばやコミュニケーション、社会性に困難さを抱えている生徒に、適切で専門的な指導（保護者や教職員に対しても）を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、生き生きとして社会生活を送れるように支援する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
事業	11	通級指導教室費

根拠条例等	学校教育法施行規則第１４０条、宇陀市通級指導教室設置要領
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要

（単位:千円）

科目		予算額	備考
旅費	普通旅費	10	巡回指導旅費
需用費	消耗品	100	消耗品
	燃料費	19	ひだまり教室灯油代
	修繕料	950	通級指導教室修理費用
役務費	通信運搬費	96	電話ネット通信料金
備品購入費	学校管理備品費	706	ひだまり教室備品代
負担金	各研究会負担金	9	研究会費他
合計		1,890	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

令和元年度に開室され、5月では1名だった通室者が、10月には7名となった。開室して初年度ということもあり7名全てが自校通級となっているが、今後は他校通級の増加も予想され、他校通級で保護者の送迎が難しい者等には巡回訪問での対応も予定している。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	1,606
一般財源	284
R2予算額	1,890
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,890

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

ふるさと応援基金繰入金
1,606千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
2.子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業（中学校）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	1	本庁中学校教育振興費

根拠条例等	宇陀市修学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

経済的理由によって就学が困難な生徒の解消を目的とする。

（単位：千円）

項　目	予算額	備　考
特別支援教育就学奨励費	1,208	給食費・校外学習費・学用品費等
要保護生徒就学援助	180	修学旅行費等
準要保護生徒就学援助費	7,850	給食費・校外学習費・学用品費等
合　計	9,238	

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

就学援助費を支給することによって、経済的負担を軽減し、生徒の就学を支援し、安心で豊かな教育環境を整備する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	688
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	8,550
R2予算額	9,238
R元当初予算額	9,091
R元現計予算額	9,091
増減額	147

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	7,154	9,091
従事職員数【人工】	0.17	0.17
人件費　（人工×8,000千円）	1,360	1,360
総事業費：人件費含む　（千円）	8,514	10,451
活動指標名	支給人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	89 単位 人	81 単位 人
単位当たりコスト　（円）	95,663	129,025

特定財源の状況

要保護生徒援助費補助金
84千円
特別支援教育就学奨励費補助金
604千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(5)子ども達の就学の経済的支援

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-3-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国青年招致事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	市内4中学校にALTを配置し、英語教育の普及を図り、国際視野を高める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	3	外国青年招致事業費
事業	1	外国青年招致事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－１　学校教育内容の充実

R2年度事業の概要

財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国人青年招致事業（JETプログラム）」から派遣されたALT（2名）を市内4中学校に配置する。

（単位：千円）

科目		予算額
報酬	会計年度任用職員報酬	8,120
旅費	普通旅費	503
需用費	消耗品	10
備品購入費	機械器具費	100
負担金、補助及び交付金	自治体国際化協会負担金	500
合計		9,233

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

授業でネイティブスピーカーを活用することにより、外国語教育が充実している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	9,233
R2予算額	9,233
R元当初予算額	8,973
R元現計予算額	8,973
増減額	260

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	8,016	8,553
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	9,616	10,153
活動指標名	配置人数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	2 単位 人	2 単位 人
単位当たりコスト　（円）	4,808,000	5,076,500

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(4)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	文化会館自主事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的

市民の文化・芸術の向上に寄与することを目指すとともに生涯学習の充実を図る。
生涯学習である公民館活動とは別に、個性的で魅力ある自主事業や各種教室の開催を実施することで、多様化した趣味ニーズへの対応と文化・芸術の向上に寄与することを目指す。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	21	文化会館費

根拠条例等	宇陀市文化会館条例
総合計画	基本計画　４－４－２ 芸術・文化環境の充実

R2年度事業の概要

文化会館利用者より問い合わせ、要望の多い映画鑑賞の機会を地域住民の皆様に提供するため、文化会館の自主事業として定期的に映画の上映を行う。

（単位：千円）

項　目	予算額
印刷製本費	121
自主事業委託料（映画上映）	440
警備業務委託料	53
合　計	614

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

本映画会を通じて、これまで来館する機会の少なかった利用者にアピールし、生涯学習施設の利用が一層図られるよう啓発するほか、多様な価値観の中、市民のニーズに対応したイベントを開催する。

【上映するコンテンツ】
①一般向け映画（邦画・洋画・アニメなど）、②こども映画会から2回上映を行う。映画鑑賞代金として、1人あたり800円程度徴収する。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	440
一般財源	174
R2予算額	614
R元 当初予算額	869
R元 現計予算額	869
増減額	▲ 255

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		869
従事職員数【人工】		0.50
人件費　（人工×8,000千円）		4,000
総事業費：人件費含む　（千円）		4,869
活動指標名	集客率	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	単位	71　単位　%
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会教育費雑入　　440千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
4. スポーツ・芸術・文化の振興
（2）文化会館自主事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宝くじ文化公演（オーケストラ演奏会）

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的

芸術文化鑑賞の機会を地域住民に提供するため、宝くじ文化公演事業を活用し、オーケストラ演奏会を開催する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	21	文化会館費

根拠条例等	宇陀市文化会館条例
総合計画	基本計画　４－４－２ 芸術・文化環境の充実

R2年度事業の概要

（単位：千円）

項　目	予算額
会場設営消耗品	102
出演者・スタッフ飲料代	10
飾花・花束代	11
ピアノ調律手数料（スポット）	18
広報誌折込料	18
ローソンチケット新規口座登録手数料	66
音響・照明スタッフ増員（2名）	55
駐車場警備員費用（4名）	53
著作権料	33
自治総合センター負担金	365
合　計	731

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

厳しい財政状況下では、オーケストラ公演を市単独で開催するのは難しい。
そこで、公演料、ポスター、チラシの作成費用等を自治総合センターが負担することにより、市民に通常より安価な値段設定（市価の半額）で本格的な音楽に触れる機会が創出できる。
加えて、生涯学習施設の利用が一層図られるよう啓発し、多様な価値観の中、市民のニーズに対応したイベントとする。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	730
一般財源	1
R2予算額	731
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	731

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会教育費雑入　730千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
4. スポーツ・芸術・文化の振興
（2）文化会館自主事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-2-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公民館講座開設事業

所管課	公民館	（教育委員会事務局）

事業の目的

社会教育法に基づき、宇陀市内の住民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種講座の開設を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業		

根拠条例等	宇陀市公民館条例
総合計画	基本計画　４－３－１　生涯学習環境の充実

R2年度事業の概要

地域社会全体の活性化につなげていくための講座を開設する。

（単位：千円）

区　分	内　容	金　額
中央公民館	報償費（講師謝礼）	180
大宇陀分館	報償費（講師謝礼）	360
菟田野分館	報償費（講師謝礼）	138
榛原分館	報償費（講師謝礼）	274
室生分館	報償費（講師謝礼）	368
合　計		1,320

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

令和元年度受講者数（受講者数）

①市民教養講座	84人
②入門講座	58人
③シニア学級	199人
④子ども学級	45人
⑤パッチワーク教室	91人
⑥背骨コンディショニング教室	564人
⑦手編み教室	63人
⑧英会話教室	140人
⑨陶芸教室	120人
⑩身体リセットヨガ教室	510人
⑪身近な野草と健康料理教室	138人
合計	2,012人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,320
R2予算額	1,320
R元 当初予算額	1,316
R元 現計予算額	1,316
増減額	4

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	933	1,316
従事職員数【人工】	5.00	5.00
人件費　（人工×8,000千円）	40,000	40,000
総事業費：人件費含む　（千円）	40,933	41,316
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	総コスト／参加人数	
活動指標の実績（見込）	1,585 単位 人	2,012 単位 人
単位当たりコスト　（円）	25,825	20,535

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
3. 多様な学びの場の整備・充実
（1）公民館講座開設事業

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈9-5-3-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）
事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。	

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費
事業	1	青少年活動費（子どもフェスタ実行委員会補助金事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－３－１　生涯学習環境の充実

R2年度事業の概要	実行委員会補助金　850千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。 テーマ　つながれ心！　ひろがれ笑顔！ 内　容　紙ひこうき大会・チャレンジランキング・スポーツ体験 ドクターイエロー・音楽コンサート・紙芝居

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	850
R2予算額	850
R元当初予算額	850
R元現計予算額	850
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	849	847
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費　（人工×8,000千円）	2,400	2,400
総事業費：人件費含む　（千円）	3,249	3,247
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	1,560 単位 人	1,312 単位 人
単位当たりコスト　（円）	2,083	2,475

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 3.多様な学びの場の整備・充実 （2）“宇陀子どもフェスタ2020”開催費

年度　会計　区分
〈2020〉〈1〉〈9-5-3-102〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校・地域パートナーシップ事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的

青少年の規範意識や社会性の低下の要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等が考えられるため、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費
事業	102	青少年活動費（学校・地域パートナーシップ事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－３－２ 地域の教育力の醸成

R2年度事業の概要

子ども活動支援事業
放課後子ども教室事業
地域未来塾事業

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●地域学校協働活動事業
　4中学校・6小学校
　登下校安全指導・環境整備等
●放課後子ども教室
　4中学校・6小学校区
　平和学習、工作教室、文化体験　等
　未来を担う子どもたちを健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。
●地域未来塾（土曜教室・放課後学習）
　市内小学校6校において、放課後学習を行い、学習能力向上を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	3,019
市　債	
その他	
一般財源	1,512
R2予算額	4,531
R元当初予算額	4,599
R元現計予算額	4,599
増減額	▲ 68

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,561	2,600
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	3,361	3,400
活動指標名	学習支援実施率	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	80 単位 %	80 単位 %
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

学校、地域パートナーシップ事業
補助金　3,019千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
3. 多様な学びの場の整備・充実
（3）学校・地域パートナーシップ事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	指定文化財保存修理等助成事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

市内全域の国・県市指定文化財の保護事業として保存修理、設備点検環境整備事業等を実施した団体に補助金の交付を行い指定文化財の保護を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－１－１　文化財の保護・活用

R2年度事業の概要

指定文化財所有者の防災設備点検、環境整備、保存修理の経費軽減を図る。

（単位：千円）

科目	予算
負担金・補助金	4,250
合　計	4,250

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

指定文化財の管理、修理、復旧、公開、調査、その他文化財の保存及び防犯上緊急の措置を講じる為の経費（国費・県費を控除した額）を補助し、歴史的価値の高い指定文化財施設の保護を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	4,250
R2予算額	4,250
R元当初予算額	4,198
R元現計予算額	4,198
増減額	52

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	8,133	6,031
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	9,733	7,631
活動指標名	事業実施指定文化財	
活動指標の算式	補助文化財数	
活動指標の実績（見込）	17 単位 件	17 単位 件
単位当たりコスト　（円）	572,529	448,882

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用
（2）歴史的・文化的資源の保存整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	民俗文化財伝承事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

県・市指定文化財の伝承活動に対して、補助金交付を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－１－２　歴史・文化資源の整備と充実

R2年度事業の概要

各地域の歴史、風土の中で育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存又は後継者育成を担っている団体に、活動補助金を交付する。

（単位：千円）

科目	予算
負担金・補助金	180
合　計	180

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

文化財愛護団体への活動補助金により伝承事業が継続されている。

・市指定文化財
　「大野のいさめ踊り」
　「田口水分神社の獅子舞」
・県指定文化財
　「野依のオンダ」
　「平尾のオンダ」
　「室生の獅子神楽」
　「龍口の獅子舞」

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	180
R2予算額	180
R元 当初予算額	180
R元 現計予算額	180
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	90	180
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	890	980
活動指標名	事業実施指定文化財	
活動指標の算式	補助文化財数	
活動指標の実績（見込）	3 単位 件	6 単位 件
単位当たりコスト　（円）	296,667	163,333

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用
（2）歴史的・文化的資源の保存整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定天然記念物保存事業　向淵スズラン群落再生事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的
室生向淵にあるスズランの自生群落は、国の天然記念物に指定されている。 当該天然記念物保存管理計画に基づき管理目標を定めて観察と管理を行うとともに、一般来訪者に公開し豊かな自然を体験してもらう。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　５－１－１　自然環境の保全・活用

R2年度事業の概要
向淵スズラン群落再生事業指導委員会の指導の下に、文化庁文化財調査官の現地指導、スズラン現状調査、増殖試験等の事業を実施する。

（単位：千円）

科目	予算
報償費	7
旅　費	34
委託料	550
合　計	591

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
国指定の天然記念物向淵スズラン群落を管理することにより、指定理由である自生の南限としての価値を維持すると共に、一般に広く公開することにより市の活性化に資することを目標とする。天然記念物に指定された当時（S5.11）には約3万㎡の指定地に、密生した場所でも1㎡あたり平均45株しかなかった。 平成8･9年度の減少原因調査では、指定地内での生育量が約5，500株であることが明らかとなった。平成21年度からはスズラン群落の状況調査等を継続して実施しており、平成30年調査では、「タヌキヤブ地区」で約260㎡の中に約46，000株、「オクシバ」地区で9㎡の中に約15株となっている。このように個体数及び密度は増加傾向にあるものの、外来種である「ドイツスズラン」の混在が確認された場合は、その都度、除去し、固有種の確保を行う必要がある。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	591
R2予算額	591
R元 当初予算額	597
R元 現計予算額	597
増減額	▲ 6

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	454	597
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	1,254	1,397
活動指標名	現年自生株数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	46,000 単位 株	41,000 単位 株
単位当たりコスト　（円）	27	34

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 5. 自然豊かなまち 1. 豊かな自然環境の保全・活用 （1）天然記念物保護・再生事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市内のオオサンショウウオが棲息している場所は、現在までのところ、室生ダムより下流の宇陀川、室生川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川などで確認されている。平成24年度からは、三重県教育委員会・奈良県教育委員会が策定した「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針」に基づき、保護調査を実施している。オオサンショウウオの状況を記録した台帳を作成し、マイクロチップを挿入、DNA鑑定後、日本産であれば、再び元の河川に放流し、固有種の存続に努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　５－１－１　自然環境の保全・活用

R2年度事業の概要

オオサンショウウオの棲息が確認されている室生ダムより下流の宇陀川、室生川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川を中心として計画的に保護調査（分布調査・棲息生育調査）を実施する。DNA鑑定後、日本産であれば、再び元の河川に放流し、中国産・雑種である場合は、一時保護を行い、河川には放流しないこととする。

（単位：千円）

科目	予算
報償費	31
旅費	12
需用費	20
役務費	3
委託料	2,100
使用料	9
負担金・補助金	9
合計	2,184

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀市内の特別天然記念物オオサンショウウオ（日本産）の保護を行うともに、各調査個体の基礎資料の蓄積を図り、市民等に市内の河川に特別天然記念物オオサンショウウオ（日本産）が棲息することを周知し、保護活動を市民レベルとなるよう誘導する。

計画的に保護調査を実施することにより、宇陀市内のオオサンショウウオの棲息状況を明らかにし、中国産・雑種のオオサンショウウオを別施設（名張市に委託）で一時保護するとともに、日本産のオオサンショウウオの保護対策を講じる資料を収集する。

宇陀市内では、これまでに583個体のオオサンショウウオを確認しており、今後の調査により、さらにその個体総数は増加するものと予想される。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	1,073
県費	322
市債	
その他	
一般財源	789
R2予算額	2,184
R元当初予算額	2,057
R元現計予算額	2,057
増減額	127

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,024	2,057
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	2,824	2,857
活動指標名	保護捕獲個体数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	54 単位 個体	70 単位 個体
単位当たりコスト　（円）	52,296	40,814

特定財源の状況

天然記念物調査再生事業費
補助金（国）　1,073千円
（県）　322千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
5. 自然豊かなまち
1. 豊かな自然環境の保全・活用
（1）天然記念物保護・再生事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定天然記念物保存事業カザグルマ自生地再生事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

大宇陀小附所在の「カザグルマ自生地」は、自生地の北限として、貴重である。平成28年度に生育環境の整備を図り、カザグルマ個体群の調査を実施した。事業を継続して行い、個体群の保護に努める。

当該天然記念物は、管理目標を定めて観察と管理を行うとともに、一般来訪者に公開し豊かな自然を体験してもらう。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　５－１－１　自然環境の保全・活用

R2年度事業の概要

カザグルマの生育環境の維持に努めるとともに、個体群のモニタリング調査を実施し、個体管理を行う。

（単位：千円）

科目	予算
委託料	220
合　計	220

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

カザグルマのモニタリング調査は、継続して行っており、今後も各個体が生育するよう周辺環境を改善し、個体数の回復と増殖を図り、安定した植生管理を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	220
R2予算額	220
R元 当初予算額	220
R元 現計予算額	220
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	141	220
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	941	1,020
活動指標名	現年自生個体数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	18 単位 個体	41 単位 個体
単位当たりコスト　（円）	52,278	24,878

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
5. 自然豊かなまち
1. 豊かな自然環境の保全・活用
（1）天然記念物保護・再生事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-21〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市松山重伝建地区の歴史的町並みの特性を回復、維持するため、重伝建審議会にてその方策を検討し、伝建地区内の重要な構成要素である伝統的建造物（伝建物）の「修理」、及びそれ以外の建造物（非伝建物）の「修景」に対して補助金の交付を行い、修理と修景を共に推進することにより、町並みの価値を維持し、高めることを目的とし、併せて地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備も行う。これらをもって市民が誇りと愛着をもったまちづくりの実行に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	21	まちなみ保存整備事業費

根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱
総合計画	基本計画　３－１－１　文化財の保護・活用

R2年度事業の概要

令和2年度は、町家等の「修理」に対する補助8件を実施する。　（単位：千円）

科目	予算
報　酬	56
旅　費	135
需 用 費	660
役 務 費	12
使用料・賃借料	348
負担金・補助金	21,050
合　計	22,261

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）は、奈良県下の3ヶ所のうちの一つであり、昭和戦前に建築された建築物が数多く残り、「商家町」としての貴重な歴史的景観を形成している。この歴史的景観を後世に引き継ぐとともに、宇陀松山城跡と伝建地区を一体的に捉えて整備することにより、当該地域のみならず宇陀市の活性化に資することを目的とする。

建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、修理相談件数も年々増加している状況にある。また、上欄の事業概要の他にも、折に触れて先進地研修やまちづくり講座等を開催して住民への啓発活動を行っているため、本事業に対する住民の理解は高い。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	13,652
県　費	2,101
市　債	
その他	
一般財源	6,508
R2予算額	22,261
R元当初予算額	29,924
R元現計予算額	28,439
増減額	▲ 7,663

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	31,517	26,692
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	39,517	34,692
活動指標名	事業実施率	
活動指標の算式	単年度事業実施件数/単年度計画件数	
活動指標の実績（見込）	100 単位 %	100 単位 %
単位当たりコスト　（円）	395,170	346,920

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金
（国）　13,652千円
（県）　2,101千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用
（2）歴史的・文化的資源の保存整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-21〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀松山重要伝統的建造物群防災事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市松山伝統的建造物群保存地区は、木造の町家が通り沿いに連続し、城下町から商家町へと発展した歴史的風致を維持している地区である。住民の生命・身体及び財産を災害から守ることを基本方針として、歴史的な景観を活かしたまちづくりを推進するため、防災事業を推進する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	21	まちなみ保存整備事業費

根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要

令和2年度は、防災機器として小型操法ポンプ3台の整備を実施する。

（単位：千円）

科　目	予算
備品購入費	2,477

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

宇陀松山伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）は、奈良県下の3ヶ所のうちの一つであり、昭和戦前に建築された建築物が数多く残り、「商家町」としての貴重な歴史的景観を形成している。この歴史的景観を災害から守るため、平成27年度・平成28年度で防災計画を策定した。地域住民との防災計画検討会を開催し協議しながら整備方針を検討し実施している。

平成30年度・令和元年度で重伝建地区に初期消火に有効として消火器87基を設置した。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	1,610
県　費	247
市　債	
その他	
一般財源	620
R2予算額	2,477
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	2,477

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金
（国）　1,610千円
（県）　247千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
2. 暮らしやすいまち
4. 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
（21）松山重要伝統的建造物群防災事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-21〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	町家公開活用施設整備事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

国道赤砂利交差点から松山地区への入口に位置する町家を活用し、宇陀松山城跡・松山伝建地区の情報を一覧できる機能を備えた観光の拠点施設を整備する。道の駅から見える範囲に歴史的建造物を見せて、町なみの存在を知らせることができ、来館者には伝建地区を始め宇陀松山城跡への誘導が可能となる。散策前の予備知識を得られ、休息なども可能なことから、来訪者への便宜を図ることが出来、来訪者の満足度を高め、リピーター獲得への期待が出来る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	21	まちなみ保存整備事業費

根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例
総合計画	基本計画　３－１－２　歴史・文化資源の整備と充実

R2年度事業の概要

令和2年度も、赤砂利交差点の角に建つ町家の改修工事を行う。

（単位：千円）

科目	予算
委 託 料	1,696
工事請負費	36,868
備品購入費	1,000
負担金・補助金	94
合　計	39,658

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

・松山地区を訪れた来訪者への便宜
・地元業者の工事による仕事の創出
町家はつし2階建てであることから、1階部分を来訪者への情報提供や掲示スペース及び休憩スペースとし、宇陀市観光協会やボラテイアガイドなどが活用することにより、来訪者へのサービスの向上と市内の団体の活性化を図ることが出来る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	23,137
県　費	3,559
市　債	12,900
その他	1,000
一般財源	▲ 938
R2予算額	39,658
R元当初予算額	46,732
R元現計予算額	10,496
増減額	▲ 7,074

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		9,800
従事職員数【人工】		0.50
人件費　（人工×8,000千円）		4,000
総事業費：人件費含む　（千円）		13,800
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	現年度事業費／全体事業費	
活動指標の実績（見込）	単位	20　単位　%
単位当たりコスト　（円）		690,000

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金
（国）　23,137千円
（県）　3,559千円
合併特例債　12,900千円
ふるさと応援基金繰入金　1,000千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用
（2）歴史的・文化的資源の保存整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-23〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡宇陀松山城跡保存整備事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的
平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路も完了し、今後は当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助となる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	23	史跡宇陀松山城跡整備事業

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　３－１－２　歴史・文化資源の整備と充実

R2年度事業の概要
宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大と公有化に向けた準備経費。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。 平成18年7月に国史跡指定を受け面積は67,667㎡と広大であり、そのうち総石垣つくりの約22,450㎡の公有化を実施している。 整備範囲は公有地化を行った範囲を中心に、城跡への登城道部分を対象としている。 平成29年に史跡宇陀松山城跡は「続日本100名城」に選定されたが、台風21号の豪雨により城跡の法面が大きく崩落したため、災害復旧事業を優先し進めていく。 城跡の保全のため、史跡指定地の拡大を行い私有地の公有化を図っていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	96
R2予算額	96
R元 当初予算額	3,577
R元 現計予算額	3,577
増減額	▲ 3,481

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,440	3,577
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	4,040	5,177
活動指標名	整備率	
活動指標の算式	単年度整備面積/目標整備面積	
活動指標の実績（見込）	1　単位　%	1　単位　%
単位当たりコスト　（円）	4,040,000	5,177,000

特定財源の状況

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 3. 活力あるまち 1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用 （2）歴史的・文化的資源の保存整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-4-26〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡森野旧薬園保護事業

所管課	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的

享保14年(1729年)、幕府から官園において栽培していた貴重な種苗を下付され、これを植えたことによって、薬園がはじまる。大正15年国史跡に指定され、史跡地内には桃岳庵や石水亭などの建造物も遺存し、薬園としての旧態が良く保たれている。しかし、近年は、周辺部に杉や竹などが繁茂し、環境の悪化が進み、建造物の傷みも著しい。また、薬草畑の一部では、管理が行き届かない場所も認められ、荒廃が進行しつつあるため、当園の適切な保存・管理を行うため、保存活用計画書に沿った保護事業を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	26	史跡森野旧薬園整備事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　３－１－２　歴史・文化資源の整備と充実

R2年度事業の概要

平成29年度に作成された、史跡森野旧薬園保存活用計画書により、保存対策を講じることとなった史跡地内の賽郭祠堂(さいかくしどう)の保存修理事業と獣害防止策の設置事業を実施する。

（単位：千円）

科目	予算
報償費	49
旅費	70
需用費	4
委託料	3,159
合計	3,282

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

国史跡森野旧薬園の保全と活用を図るため、国史跡森野旧薬園の保存活用計画を策定したことにより、適正な保存整備・活用事業を行うことが出来ることとなった。

保存整備事業を計画的に実施し史跡の保全と活用を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	1,641
県費	984
市債	
その他	421
一般財源	236
R2予算額	3,282
R元当初予算額	14,477
R元現計予算額	14,477
増減額	▲ 11,195

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	18,415	10,614
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	19,215	11,414
活動指標名	整備計画進捗率	
活動指標の算式	計画書進捗／保存管理全体計画	
活動指標の実績（見込）	30 単位 %	20 単位 %
単位当たりコスト　（円）	640,500	570,700

特定財源の状況

史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金
（国）　1,641千円
（県）　984千円
雑入　421千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
3. 活力あるまち
1. 地域資源の保全及び産業と連携した活用
（2）歴史的・文化的資源の保存整備

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-5-5-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども読書活動推進事業

所管課	図書館	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市子ども読書活動推進計画に基づき保育所、幼稚園等や小中学校との連絡会議及びボランティアネットワーク会議の充実により、図書館と各機関との連携を密にし、子どもと本の出会いを促し、子ども達の学力向上に寄与する方向に導く。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	5	図書館費
事業	1	図書館費

根拠条例等	宇陀市教育大綱　基本方針　地域全体で子育てを・確かな学力、規範意識、体力の向上
総合計画	基本計画　４－３－２　地域の教育力の醸成

R2年度事業の概要

（単位：千円）

科目	予算額
講師謝礼	30
印刷製本費	99
ポスト回収業務委託料	347
図書館ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ事業委託料	220
合計	696

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

子どもと子育て世代の利用者を対象に、絵本ライブを核としておはなし会・映画会・折り紙教室・リサイクル本等のイベントを「図書館フェスティバル」として同日開催し、図書館の新たな魅力発信することで、本に親しみさらに読書習慣取得へと導く。

公共図書館システムと各小中学校の図書システムの連携により、児童生徒の読書機会の充実を図り、公共図書館の蔵書の有効活用を促す。

保育所、幼稚園等や小中学校への読書支援・技術支援を拡充し、読書活動の推進を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	696
R2予算額	696
R元当初予算額	921
R元現計予算額	921
増減額	▲ 225

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	853	921
従事職員数【人工】	3.00	3.00
人件費　（人工×8,000千円）	24,000	24,000
総事業費：人件費含む　（千円）	24,853	24,921
活動指標名	団体貸出冊数	
活動指標の算式	事業費/団体貸出冊数	
活動指標の実績（見込）	50 単位 円/冊	68 単位 円/冊
単位当たりコスト　（円）	497,060	366,485

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
3. 多様な学びの場の整備・充実
（4）子ども読書活動推進事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	人権教育関係事業

所管課	人権推進課	（市民環境部）

事業の目的

地域、家庭、職場、学校、その他の様々な場を通じて、市民がその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、多様な機会の提供、効果的な手法を採用し、人権教育・人権啓発事業を行い、人権が尊重される社会の実現を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	7	人権教育推進費
事業	1	人権教育推進費

根拠条例等	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「宇陀市部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消の推進に関する条例.」等
総合計画	基本計画　４－１－１　人権尊重の社会づくり

R2年度事業の概要

（単位：千円）

・会計年度任用職員人件費	3,148
・人権セミナー講師謝礼	80
・各種事業消耗品、団体機関誌等購読料	86
・旅費、事業案内通知	24
・研修会参加バス運行業務委託料	47
・教材用視聴覚教材購入費	160
・各種研修会等参加負担金	69
・市人権教育推進協議会補助金	2,798
・関係機関団体負担金、分担金	45
合計	6,457

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

人権が尊重される社会を構築していく上で、人権教育は大きな役割を担っていることから、人権が尊重される社会や地域を築く人間の育成を目指すため、さまざまな活動を通じて人権教育を推進する。

・指導者、リーダーの養成のためのセミナー開催
・宇陀市人権教育推進協議会の運営
・各地区人推協（人推委員会）の地区別懇談会、人権イベント等のアドバイスや人的・物的協力
・奈良県人権教育推進協議会等による学習会、研修会への参加

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	80
市　債	
その他	
一般財源	6,377
R2予算額	6,457
R元当初予算額	6,334
R元現計予算額	6,334
増減額	123

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	5,953	6,334
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	12,000	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	17,953	18,334
活動指標名	人権セミナー受講延べ人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	121 単位 人	126 単位 人
単位当たりコスト　（円）	148,372	145,508

特定財源の状況

人権啓発活動委託金　80千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
1. 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
(2) 人権教育関係事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-6-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	○マラソン大会…宇陀の豊かな自然の中で、参加者の健康維持・増進を目指し、参加者相互の親睦と交流を深めると共に、市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。 ○プレイベント…スポーツ指導専門家による指導や実技を通して、地域の方々（子ども達）にスポーツの楽しさを知ってもらい健康増進と運動意欲を高めること、イベントを通じて地域住民同士の交流を図ることを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	1	本庁保健体育総務費

根拠条例等	宇陀市社会体育振興事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　４－４－１　スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要	実行委員会補助金　1,900千円 （マラソン大会運営費1,600千円＋プレイベント運営費300千円） ※プレイベントを開催し、スポーツ指導員を招き、マラソン及びスポーツの普及促進を図る。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	参加選手やボランティアスタッフ（約450名）が、「走ろう宇陀！ふれあう心」をスローガンに、本大会を通じて、互いの親睦を図り、市の一体感を醸成していくと共に、市外また全国より多数の参加選手を迎え、市総合計画「まちづくり基本方針」において掲げられている「交流人口の増加」にも貢献していくことを目標とする。さらにウェルネスシティ宇陀市の実現を目指すことも目標とする。 ●第12回宇陀シティマラソン（H30年度） 開催日…平成31年3月10日（日） 参加申込者数（定員1,500人） …1,707名（市民533名・市外1,174名） 特記事項　・宇陀市特産品販売 ・市郡内温泉のPR（手湯・施設利用割引券） ・市内観光パンフレットの配布 ・元気汁（豚汁）の無料ふるまい ・大宇陀中学校による吹奏楽の演奏

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	300
一般財源	1,600
R2予算額	1,900
R元 当初予算額	1,600
R元 現計予算額	1,600
増減額	300

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,600	1,600
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費　（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む　（千円）	9,600	9,600
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	1,707 単位 人	— 単位 人
単位当たりコスト　（円）	5,624	

特定財源の状況
ふるさと応援基金繰入金 300千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 4.スポーツ・芸術・文化の振興 （1）大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-6-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	東京オリンピック聖火リレー運営事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	東京2020オリンピック開催にあたり、全国47都道府県で聖火リレーが行われることになり、本市においても4月13日（月）に開催することが決定した。 聖火リレーによりオリンピック大会への期待を高め、オリンピックムーブメント向上に繋げることを目的とする。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－４－１ スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要	聖火リレー開催にあたり、奈良県実行委員会のもと算出された事業経費について、県1/2・市1/2を負担する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	東京2020オリンピック開催を盛り上げるため、全国47都道府県で開催される聖火リレーが、オリンピック組織委員会の承認を得て本市が選ばれた。多くの市民の方に観覧してもらい、日本開催のオリンピックの関心を高める。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	1	本庁保健体育総務費

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,196
R2予算額	2,196
R元当初予算額	
R元現計予算額	336
増減額	2,196

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		336
従事職員数【人工】		0.10
人件費　（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む　（千円）		1,136
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 4.スポーツ・芸術・文化の振興 （3）東京オリンピック聖火リレー運営事業

年度　会計　　区分
〈2020〉〈1〉　〈9-6-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	軽スポーツ普及促進事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的

「いつでも・どこでも・だれでも」全ての市民がそれぞれのライフステージに応じて、気軽にスポーツに親しみながら健康で豊かな生活が送れるよう環境（軽・障害者スポーツ物品）を整えることを目的とし、軽スポーツ及び障害者スポーツの普及促進を目的とする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	1	本庁保健体育総務費

根拠条例等	スポーツ基本法
総合計画	基本計画　４－４－１ スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要

健常者及び障がい者ともに人気のある「ボッチャ競技」を本市にも普及促進を図る。
ボッチャとは、ヨーロッパで生まれた重度脳性まひ者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目である。

（単位:千円）

科目	予算額	内容
需用費	7	消耗品
役務費	19	手数料
備品購入費	280	軽スポーツ備品
合　計	306	

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）

スポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を増やすため、軽スポーツ体験会（市体協・スポーツ推進委員指導）を開催すると共に物品の貸出や支援などを充実させ、誰もが共にスポーツを楽しむ環境を整えることで「ウェルネスシティ宇陀市」の実現を目指す。（今年度　ボッチャ競技）
（※市保有当該備品がない為、宇陀市身体障害者福祉協会が「奈良県福祉総合センター（橿原市）」まで申請・借用に毎度出向かれている状態にある。このことからスポーツ担当部局で環境を整え、市部局〈介護福祉課〉・教育委員会部局〈生涯学習課〉とで連携を図る。）

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	280
一般財源	26
R2予算額	306
R元 当初予算額	
R元 現計予算額	
増減額	306

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

ふるさと応援基金繰入金
280千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4.生涯輝くまち
4.スポーツ・芸術・文化の振興
（4）軽スポーツ備品の整備

年度　会計　　区分
〈2020〉〈1〉〈9-6-1-101〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自転車のまちづくり事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	県の自転車利用ネットワークづくりガイドライン（平成23年7月）を踏まえ、本市は、サイクリストとって自然があり走りやすい道路がある。サイクリストが安全・快適に訪れることができるよう環境を整える。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	101	本庁保健体育総務費（自転車のまち事業）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－４－１　スポーツ活動の支援・充実

R2年度事業の概要	自転車スタンド購入　　100千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	●市内の公的施設及び民間施設（コンビニ・飲食店等）に自転車用スタンド・空気ポンプを配備 ●コンビニ等での自転車チューブの販売 ●自転車用スタンド等を設置する民間施設を拡充

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	100
R2予算額	100
R元当初予算額	99
R元現計予算額	99
増減額	1

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2	99
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	1,602	1,699
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4.生涯輝くまち 4.スポーツ・芸術・文化の振興 （1）大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-6-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会体育施設等個別施設計画

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	本市の公共施設の今後の老朽化や建て替え更新時期が一極集中することが課題となっており、スポーツ施設等に係る中・長期的な維持・保全対策や効率的な運営のあり方等を具体的に示した個別施設計画を策定する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
事業	1	本庁体育施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－３－１ 生涯学習環境の充実

R2年度事業の概要	宇陀市スポーツ施設等個別施設計画業務委託料　5,445千円 長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化等をスポーツ施設等の総合的かつ計画的な維持管理・修繕・更新を推進していく基本的な方針を示す個別施設計画を策定する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	令和元年度にスポーツ施設等の現状評価（1次評価）を行い、国の評価方法により、整備手法（維持・改善・改廃）の評価結果を取りまとめた。この資料を基に個々の施設の利用状況、経済性、ニーズ等を勘案し、今後のスポーツ施設のあり方を検討する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,445
R2予算額	5,445
R元 当初予算額	8,171
R元 現計予算額	2,726
増減額	▲ 2,726

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		2,726
従事職員数【人工】		0.50
人件費　（人工×8,000千円）		4,000
総事業費：人件費含む　（千円）		6,726
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 4. 生涯輝くまち 3. 多様な学びの場の整備・充実 （5）社会体育施設等個別計画策定事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大人のための運動教室

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的

運動を始めたいと思ってる人、又は運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に開催することで運動が習慣化するよう図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
事業	4	ウェルネスシティ推進費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－１－２　保健事業の充実

R2年度事業の概要

宇陀市民の20歳から74歳以下の男女を対象とした運動教室の実施

（単位：千円）

項　目	予算額
講師謝礼	2,256
消耗品費	91
合　計	2,347

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

行政が運動教室を定期的に開催することで、運動の習慣化が市民に浸透するよう繋げていく。
- ○リラックスヨガ
- ○エアロビクス
- ○ピラティス
- ○膝・腰機能改善ウォーキング
- ○筋力・体力アップ体操

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	3,096
一般財源	▲ 749
R2予算額	2,347
R元 当初予算額	2,576
R元 現計予算額	2,576
増減額	▲ 229

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,060	2,066
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	2,860	2,866
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	175 単位 人	159 単位 人
単位当たりコスト　（円）	16,343	18,025

特定財源の状況

社会福祉費雑入　3,096千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
1.健幸なまち
1.「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”の実現」
（1）“ウェルネスシティ”推進事業

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校給食地産地消促進事業

所管課	学校給食センター	（教育委員会事務局）

事業の目的

元気な子どもづくりの推進のため「顔が見え、話ができる」市内の生産者達によって生産された、新鮮で安全な食材が確保できるとともに、園児・児童・生徒が、地域の自然・食文化・産業など、食材の生産・流通にあたる人達の努力をより身近に感じられ、心豊かで健康な生活の基礎を養うため、学校給食における地産地消を推進する。
また、生産者の方々にも学校給食に対する理解を深めてもらうとともに、学校と地域との連携・協力関係をより深くする。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	7	学校給食費
目	1	学校給食費
事業	101	学校給食費（学校給食地産地消促進事業）

根拠条例等	宇陀市立学校給食センター条例
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

地元産賄材料購入費（野菜・きのこ類）
1,500千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

学校給食地産地消率の増加・推進

学校給食地産地消率の推移(野菜・きのこ類の重量比較)

年　度	全重量(kg)	市内産重量(kg)	地産地消率(%)
25	54327.0	5502.9	10.13%
26	49906.7	5266.3	10.55%
27	48571.3	6121.8	12.60%
28	43993.2	8440.2	19.19%
29	41965.5	13590.2	32.38%
30	42811.5	13891.5	32.45%

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,500
R2予算額	1,500
R元当初予算額	1,500
R元現計予算額	1,500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,500	1,500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費　（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む　（千円）	2,300	2,300
活動指標名	学校給食地産地消率(野菜・きのこ類の重量比較)	
活動指標の算式	市内産重量／全重量	
活動指標の実績(見込)	32.45 単位 %	35.00 単位 %
単位当たりコスト　（円）	70,878	65,714

特定財源の状況

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
4. 生涯輝くまち
2. 子どもたちの教育環境の充実
(6)学校給食地産地消促進事業

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公債費償還（元金）

所管課	財政課	（企画財政部）

事業の目的

宇陀市が過去に発行した地方債の適正な管理を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	11	公債費
項	1	公債費
目	1	元金
事業	1	元金

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－２－３　健全な財政運営

R2年度事業の概要

（千円）

市債償還金元金	
旧大宇陀	161,223
旧菟田野	132,511
旧榛原	266,033
旧室生	182,573
宇陀市	1,597,367
元年度発行分元金	6,000
計	2,345,707

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

発行額を抑制しているため、地方債残高は年々減少している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	14,133
市　債	
その他	6,183
一般財源	2,325,391
R2予算額	2,345,707
R元当初予算額	2,394,412
R元現計予算額	2,394,412
増減額	▲ 48,705

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	2,371,652	2,393,781
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	2,373,252	2,395,381
活動指標名	市民一人あたりの償還額	
活動指標の算式	償還元金／国勢調査人口	
活動指標の実績（見込）	31,105 単位 人	31,105 単位 人
単位当たりコスト　（円）	76,298	77,010

特定財源の状況

うだアニマルパーク進入路整備事業補助金　13,716千円
広域消防通信システム整備事業補助金　417千円
下水道事業特別会計繰入金　6,183千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
2. 健全な行政運営の推進
(6)公債費の縮減

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈11-1-2-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公債費償還（利子）

所管課	財政課	（企画財政部）

事業の目的	宇陀市が過去に発行した地方債及び前年度発行見込み分に対する償還額の適正な管理を行う。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	11	公債費
項	1	公債費
目	2	利子
事業	1	利子

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－２－３　健全な財政運営

R2年度事業の概要

（千円）

市債償還金利子	
旧大宇陀	4,278
旧菟田野	5,337
旧榛原	16,154
旧室生	7,781
宇陀市	93,743
据置利子	25,399
計	152,692

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

発行額を抑制しているため地方債残高は年々減少している。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	595
市　債	
その他	
一般財源	152,097
R2予算額	152,692
R元当初予算額	178,452
R元現計予算額	178,452
増減額	▲ 25,760

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	191,412	160,167
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費　（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む　（千円）	193,012	161,767
活動指標名	市民一人あたりの償還額	
活動指標の算式	償還利子／国勢調査人口	
活動指標の実績（見込）	31,105 単位 人	31,105 単位 人
単位当たりコスト　（円）	6,205	5,201

特定財源の状況

うだアニマルパーク進入路整備事業補助金　583千円
広域消防通信システム整備事業補助金　12千円

備考

〈予算案重点事業〉
【重点事業】
6. 地域力を発揮するまち
2. 健全な行政運営の推進
(6)公債費の縮減

年度〈2020〉　会計〈 〉　区分〈---〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 保養センター事業特別会計

事業区分	継続	事業名	保養センター事業（収益的収入及び支出）

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的
宇陀市地域周辺の観光資源や良質の温泉を活用し、滞在型観光の拠点施設としてPRすることで、市外の観光客を誘客するとともに、高齢者の福祉施設、又、地域雇用の場、地元業者との連携による地域経済の拠点とする。管理運営については、指定管理者制度を導入し、指定管理者による効率的、効果的な運営を行う。

宇陀市保養センター事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款		
項		
目		
事業		

根拠条例等	宇陀市保養センター美榛苑管理条例
総合計画	基本計画　３－５－１　観光基盤の維持・整備

R2年度事業の概要

予算概要
- 美榛苑経営費　1,560千円
- 減価償却費　40,199千円
- 資産減耗費　2,000千円
- 支払利息及び企業債取扱諸費　975千円
  （一時借入金利息232千円、リース支払利息743千円）
- 消費税　2,400千円
- 雑支出　700千円
- 予備費　121,811千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

○美榛苑利用者（平成30年度）
- 宿泊者数　19,582人
- 宴会者数　12,255人
- レストラン　22,385人
- 日帰入浴者数　58,609人
- 合　計　112,831人

○一時借入金残高　232,200千円（令和2年度末予定）

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	145,653
一般財源	23,992
R2予算額	169,645
R元当初予算額	171,331
R元現計予算額	171,331
増減額	▲ 1,686

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	43,791	171,330
従事職員数【人工】	0.10	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	800	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	44,591	183,330
活動指標名	施設利用者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	112,831 単位 人	73,340 単位 人
単位当たりコスト　（円）	395	2,500

特定財源の状況

一般会計繰入金　145,653千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈---〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 保養センター事業特別会計

事業区分	継続	事業名	保養センター事業（資本的収入及び支出）

所管課	観光課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀市地域周辺の観光資源や良質の温泉を活用し、滞在型観光の拠点施設としてPRすることで、市外の観光客を誘客するとともに、高齢者の福祉施設、又、地域雇用の場、地元業者との連携による地域経済の拠点とする。管理運営については、指定管理者制度を行い、継続的な営業を行うため必要な施設の維持・整備を行う。

宇陀市保養センター事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款		
項		
目		
事業		

根拠条例等	宇陀市保養センター美榛苑管理条例
総合計画	基本計画　３－５－１　観光基盤の維持・整備

R2年度事業の概要	リース債務　4,295千円 バス、冷蔵・冷凍庫　リース料
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	施設改修等による利用客の利便性の向上

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	4,295
一般財源	
R2予算額	4,295
R元 当初予算額	7,012
R元 現計予算額	13,331
増減額	▲ 2,717

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,870	13,331
従事職員数【人工】	0.10	1.50
人件費　（人工×8,000千円）	800	12,000
総事業費：人件費含む　（千円）	4,670	25,331
活動指標名	施設利用者数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	112,831　単位　人	73,340　単位　人
単位当たりコスト　（円）	41	345

特定財源の状況

一般会計出資金　4,295千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈---〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業（収益的収入及び支出）

所管課	経営企画課	（宇陀市立病院）

事業の目的
地域の方々に人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送っていただくため、当院は地域の中核病院としての役割と責任を果たすべく、地域の医療需要に対応するための医療提供体制を構築することが課題となっている。 今年度は、内科の診療体制が整備されたこと、総合診療科医師を増員したことに伴い、地域包括ケアシステムの中核病院としての役割を果たすと共に、中長期的な視野に立った経営改善に取り組み、財務の健全化に努める。

宇陀市立病院事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款		
項		
目		
事業		

根拠条例等	宇陀市立病院事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画　１－４－１　医療体制の充実

R2年度事業の概要
・病床数　176床 ・年間患者数 ・入院　52,925人（1日平均　145人） ・外来　103,032人（1日平均　424人） ・収益的収入　3,856,255千円（対前年度　6%増） （前年度予算額　3,632,696千円） ・収益的支出　3,945,188千円（対前年度　3%増） （前年度予算額　3,824,814千円）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
・平成30年度決算状況（決算統計） ・年間入院患者数　48,033人（1日平均　132人） ・年間外来患者数　91,602人（1日平均　375人） ・収益的収入　3,367,823千円 ・収益的支出　3,566,945千円 ・差引　△199,122千円 ・令和元年度決算見込 ・入院収益は約2%増の見込み ・外来収益は約4%増の見込み

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	627
市　債	
その他	443,590
一般財源	3,500,971
R2予算額	3,945,188
R元当初予算額	3,824,814
R元現計予算額	3,824,814
増減額	120,374

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	3,566,945	3,722,874
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）	3,566,945	3,722,874
活動指標名	病床利用率	
活動指標の算式	年間入院患者数／年延病床数	
活動指標の実績（見込）	74.8　単位　%	80.8　単位　%
単位当たりコスト　（円）	47,686,430	46,075,173

特定財源の状況	
県補助金	627千円
一般会計補助金	87,248千円
一般会計負担金	228,860千円
資本費繰入益	127,482千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈---〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業（資本的収入及び支出）

所管課	経営企画課	（宇陀市立病院）

事業の目的	奈良県東部地域の中核病院としての役割を果たすべく、高度医療機器の導入・既存機器等の更新を行う。

宇陀市立病院事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款		
項		
目		
事業		

根拠条例等	
総合計画	

R2年度事業の概要	・資本的収入　145,000千円 （前年度予算額　72,600千円） ・資本的支出　372,090千円 （前年度予算額　269,280千円） ・事業内容（支出） ・うち建設改良費　168,350千円 ・うち企業債償還金　197,900千円 ・うち長期貸付金　5,840千円 ・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	宇陀市立病院は、昭和29年の開院以来、地域の中核的な医療機関としてその役割を担い、また将来においても地域医療の確保及び医療水準の向上、課せられた役割と使命には大きなものがる。 高度医療機器等の整備を推進することにより、住民の幅広いニーズに対応できる医療機関としての機能と役割を担うことが可能となる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	121,600
その他	23,400
一般財源	227,090
R2予算額	372,090
R元 当初予算額	269,280
R元 現計予算額	269,280
増減額	102,810

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	606,846	380,045
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）	606,846	380,045
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
企業債	121,600千円
一般会計負担金	23,400千円

備考	

年度〈2020〉　会計〈 〉　区分〈---〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	水道事業（収益的収入及び支出）

所管課	水道局総務課	（水道局）

事業の目的
水道法に基づき、水道事業を実施する。 利用者に安心、安全、安定した飲料水の供給を目指して施設の管理運営を実施する。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款		
項		
目		
事業		

根拠条例等	水道法第１５条　宇陀市水道事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要

安心・安全・安定した飲料水の供給事業を行う。

収益的収入及び支出予算額		
収入予算額		1,149,500千円
内訳	上水	576,241千円
	簡水	573,259千円
支出予算額		1,149,500千円
内訳	上水	527,704千円
	簡水	621,796千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

経費節減を図りながら、未普及地域の解消と水道水の安定供給を目指し経営を行っていく。
平成29年度より水道事業として上水道事業と簡易水道事業を統合している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	165,889
一般財源	983,611
R2予算額	1,149,500
R元当初予算額	1,169,300
R元現計予算額	1,169,300
増減額	▲ 19,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	1,122,906	1,169,300
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）	1,122,906	1,169,300
活動指標名	年間総配水量	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績（見込）	292 単位 万㎥	296 単位 万㎥
単位当たりコスト　（円）	3,845,568	3,950,338

特定財源の状況

一般会計補助金　165,889千円

備考

年度〈2020〉　会計〈 〉　区分〈---〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	水道事業（資本的収入及び支出）

所管課	水道局総務課	（水道局）

事業の目的
水道法の規定に基づき、水道事業を実施。 水道水の安定供給を目指して整備工事を実施。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款		
項		
目		
事業		

根拠条例等	水道法第１５条　宇陀市水道事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要

水道事業を行い飲料水の供給事業を行う。

資本的収入及び支出予算額		
収入予算額		396,000千円
内訳	上水	58,559千円
	簡水	337,441千円
支出予算額		684,656千円
内訳	上水	180,645千円
	簡水	504,011千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

水道法の規定に基づいた水道事業の実施により、水道水の安定的な供給のため、整備工事と未普及地域を解消する。
平成29年度より水道事業として上水道事業と簡易水道事業を統合している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	15,464
使用料	
国　費	67,750
県　費	15,595
市　債	126,000
その他	171,191
一般財源	288,656
R2予算額	684,656
R元当初予算額	639,624
R元現計予算額	581,124
増減額	45,032

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	506,564	581,124
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）	506,564	581,124
活動指標名	給水戸数	
活動指標の算式	—	
活動指標の実績（見込）	10,723 単位 戸	10,840 単位 戸
単位当たりコスト　（円）	47,241	53,609

特定財源の状況

給水分担金	8,814千円
工事負担金	6,650千円
生活基盤施設耐震化等交付金	67,750千円
簡易水道等整備推進事業助成交付金	15,595千円
企業債	126,000千円
出資金	71,000千円
一般会計補助金	100,191千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈1-1--〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	水道施設遠隔監視装置整備事業

所管課	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	安全・安心な水を安定的に供給する為、合併以前より使用している老朽化した遠隔監視装置システムの更新工事を行う。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目		
事業		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要	宇陀市水道施設の遠隔監視装置工事を3年計画で行い、今年度については宇陀市水道局に遠隔監視装置の設置を行う。 また、3年計画で行う工事に対する円滑な施工監理の委託を行う。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	現在使用している遠隔監視装置は、耐用年数が過ぎ修繕対応が出来ない状態であり、正常な監視が困難となっていることから更新を行う。

（単位：千円）

工種	金額
遠隔監視装置工事	143,800
施工監理委託料	1,400
計	145,200

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	35,950
県　費	
市　債	59,900
その他	47,900
一般財源	1,450
R2予算額	145,200
R元 当初予算額	70,000
R元 現計予算額	
増減額	75,200

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
生活基盤施設耐震化等交付金	35,950千円
企業債	59,900千円
出資金	47,900千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (8) 日常の利便性の確保及び施設更新事業

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈1-1-2-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	玉立赤瀬地区水道事業

所管課	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	給配水管工事後の舗装復旧を行う事により、生活環境の改善が出来る。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	2	水道建設事業費
事業		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要	・（山辺三・額井地区） 舗装復旧工事　A=2,000m2
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	東榛原地区（赤瀬・額井・山辺三）の一部高所地区への水道供給を行った給配水管工事の舗装復旧工事を行う。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	9,000
その他	
一般財源	1,000
R2予算額	10,000
R元 当初予算額	12,000
R元 現計予算額	12,000
増減額	▲ 2,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	16,856	12,000
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費　（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む　（千円）	20,856	16,000
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実施済事業費累計／総事業費	
活動指標の実績（見込）	96 単位 %	98 単位 %
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
企業債　9,000千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (8) 日常の利便性の確保及び施設更新事業

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈1-1-2-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	榛原篠楽地区給配水管工事

所管課	水道局施設課	（水道局）

事業の目的
水道水を供給することにより生活環境の改善、公衆衛生の向上と併せて、安全で安心して飲める水を安定して供給する。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	2	水道建設事業費
事業		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要
（榛原篠楽地区） ・給配水管工事　φ75・φ50以下　L=180m 給水戸数4戸・消火栓1基

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
榛原篠楽（一部）地区への水道の供給を行い、安定した水量、安全な水を確保し、生活基盤の改善を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	3,012
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	10,000
その他	495
一般財源	1,493
R2予算額	15,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	15,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
工事負担金　2,000千円 給水分担金　1,012千円 企業債　10,000千円 一般会計補助金　495千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (8) 日常の利便性の確保及び施設更新事業

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈1-1-5-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	田原地区水道事業

所管課	水道局施設課	（水道局）

事業の目的
給水区域を拡張することにより生活環境の改善、公衆衛生の向上と併せて、安全で安心して飲める水を安定して供給する。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	5	水道建設事業費（簡水）
事業		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要
（大宇陀和田地区） ・給配水管工事　φ150・φ100・φ75・φ50以下 L=1,930m 給水戸数8戸・消火栓5基 （大宇陀守道・上片岡・下片岡地区） ・舗装復旧工事　A=6,000㎡

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
田原簡易水道地区への水道の供給を行い、安定した水量、安全な水を確保し、生活基盤の改善を図る。 和田地区の給配水管工事を実施することで田原地区の管布設工事は完了する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	4,160
使用料	
国　費	30,800
県　費	
市　債	23,100
その他	25,575
一般財源	6,365
R2予算額	90,000
R元当初予算額	80,000
R元現計予算額	115,300
増減額	10,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）	127,330	115,300
従事職員数【人工】	3.00	3.00
人件費　（人工×8,000千円）	24,000	24,000
総事業費：人件費含む　（千円）	151,330	139,300
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実施済事業費累計／総事業費	
活動指標の実績（見込）	79　単位　%	88　単位　%
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況	
生活基盤施設耐震化等交付金	30,800千円
企業債	23,100千円
出資金	23,100千円
給水分担金	1,320千円
工事負担金	2,840千円
一般会計補助金	2,475千円

備考
〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (8) 日常の利便性の確保及び施設更新事業

年度 〈2020〉　会計 〈 〉　区分 〈1-1-5-〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	大野（緑川）地区給配水管布設替工事

所管課	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	老朽管布設替工事により、安心、安全な水の安定供給が図れる。

宇陀市水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	5	水道建設事業費（簡水）
事業		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　２－３－３　安心・安全な上下水道の維持・整備

R2年度事業の概要	・給配水管布設替工事（舗装復旧含む） HPPE　φ75　L=400m　仮設管撤去　L=250m 給水戸数　1戸
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	室生大野地内緑川ポンプ場から中山台配水池への送配水管の老朽による漏水が発生し、又、管路が旧道（現在は緑地）などに埋設されているため維持管理等に支障をきたしていることから、布設替工事を行い水道水の安定供給を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	24,000
その他	
一般財源	1,000
R2予算額	25,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	25,000

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

企業債　24，000千円

備考	〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用 (8) 日常の利便性の確保及び施設更新事業

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-18-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	特別定額給付金給付事業

所管課	特別定額給付金室	（企画財政部）

事業の目的
国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の下、生活の維持に必要な場合を除き、外出を自粛し、人と人との接触を最大限削減することが求められており、医療現場をはじめとして全国各地のあらゆる現場で取り組んでおられる方々への敬意と感謝の気持ちを持ち、人々が連帯して一致団結し、見えざる敵との闘いという国難を克服しなければならない。このため、感染拡大防止に留意しつつ、迅速かつ的確に家計への支援を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	特別定額給付金給付事業費
事業	1	特別定額給付金給付事業費

根拠条例等	
総合計画	

R2年度事業の概要
令和2年4月27日を基準日として、宇陀市の住民基本台帳に登録されている方全員に対し、一律10万円を支給する（原則として世帯主に支給）。 申請は、郵送申請方式とオンライン申請方式の2方式のどちらかを選択することができ、給付金の支給は原則口座への振込となっている。 申請期間は、郵送申請方式の申請受付開始日から3カ月以内。

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
感染拡大防止に留意しつつ、迅速かつ的確に家計への支援が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,990,423
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	2,990,423
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	2,990,423

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
特別定額給付金給付事業費補助金　2,957,100千円 特別定額給付金給付事務費補助金　33,323千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈2-3-1-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	公共的空間安全・安心確保事業（窓口順番表示システム設置）

所管課	市民課	（市民環境部）

事業の目的	市役所窓口で同時に受付する人数の制限や事務処理時間の長短による対応の区別などによる「3密」の回避により、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	3	戸籍住民基本台帳費
目	1	戸籍住民基本台帳費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　６－２－１　行政サービスの向上

R2年度事業の概要	執務スペースの構造を変えずに受付人数を整理する方法として順番表示システムを設置し、感染拡大防止を図る。 窓口順番表示システム購入 198,000円×1.1＝217,800円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	公共施設での感染拡大の防止に努めることで、感染機会の削減が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	218
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	218
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	218

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 218千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-1-1-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	一人暮らし高齢者等配食支援事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、家族などから生活支援を受けることが困難な一人暮らし高齢者等に対し、食の配達支援の構築を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	1	社会福祉総務費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－２－１　介護・福祉サービスの充実

R2年度事業の概要
弁当の配達を支援する事業を市社会福祉協議会に委託。 委託料 300円（1件）×100人×5日/週×40週＝6,000,000円

事業の目標・成果（これまでの成果,今後の見通し）
外出自粛により生活支援が必要な一人暮らし高齢者等に食の配達支援体制の構築が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	6,000
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	6,000
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	6,000

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 6,000千円

備考	

年度 会計 区分
〈2020〉 〈1〉 〈3-1-2-2〉

令和 2 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	障害児放課後等デイサービス利用支援事業

所管課	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的	新型コロナウイルス感染症対策により令和2年2月27日に示された各学校における一斉臨時休業に伴い、保護者が仕事を休めない場合に自宅等で一人で過ごすことができない児童がいる世帯への利用支援を目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－２－２　障がい者の生活支援

R2年度事業の概要	各学校の一斉臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用増加に係る給付費。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	利用日数の上限を15日から23日に変更し、一斉臨時休業中における障害児の居場所の確保が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	1,570
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	1,570
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	1,570

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
障害児放課後等デイサービス利用者支援事業費補助金 1,570千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2-2-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別の給付金を支給することにより、子育て世帯に対する適切な配慮を行うことを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	2	児童措置費
事業	2	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費

根拠条例等	子育て世代への臨時特別給付金給付事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要
児童手当（本則給付）を受給する世帯（0歳～中学生のいる世帯）に対し、臨時特別の給付金（一時金）を支給する。 【給付額】 対象児童一人につき1万円 【支給対象者】 対象児童に係る令和2年4月分（3月分を含む）児童手当（本則給付）の受給者（公務員含む） 【対象児童】 児童手当（本則給付）の令和2年4月分の対象となる児童（3月分の対象となる児童含む）＊令和2年3月31日までに生まれた児童が対象 子育て世帯への臨時特別給付金　27,370千円 事務費（システム改修等）　2,800千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	30,170
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	30,170
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	30,170

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金 27,370千円 子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費補助金 2,800千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-2--〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	こども園等児童福祉施設安全・安心確保事業

所管課	こども未来課	（健康福祉部）

事業の目的

こども園、保育所や学童保育の公共的空間での新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目		
事業		

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－３－２　子育て支援の充実

R2年度事業の概要

市立こども園・保育所・学童保育室へのマスク、消毒液等の購入及び私立保育所の消毒に必要となる経費を補助する。

（単位：千円）

対象施設	金　額
こども園・保育所	1,800
学童保育	1,211
私立保育所	478
合　計	3,489

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

こども園等の児童福祉施設施設での感染拡大の防止に努めることで、感染機会の削減が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	3,489
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	3,489
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	3,489

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

保育対策総合支援事業費補助金
2,278千円
子ども・子育て支援交付金
1,211千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈3-3-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	自立相談支援事業（住居確保給付金）

所管課	厚生保護課	（健康福祉部）

事業の目的

生活困窮者自立支援法に定める住居確保給付金の支給要件に新型コロナウイルス感染防止の影響による特例を講じ、休業等に伴う収入減により住居を失うおそれのある方々について家賃負担の軽減を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	3	生活保護費
目	1	生活保護総務費
事業	1	生活保護総務費

根拠条例等	生活困窮者自立支援法
総合計画	基本計画　１－２－３　困難を抱えた家庭への自立支援

R2年度事業の概要

現行制度では、離職・廃業等から2年以内の方でハローワークへの求職申込を行い、自立相談支援プランに基づく事業利用を要件となっていたが、新型コロナウイルス感染症対応として、休業等に伴う収入減により住居を失うおそれのある方は、ハローワークへの求職申込を不要とする運用に緩和された。

1人世帯33,000円×5世帯×6ヶ月＝　990,000円
2人世帯40,000円×3世帯×6ヶ月＝　720,000円
3人以上世帯43,000円×2世帯×6ヶ月＝516,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

新型コロナウイルス感染予防対策の影響により本市在住者においても家賃負担が困難となる方が見込まれるが、特例を活用することにより住居の確保が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	1,669
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	557
R2予算額	2,226
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	2,226

事業のコスト	平成30年度(実績)	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

自立相談支援事業負担金
1,669千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-4-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	3密防止3部方式乳幼児健康診査事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的
乳幼児の発育状況や育児の状況を把握することにより、必要な助言・指導を行い、児の健康の保持、増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に実施する乳児健康診査（4～5カ月児、10～11カ月児）、1歳6カ月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査について、保健センターでの集団検診から市内医療機関での個別検診へ方式変更することにより、健康診査時の新型コロナウイルスの感染拡大を防止を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　１－３－３　母子保健事業の充実

R2年度事業の概要
委託料 3,000円×800件（受診対象件数）＝2,400,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
健診実施体制を安全・安心な個別方式として実施することにより、感染機会の削減が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	1,300
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,100
R2予算額	2,400
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	2,400

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,300千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-1-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金給付事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的
新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、市独自の支援策として、休業や営業時間の短縮に協力した中小企業及び個人事業主に対して協力金の給付を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	3	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－２　地元事業所活動の促進・支援

R2年度事業の概要
奈良県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の受給決定を受けた市内中小企業及び個人事業主、5月2日から6日までの全ての期間で営業を自粛した休業要請の対象事業者・休業要請対象外である飲食提供施設で屋内での飲食を伴う施設を営業している事業者に対して、協力金を給付。 協力金　100千円×200事業者＝20,000千円 役務費　41千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
休業要請に協力いただいた中小企業、事業者に協力金を支給することにより休業の促進を図り、感染拡大の防止につながる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	20,041
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	20,041
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	20,041

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 20,041千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-1-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	事業者向け相談窓口開設・支援事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的
新型コロナウイルス感染症による影響を受けている事業者に対し、国等の補助金や給付金等の申請を支援するため専門家による相談窓口の設置及び雇用調整助成金の書類作成費用の助成を行い、雇用・事業の維持や支援策の活用を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	3	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－２　地元事業所活動の促進・支援

R2年度事業の概要
相談窓口設置 中小企業診断士・行政書士等　1,421千円 雇用調整助成金の支援 申請書類作成助成（20事業者）　2,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
新型コロナウイルス感染症関連にて影響を受けている事業者に対し、雇用・事業の維持や支援策の活用支援が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	3,421
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	3,421
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	3,421

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,421千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-1-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	プレミアム商品券（地元応援プレミアム八っぴー商品券）発行事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の消費喚起、住民の生活支援を目的とした、市内でのみ使えるプレミアム商品券の発行を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	3	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－１　商店街の活性化支援

R2年度事業の概要

市内でのみ使えるプレミアム商品券（プレミアム率は30%）15,000冊（1冊10,000円）を発行。

商品券作成管理業務委託料　52,100千円
10,000円×30%×15,000冊＝45,000千円
事務費　7,100千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内事業所の支援及び住民の生活支援が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	52,100
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	52,100
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	52,100

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
52,100千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈6-1-1-3〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	事業業態転換等支援事業

所管課	商工産業課	（農林商工部）

事業の目的	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内事業者が、業態転換や新たなサービスによる収益確保の取り組みに対して補助を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
事業	3	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　３－４－２　地元事業所活動の促進・支援

R2年度事業の概要	事業者が行う業態転換や新たなサービスによる収益確保の取り組みに対する補助。 （100千円までは全額支援、100千円を超える場合は、超えた部分について100千円を限度に1／2） 事業業態転換等支援事業補助金 5,000千円（100千円×30件、200千円×10件） 事務費　8千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	営業自粛要請等により影響を受けた事業者が、業態転換や新たなサービスによる取り組みを行うことで、収益の確保につながる支援が図れるとともに、新型コロナウイルス感染の第2波に備えた対策としても有効である。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	5,008
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	5,008
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	5,008

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,008千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈8-1-3-6〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	避難所等安全・安心確保事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	頻発する自然災害等に備え避難所等の公共的空間の衛生環境を保つ。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
事業	6	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　２－４－２　防災・消防体制の確立

R2年度事業の概要	避難所へのテント等の購入及び第２波に備えた防護服、マスク、除菌シート等を購入を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	避難所等の公共的空間における衛生環境を保つ事により、感染機会の削減が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	13,818
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	13,818
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	13,818

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 13,818千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	小中学校安全・安心確保事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	小学校及び中学校の公共的空間での新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	市内小学校及び中学校へのマスク、消毒液等の購入を行う。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	小中学校での感染拡大の防止に努めることで、感染機会の削減が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	2,800
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	2,800
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	2,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
学校保健特別対策事業費補助金 583千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,217千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	分散授業対応機器の購入

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	市内小学校及び中学校において、学校再開時における分散授業により、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	映像機器等購入 ビデオカメラ・三脚・変換アダプタ等 212,000円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	少人数での授業場所の確保により、小中学校での感染拡大の防止が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	212
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	212
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	212

事業のコスト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 212千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-1-2-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	小中学校情報機器等整備事業

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的

Society5.0時代を生きる子どもたちには、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められている。小中学校の児童生徒に1人1台端末の整備及び臨時休業等の期間も切れ目のない学習環境の提供を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要

児童生徒への一人1台端末を整備し、災害や感染症の発生等による学校の臨時休校等の場合、家庭でもつながる通信環境を構築する。

（単位：千円）

事業内容	金　額
学習用端末（1249台）	81,185
遠隔学習用機器	1,150
電源キャビネット（17台）	5,423
ＧＩＧＡスクールサポーター委託料	5,750
モバイルルーター及び通信費	23,864
合　　計	117,372

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

児童・生徒への切れ目ない学習環境を提供することにより、学習機会の確保が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	88,256
県　費	
市　債	
その他	18,044
一般財源	11,072
R2予算額	117,372
R元当初予算額	
R元現計予算額	205,403
増減額	117,372

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度　（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

公立学校情報機器整備費補助金 41,195千円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 47,061千円
地域づくり推進基金 18,044千円

備考

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-2-2-14〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	就学援助事業（小学校）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	14	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	新型コロナウイルス感染症にかかる現下の状況に鑑み、文部科学省から就学援助の対象者の認定や援助の実施について配慮を行うよう通知があった。現在の社会的・経済的状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変するなどの対象者の増加が予想されるため、支援を拡大する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	感染拡大により家計が急変した家庭に対して支援を行い、学習機会の確保が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	7,521
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	7,521
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	7,521

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 7,521千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-3-2-6〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	就学援助事業（中学校）

所管課	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	6	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要	新型コロナウイルス感染症にかかる現下の状況に鑑み、文部科学省から就学援助の対象者の認定や援助の実施について配慮を行うよう通知があった。現在の社会的・経済的状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変するなどの対象者の増加が予想されるため、支援を拡大する。
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	感染拡大により家計が急変した家庭に対して支援を行い、学習機会の確保が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	6,831
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	6,831
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	6,831

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 6,831千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈1〉　区分 〈9-7-1-2〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	学校給食事業者応援事業

所管課	学校給食センター	（教育委員会事務局）

事業の目的
新型コロナウイルスの感染拡大の防止対策として、学校臨時休業等により影響を被った納入業者への支援を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	7	学校給食費
目	1	学校給食費
事業	2	新型コロナウイルス感染症対策事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　４－２－２　学校の教育環境の充実

R2年度事業の概要
学校休業に伴い、発注食材がキャンセルとなったことに伴う納入業者への支援を行う。 学校給食用納入事業者支援金　6,767,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）
学校給食用食材納入事業者を支援することにより、学校再開時に安定的な事業継続が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	5,656
県　費	
市　債	
その他	1,111
一般財源	
R2予算額	6,767
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	6,767

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況
雑入（学校臨時休業対策費補助金）　1,111千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　5,656千円

備考	

年度 〈2020〉　会計 〈7〉　区分 〈2-6-1-1〉

令和 2 年度当初予算（案）　事業別シート　宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	新規	事業名	国民健康保険傷病手当金支給事業

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、国が緊急的・特例的な措置として財政支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症に感染するなど一定の要件を満たした国民健康保険に加入している被用者（給与の支払いを受けている者）に対して傷病手当金が支給できるよう宇陀市国民健康保険条例を改正し手当金を支給する。

宇陀市国民健康保険事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	2	保険給付費
項	6	傷病手当金
目	1	傷病手当金
事業	1	傷病手当金

根拠条例等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱
総合計画	基本計画　１－４－３　国民健康保険・福祉医療費助成の推進

R2年度事業の概要

(1)対象者
　被用者で新型コロナウイルス感染症に感染した者または発熱等の症状が有り感染が疑われる者
(2)支給期間
　労務に服することができなくなった日から起算して3日経過した日から労務に服することができない期間
(3)支給額
　直近の継続した3月間の給与収入の合計額を就労日数で除した金額×2／3×日数（給与等の全部又は一部を 受けることができる期間を除く）
(4)適用期間
　令和2年1月1日から規則で定める日の間で療養のため労務に服することができない期間（ただし、入院が継続する場合最長1年6カ月まで）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

国民健康保険に加入する被用者が新型コロナウイルスに感染した際休みやすい環境を整えることで、感染拡大防止が図れる。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	642
市　債	
その他	
一般財源	
R2予算額	642
R元当初予算額	
R元現計予算額	
増減額	642

事　業　の　コ　ス　ト	平成30年度（実績）	令和元年度（見込）
決算額又は決算見込額　（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費　（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む　（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績（見込）	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

保険給付費等交付金（特別交付金）　642千円

備考